

第2章

「点字使用者のための漢字学習プログラム」及び教材について

第1節「点字使用者のための漢字学習プログラム」及び教材開発にあたっての考え方

1. 漢字について

中国及び中国周辺諸国に伝えられた「漢語」を書き表すため、紀元前13世紀に出現して今日まで用いられている文字が漢字である。まずここでは、「点字使用者のための漢字学習プログラム」開発にあたり、漢字についての考え方を整理する。

(1) 漢字造字法

許慎の「説文解字」の序文で「倉頡^{そうけつ}の初めて書^{もじ}を作るや、けだし類に依りて形に象^{かたど}る。故にこれを文^{ぶん}という。その後、形と声（発音）とあい益^{ます}したれば、これを字という。文とは物象の本なり。字とは孳^こ乳してしだいに多きことを言うなり」とある。つまり文とは形を紋様のように描いた原初的なものであり、字とは孳（ふえる）と同系のことばで原初文字を組み合わせ、次第に増えた二次的な文字だというのである。そして、文字の構造の解明に用いた原則が象形・指事・会意・形声・転注・仮借であり、これを「六書」という。このうち、象形・指事・会意・形声は、文字の構造に関する原則であり、転注・仮借は用法についての原則である。許慎のいう「文」（原初的な文字）が象形文字であり、「字」（文を組み合わせた二次的な文字）が、会意・形声文字である。指事文字については「文」の部分と「字」の部分がある。したがって、漢字は象形文字や指事文字のような基本的漢字を学んだのち、それらを組み合わせることによって大多数の漢字を学ぶことができるのである。

(2) 単語家族

象形文字、指事文字など基本的な漢字を基（親の字）にして、同じ発音と共通の意味を持つ漢字をグルーピングした「単語家族」という考え方がある。これは、中国語本来の漢字源に基づき、漢語（音）を中心に漢字を整理したものである。漢民族は、事物の外形や感触を軸として、同じようなものは一括して同じ言葉か、似たような言葉で言い表すという習慣を持っていたため、音の似たものは、原則として共通のイメージを浮かび上がらせる。要するに、漢字の語音が同じか、近似していれば意味もまた共通であるという同一の仲間（単語家族）に属する公算が極めて大きいということである。

例えば、「主」は、ろうそくの火が台の上でじっと燃えている様子を表した字であり、そこから、一^{ひとところ}所にじっととどまって動かない「あるじ」を表すようになった。また、家の中心となる「あるじ」のように、物事の中心となる事柄も表す。「主」のついた字は、「一所にじっと立ち止まる」という意味に関係があり、読み方は「シュ・チュウ・（ジュウ）」である。「住（ジュウ・すむ）」は人偏が付き、人がじっと立って一カ所にとどまることから「すむ」という意味になり、「注（チュウ・そそぐ）」は、サンズイが付き、ものを一カ所に注ぎ込んだり集めたりすることを表す。「柱（チュウ・はしら）」は、木偏が付き、動かずにじっと立っている木、はしらを表し、「駐（チュウ・とどまる）」は、馬偏が付き、馬がじっと立っている様子を表す。

ウ)」は馬偏（乗り物）が付き、馬車をとめること、滞在することを表す。これらの漢字は「主」を親の字とした仲間、単語家族である（図1）。

このような考え方をを用いながら、構成要素となり得る基本漢字を選定していけば、意味や音を伴った、広がりのある漢字学習が進められる可能性が高い。

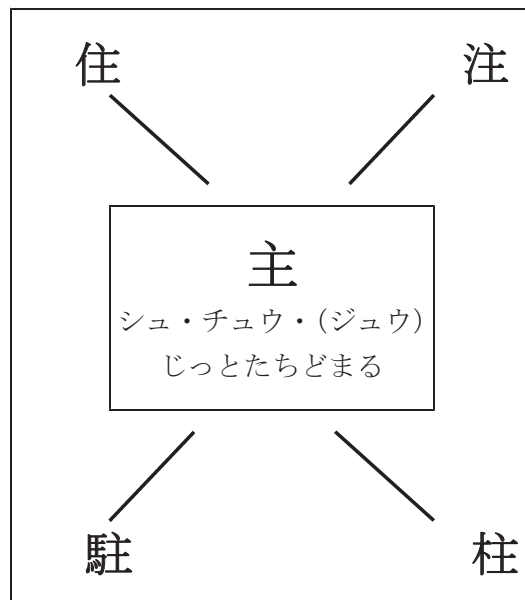


図1 「主」の単語家族

2. 漢字構成要素（基本漢字等）学習の有効性

澤田（2003）は「点字使用者のための漢字学習プログラム」に関わるこれまでの研究で、点字を常用する児童生徒において、基本漢字及び部首による漢字の構成の理解が確実にできるようになれば、未習得の構成漢字であっても、言葉による説明によって書字することが可能である点を明らかにしている。これは晴眼者が視覚的に漢字をとらえるのと同じように、触覚による学習においても漢字を要素ごとのまとまりでとらえたり、その組み合わせを書字することができるということである。海保・野村（1983）が一般の漢字習得について、「漢字の構造を規定するチャンク、いわゆる「部首」に関する知識が、未知の漢字の「読み」や「意味」の推察にも有効であり、新出漢字を効率的に習得するための重要な要因である」と指摘しているが、点字を常用する児童生徒においても、このような漢字の構成要素を考えた学習法が効果的な漢字学習を追求する上で重要である。

3. 字源及び単語家族の考え方に基づく漢字指導の有効性

また、澤田（2003）は、字源を活用して漢字を意味づけながら指導するという手法は、漢字習得に優位に働く可能性があるという点、さらに実際の指導場面において、字源の説明から、その漢字に関連したさまざまな言葉が交わされ、語彙の広がりが見られる点を指摘している。

そして、音の推測、意味の推測は、音訓のみの指導では成立しにくく、漢字の成り立ちから意味や読み方を指導したり、単語家族の考え方の指導を導入したりすることによって可能になってくる点を明らかにしている。このような指導によって、小学部低学年であっても、未学習の漢字につい

て、音や意味の推測ができるようになっていく。これは字源の説明という文脈の中で漢字が印象づけられ、漢字を想起しやすくなり、それに加えて、単語家族の考え方を理解することにより、一定の法則性をもって、漢字をみることができるようになるのではないかと推測される。日常的に漢字に触れることの少ない点字使用児童生徒にとっては、このような音や意味を推測する力の育成こそが重要である。

このように、字源を活用した基本漢字の指導や、部首による漢字の構成要素間の配置関係の指導、さらにそこから単語家族の考え方を導入して、漢字学習を進めていく方法は、多くの形声文字や会意文字などを効率的に習得させる指導法として有効であるといえる。

4. 「点字使用者のための漢字学習プログラム」開発に向けて

1. の漢字についての考え方や、2. 及び3. で述べた知見を基に、「点字使用者のための漢字学習プログラム」及び教材の開発を行う。具体的な基本漢字の選定や提示順、配慮点及び工夫点については以下に述べる。

(1) 基本漢字の選定と構成漢字の提示順

基本漢字を選定するにあたっては、漢字の構成要素となり得る象形文字や指事文字を中心に選定していく。また、基本的な字形と結びつけながら漢字の形・音（読み方）・義の本質を理解・習得できるように、構成漢字を単語家族の考え方でグルーピングし、順次提示していく。その際、考慮しなければならないこととして、言葉としての漢字の難易度の問題がある。一般的に小学校の国語科では漢字を指導する場合、学年別漢字配当表にしたがって漢字を提示している。学年別漢字配当表の漢字は、小学校各学年の児童の日常生活における漢字の使われ方や接触のしかた、あるいは、漢字の難易度などを基本理念として作成されたものである。そこで、漢字の本質や基本的構造に基づいて漢字の提示順序を考える場合においても、その漢字が表している言葉への馴染みの程度や、漢字の難易度などにも十分に考慮する必要がある。その上で、象形文字・指事文字、部首の概念などの基本的な学習を終えたあと、単語家族の考え方で一気に、漢字を学習できるような提示順序とする。

(2) 取り扱う漢字の範囲

学習プログラムで取り扱う漢字の範囲は、その学習プログラムがどのくらいの漢字力の習得を目指すのかにより変わってくる。現在、学校教育段階で要求されている基礎的・基本的な漢字力とはどのようなものであろうか。小林（1982）は、「大人になって、一般的には現代の国語の文章、つまり法令や公用文書、新聞や雑誌などの文章を理解することができ、また、発展的には自分の専門分野においての文章を理解したり、理論的に考えをめぐらしたりすることができるような知識や技能の素地となる力である」と述べている。本プログラムにおいてもそのような漢字力を目指したい。前述の小林の論の中にもあるが、新聞は活字によるマス・メディアの中で中心的な存在であり、あらゆる階層にわたって幅広い読者を得ている点で、国民の文字生活ともしっかりと深い関わりがあるといえる。では、その新聞を読むことができる漢字力とは、具体的にどのくらいの漢字を習得しておけばよいのであろうか。国立国語研究所（1976）の新聞の使用漢字頻度順位の調査、また同研究所でのその後の新たな調査「新聞電子メディアの漢字」（1998）によると、使用順位 500 位までの漢字で新聞に出現する漢字全体の 80%をカバーすること、使用順位が 1,000 位までの高頻度漢字については、使用順位や使用率に大きな変動が見られず、安定して使用されていることを明らかにして

いる。現在、義務教育段階で学習する常用漢字は、1,945 字（そのうち、小学校で学習する学年別配当漢字は 1,006 字）であることを考えると、それらと新聞の使用漢字頻度順位 1,000 位を考慮した漢字数（1,965 字）を取り扱うことが本プログラムでの漢字力習得には妥当であると考え（結果的には新聞の使用漢字頻度順位 1,200 位、新聞に出現する漢字全体の約 97%まではカバーするものとなった）。

当然のことながら、日常的に漢字に触れることのない点字使用児童生徒に漠然とこの数の漢字を習得させるのではなく、1. から 3. で述べた事柄を基にプログラムの構成を考えていく。まずは最小限の基本的な漢字と漢字の法則性を理解させ、そこから、大多数の漢字を類推することのできる力を習得させるという基本線に沿ったプログラムである。最小限の基本的な漢字としては、象形文字や指事文字であり、取り扱う漢字内で考えるとその数は 280 文字程度となる。これらの漢字の習得をまず促し、その上で、個々の児童生徒の学習速度や到達目標に合わせて活用できるように、いくつかのステップに分けたプログラムの提示とする。

(3) 熟語の選定と言葉の概念の指導

点字を常用する児童生徒を対象とした漢字指導においては、言葉による説明を重視しなければならない。プログラムの中では、基本漢字や構成漢字の意味やその使われ方について説明をしていくことになるが、この場合、提示する熟語と言葉の選定が重要なポイントとなる。構成要素による指導順序の整合性を考えて、漢字を提示していくが、同時に低学年の児童の日常生活や学習内容、情報内容にふさわしく、こうした実態に馴染む漢字から提示していくことが要求される。また同様に提示する熟語や言葉の選定も考えていかねばならない。特に点字を常用する児童生徒に対しては、さまざまな語彙獲得の過程で、視経験を補うような意図的な指導も必要である。

一方、各年齢段階等における語彙の獲得という点にも目を向けなければならない。この点に関しては、通常の児童生徒を対象とした、国立国語研究所（1984, 2001）の基本語彙調査や、井上（2001）の語彙発達調査等が参考となる。

漢字の指導における熟語と言葉の選定においては、以上の点を考慮しながら、点字を常用している児童生徒が、概念に裏付けられた確かな語彙力を習得することができるよう、配慮していく必要がある。

(4) 興味・関心を持続させるための工夫

点字を常用する児童生徒に対して効率的な漢字指導を行うためには、如何にして興味と関心を持続させながら、印象深く学習に取り組ませることができかが重要なポイントとなる。

基本漢字は字源を活用しながら指導し、構成漢字はその基本漢字を基として、単語家族の考え方を導入して指導する。また、基本漢字である象形文字・指事文字などは具体的な図解による解説ができるので、児童生徒は、印象深く、漢字に対して興味・関心を持ちつつ学ぶことができる。単語家族の考え方も、基本漢字である親字を基にした同類の漢字でグルーピングしたものであるので、形・音・義の共通した部分をもつ漢字を意味づけて学習ができ、分りやすい。これら字源や単語家族のおもしろさを生かした説明の工夫、興味・関心を十分に持続させるような指導上の工夫が重要である。

(5) 教材作成にあたっての工夫点

教材作成にあたっての工夫点は以下の通りである。

- ① 漢字を関連づけて学習させるために、同類の漢字でグルーピングし、各ページに階層化した分

類番号をつける。

各段階ごとに階層化した分類番号を点字用紙の左上に振る。全ての通し番号（ページ数）は右上におく。

＜階層化した分類番号＞

- ・百番台は各段階を示す。

例 100 番台→第 1 段階 200 番台→第 2 段階 等

- ・十番台は各段階での下位分類を示す。

例 第 2、3、5、7、8、9 段階の十番台

10 漢数字、20 位置方向、30 自然、40 植物、50 動物、60 人体、70 道具、
80 生活、90 その他

その他、部首等、各段階ごとに定める。

- ・一番台は十番台を必要に応じてさらに分類したもの。
- ・枝番号は分類した中で複数ページにわたるもの。

- ② 第 2 段階から第 4 段階までは、単語家族の親字になる基本的な漢字や、身近な言葉をあらわす漢字であり、その漢字の意味とつなぎ合わせて、馴染みのある言葉として学習させたい。そのために読み仮名は訓を先に提示する。第 5 段階から第 10 段階においては、特に単語家族の考え方を取り入れるので、音を先に提示する。

＜点字での音訓の区別＞

- ・訓→  で囲み、送り仮名は囲みの外に続ける。
- ・音→  で囲む。

- ③ 第 2 段階、第 3 段階の基本的漢字については、漢字の成り立ちを用いて学習を進めていく。そのために、具体物のイメージから中間体を通して漢字が成り立っていることをあらわす図を用いる。

- ④ 教材の点線図、点線文字については、点の大きさ、図や文字の大きさ、線間隔、線の傾き等、数パターンの比較や事例にて修正を行う。

- ⑤ このプログラムで学習する漢字数については前述のとおり 1,965 字であるが、学年別漢字配当表以外の常用漢字や人名漢字等について、それらと区別できるようにする。

＜学年別漢字配当表以外の漢字の表し方＞

- ・常用漢字→  □ を音訓の前に置く。
- ・人名漢字、第 1 水準→  □ を音訓の前に置く。

第2節 「点字使用者のための漢字学習プログラム」

学習の目的

漢字は数万字あると言われ、常用漢字だけでも 1,945 字あり、一つ一つ学習していくことは点字使用者にとってそう容易ではない。

一方、漢字は象形文字や指事文字のような基本的漢字を 280 字程度学んだのち、それらや部首を構成要素として組み立てることによって、形声文字や会意文字などのような大多数の漢字を学ぶことができる。

そこで、構成要素となる基本的漢字や部首とそれらの結合関係を学んだのち、「単語家族」などで同類の漢字を関連づけ、発展的に学ばせることが有効である。

このような学習方法で常用漢字 1,945 字に国立国語研究所「現代新聞の漢字」(1976)、「新聞電子メディアの漢字」(1998)における頻度数 1,200 番以内の常用漢字外の文字(人名漢字・第1水準) 20 字を加えて総数 1,965 字を学べば、その後に遭遇する漢字の類推学習も容易となるであろう。

点字使用者のための漢字学習プログラムの構成原理

1. 漢字の基本となる象形文字は、具体物の曲線を直線にかえて表している。そこで、直線・そり・折れ線・はね・てん等の要素、及び、平行・交差・接続・分離等の相互関係に慣れさせる。
また、片仮名と漢字との字形の類似関係を理解させることによって、漢字学習への導入をはかる。
2. 基本的漢字として漢数字・指事文字の一部を学ばせたのち、象形文字・会意文字の一部を自然・植物・動物・人体・道具・生活・その他と、意味上の分類ごとに学ばせる。その場合、具体物のイメージから中間体を通して漢字が成り立っていることと、その漢字の意味や訓や音を関連づけ、用例を通して理解させる。
3. 身近な言葉を表す漢字を学ぶことによって、漢字への興味を膨らませたのち、既習の基本的漢字などを構成要素とする漢字を学ぶことによって、新しい漢字が合成されることを理解させる。
さらに、偏・旁・冠・脚・垂・構・繞の七つの部首とその位置を学ぶことによって、漢字を構成する要素間の配置関係を理解させる。
4. 字形・字音・意味を共有する基本部分に他の構成要素を付け加えた漢字の「単語家族」の分類ごとに同類の漢字を学ぶことを通して、形声文字などの漢字の派生関係を理解させる。その場合、漢数字・位置方向・自然・植物・動物・人体・道具・生活・その他の意味上の分類ごとに提示して理解を容易にさせる。また、この段階では、訓よりも音を中心に意味や形と結びつけるとともに漢字二字の熟語などとの対応関係も理解させる。

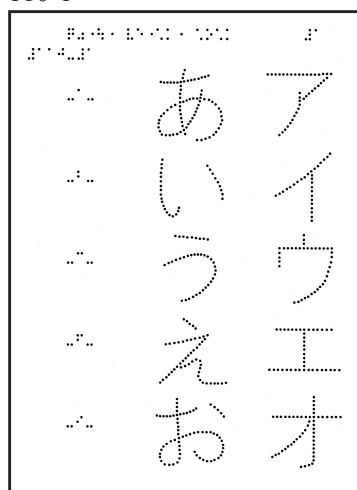
第1段階 漢字学習への導入

<指導のねらい>

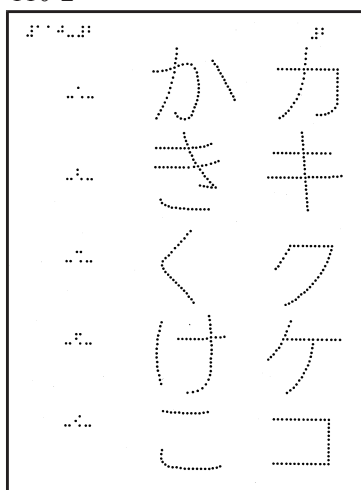
- (1) 漢字仮名交じり文の中には平仮名・片仮名・漢字・算用数字・アルファベットの 5 種類の文字で書かれている。ここでは、平仮名・片仮名の字形についてふれさせる。
- (2) 漢字を構成する一画は、直線・そり・折れ線・はね・てんの要素で構成されていることを知らせる。また、二画以上が平行・交差・分離・接続などの相互関係にあることを知らせる。
- (3) 漢字を構成する部分として片仮名一字、または、片仮名を組み合わせた漢字を取り上げ、漢字学習への導入をはかる。

110 五十音（点字・平仮名・片仮名）

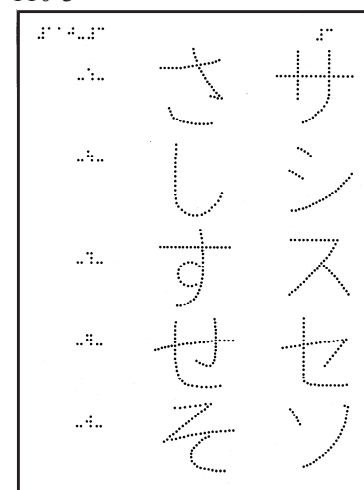
110-1



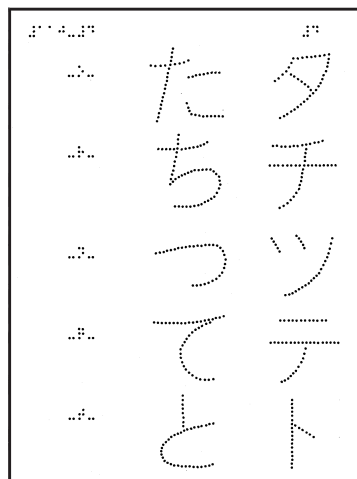
110-2



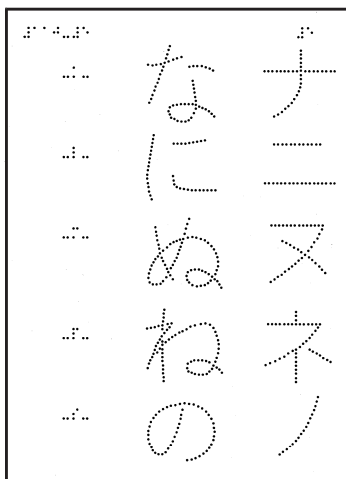
110-3



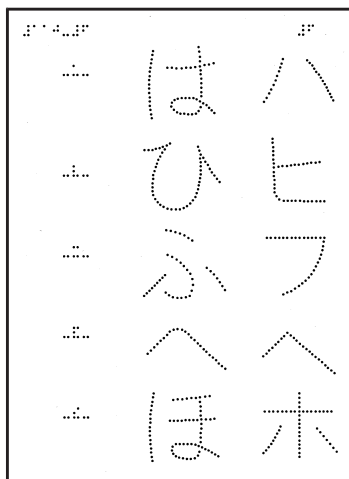
110-4



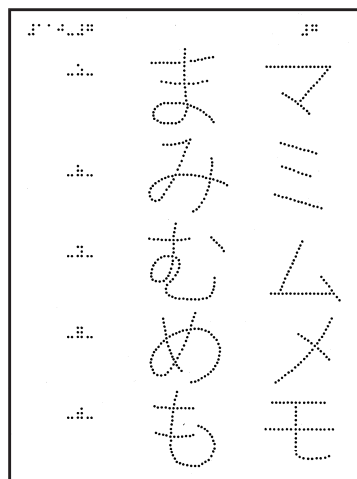
110-5



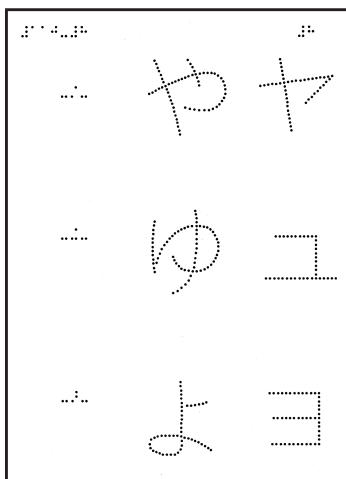
110-6



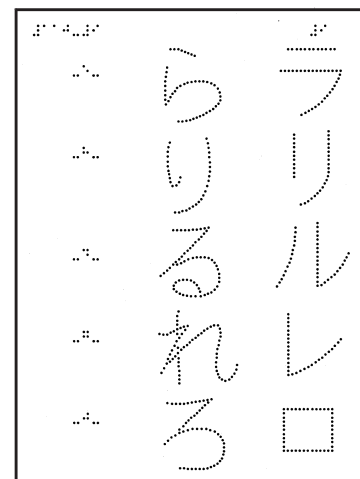
110-7



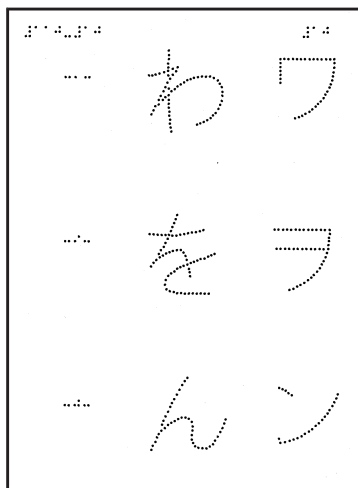
110-8



110-9

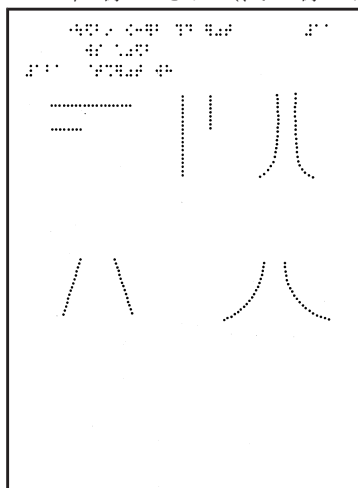


110-10



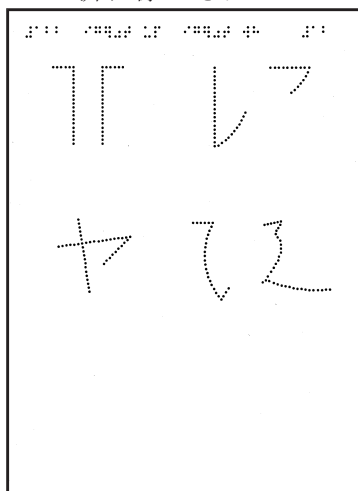
120 字形を構成する線とその関係

121 直線とそり（長い線・短い線で、縦・横・左下がり・右下がり・縦そり・斜めそり）

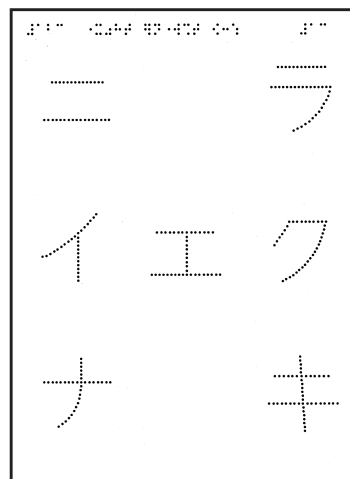


122 折れ線とはね（鈍角・直角・鋭角）

折れ線とそり

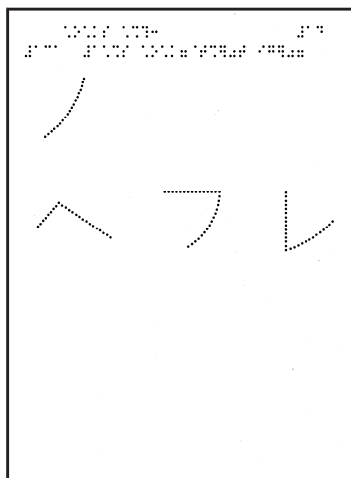


123 分離と接続と交差

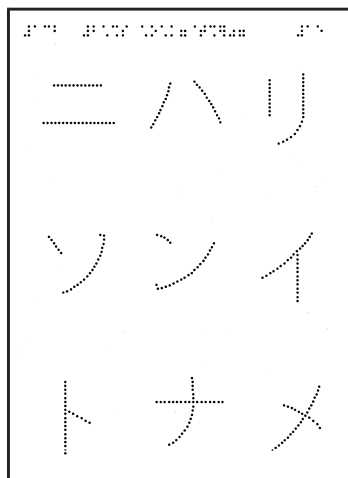


130 片仮名の画数

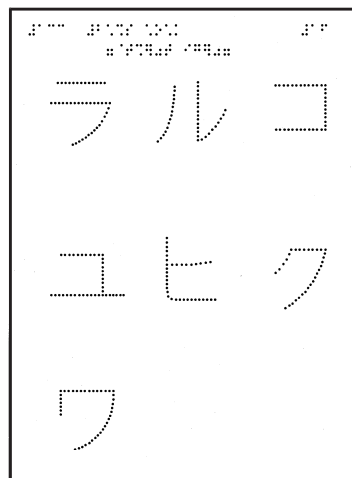
131 一画の片仮名
(直線と折れ線)



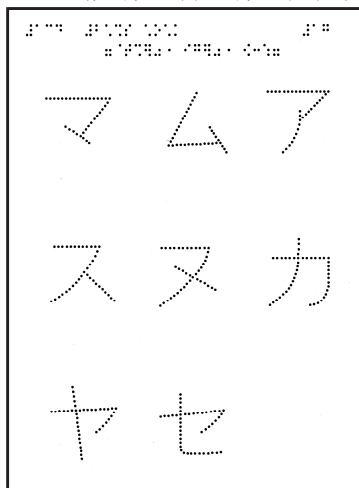
132 二画の片仮名
(直線)



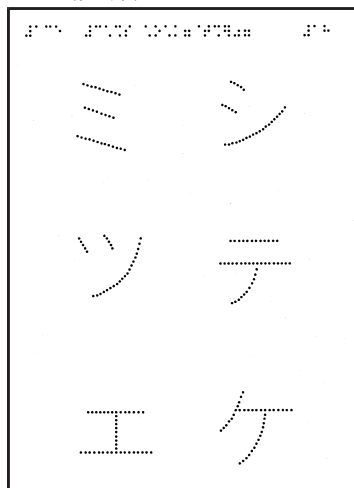
133 二画の片仮名
(直線と折れ線)



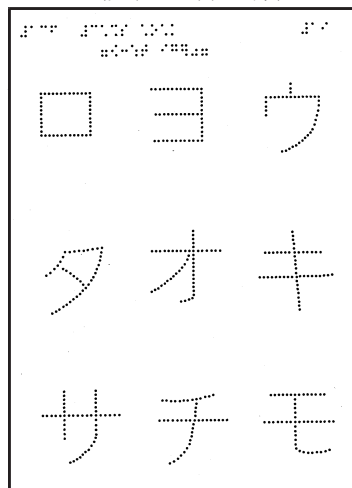
134 二画の片仮名
(直線・折れ線・交差)



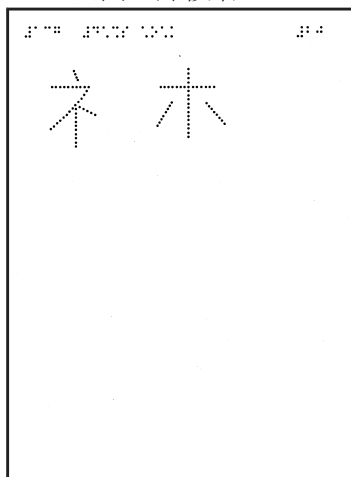
135 三画の片仮名
(直線)



136 三画の片仮名
(交差と折れ線)

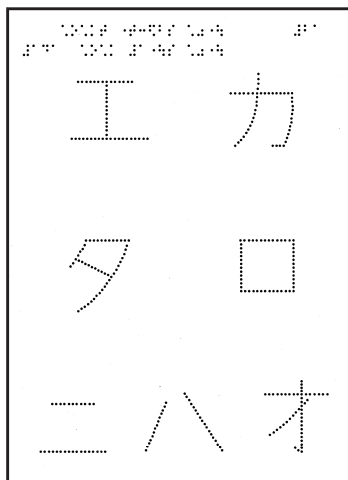


137 四画の片仮名

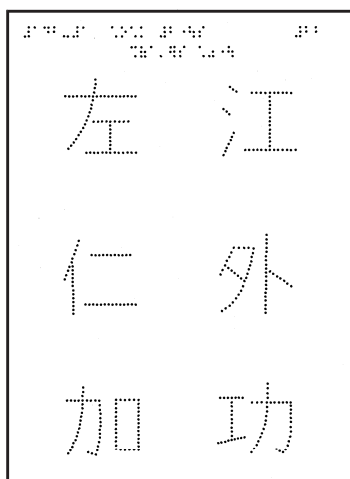


140 片仮名と同形の漢字

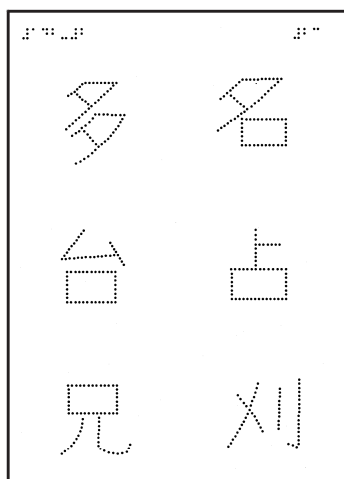
141 片仮名一字の漢字



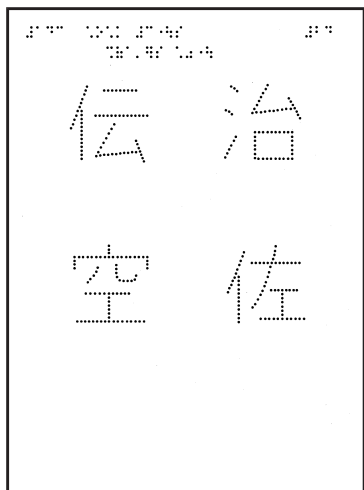
142-1 片仮名二字の組み合わせの漢字



142-2



143 片仮名三字の組み合わせの漢字



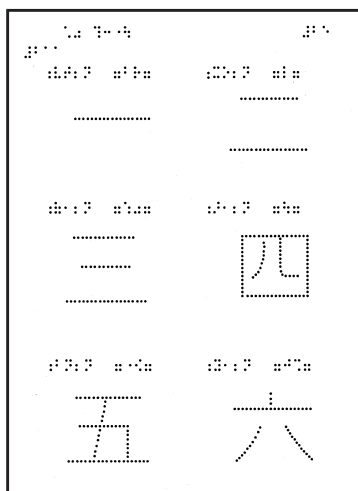
第2段階 基本的漢字1（漢数字・象形・指事・会意文字の一部）

<指導のねらい>

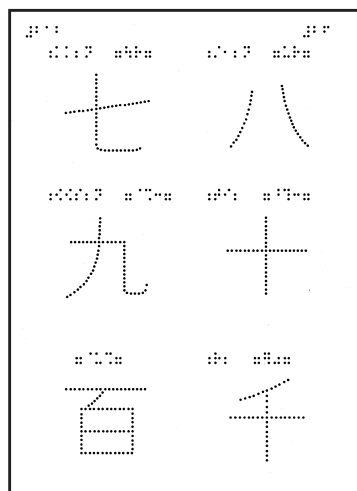
- (1) 使用頻度が高く、字形と意味が単純な漢数字と指事文字を取り上げ、基本的漢字を理解させる。
- (2) 漢字の字源となっている象形文字のうちから、使用頻度が高く、字形と意味の単純なものを取り上げ、物の象形としての漢字の形や意味を理解させる。また象形文字に単純な要素を加えた基本的な会意文字も取り上げる。

210 漢数字

211

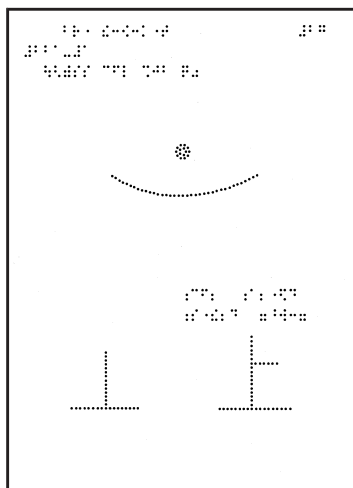


212

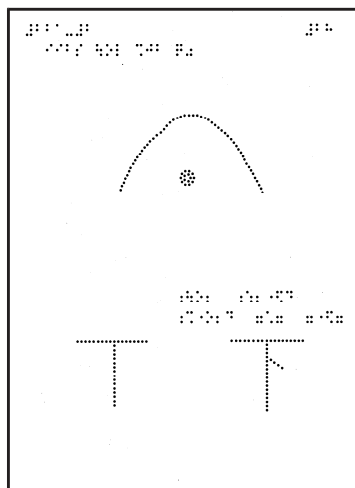


220 位置・方向など

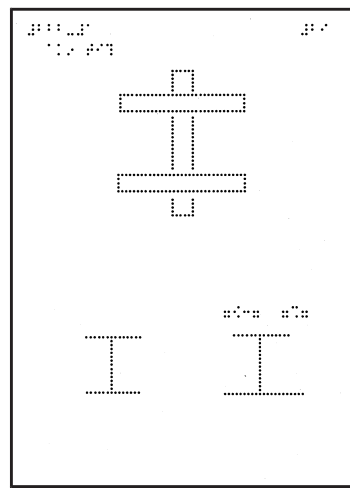
221-1



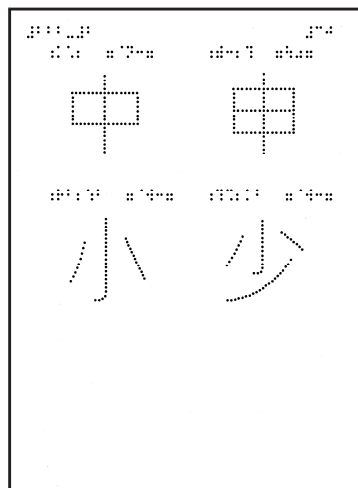
221-2



222-1

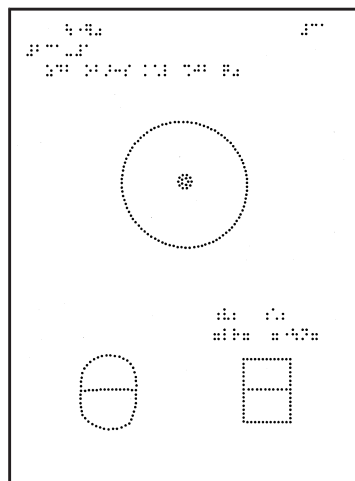


222-2

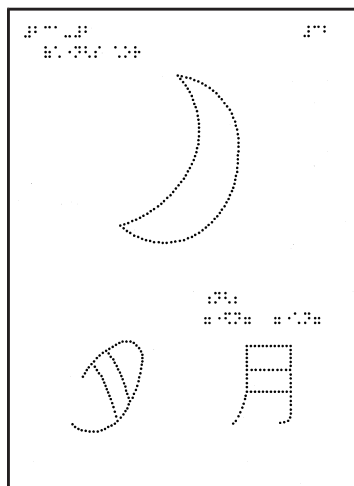


230 自然

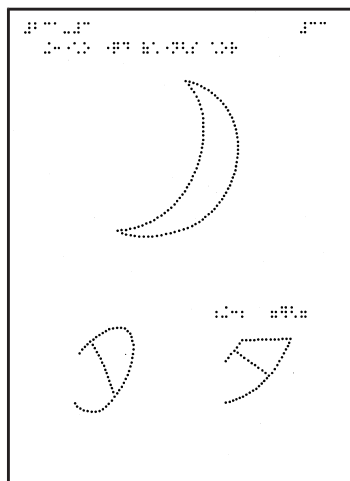
231-1



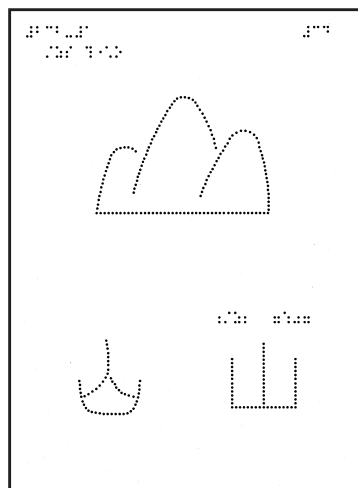
231-2



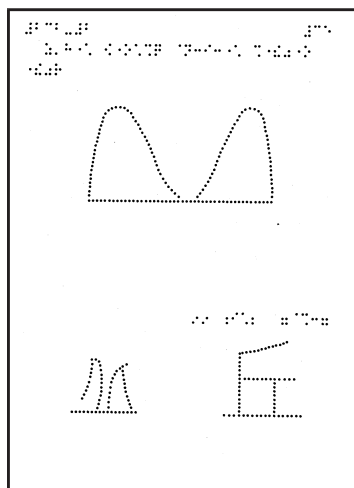
231-3



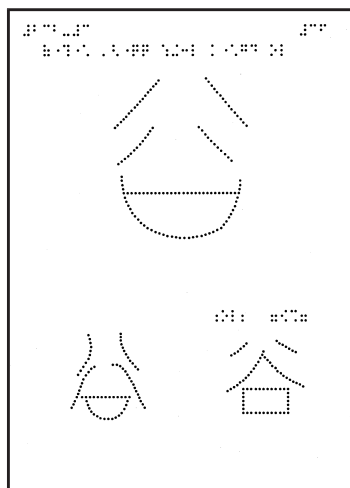
232-1



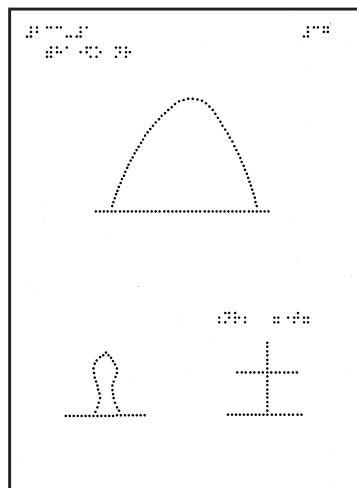
232-2



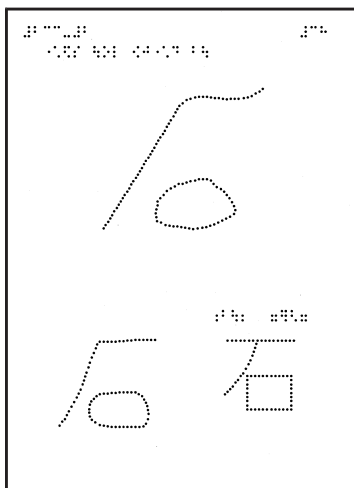
232-3



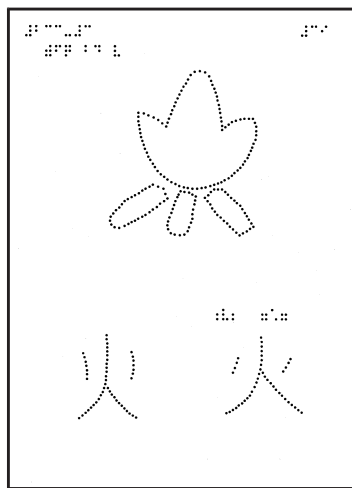
233-1



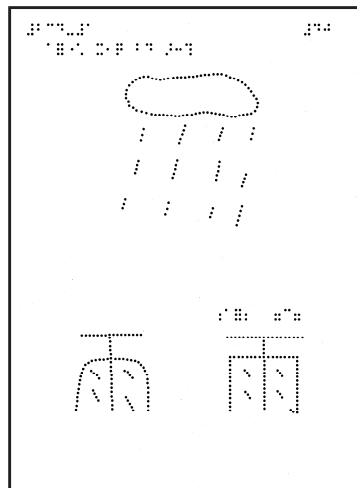
233-2



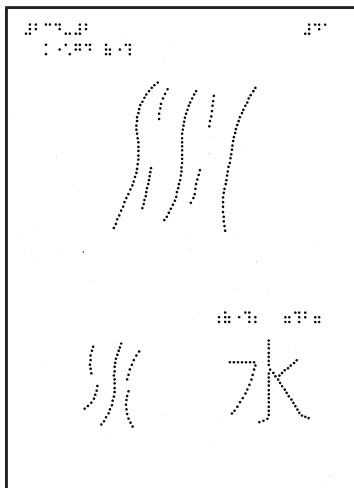
233-3



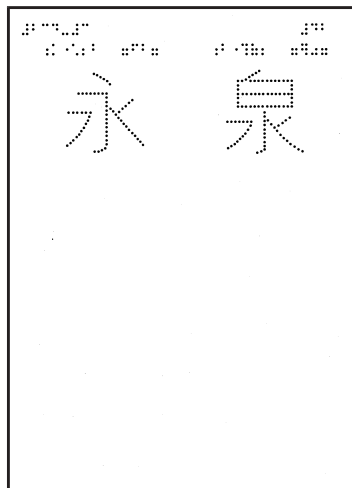
234-1



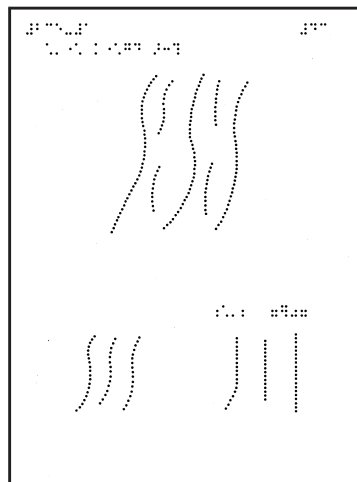
234-2



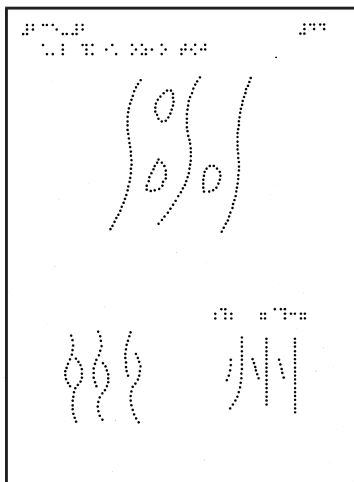
234-3



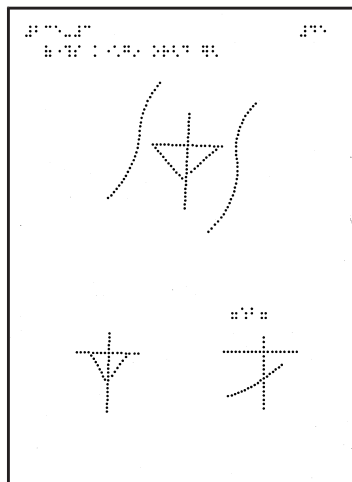
235-1



235-2

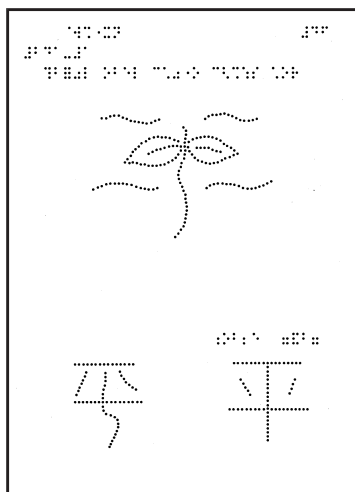


235-3

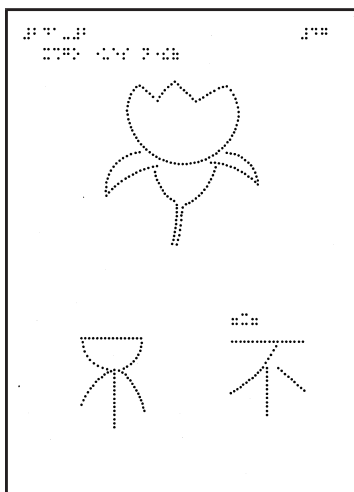


240 植物

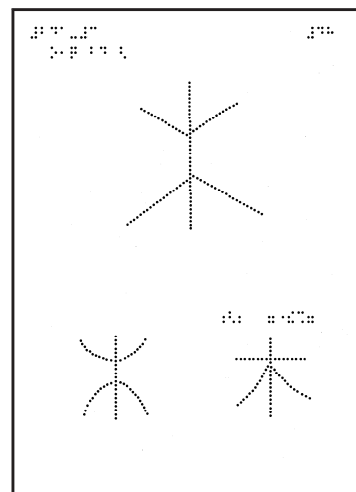
241-1



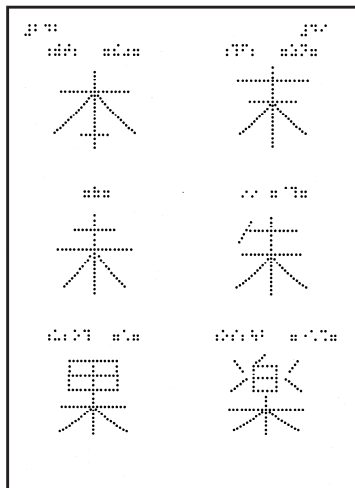
241-2



241-3

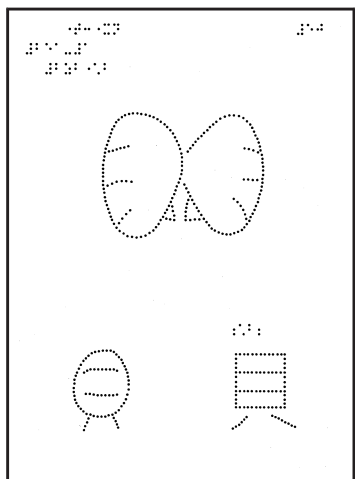


242

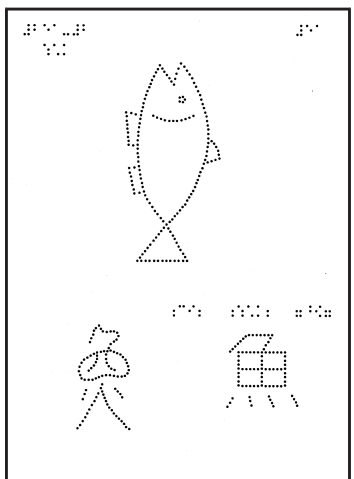


250 動物

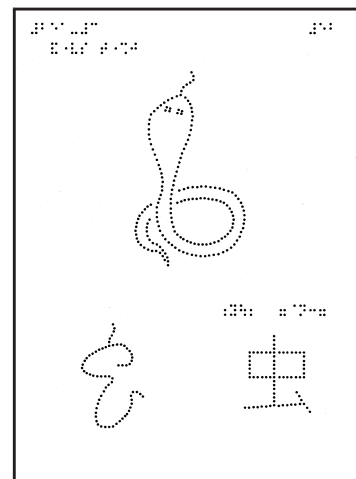
251-1



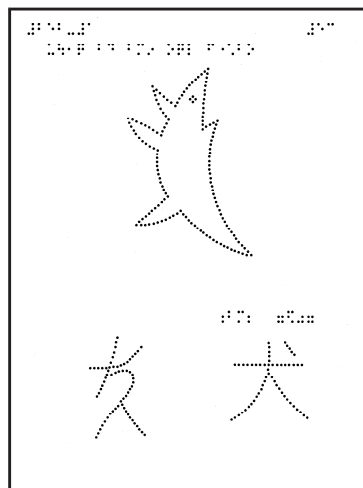
251-2



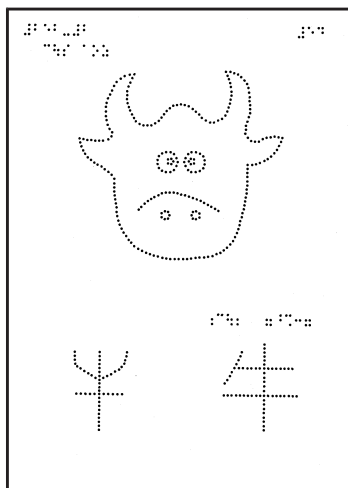
251-3



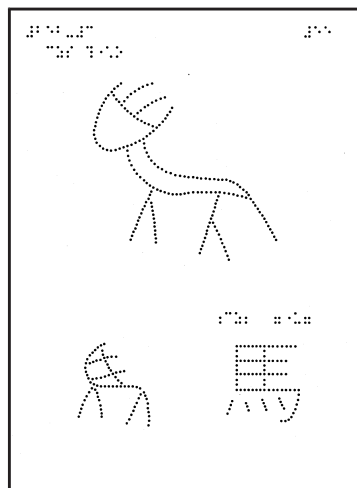
252-1



252-2

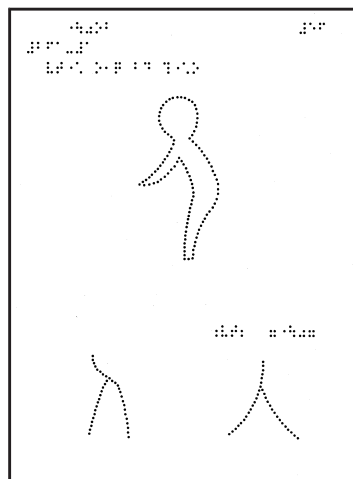


252-3

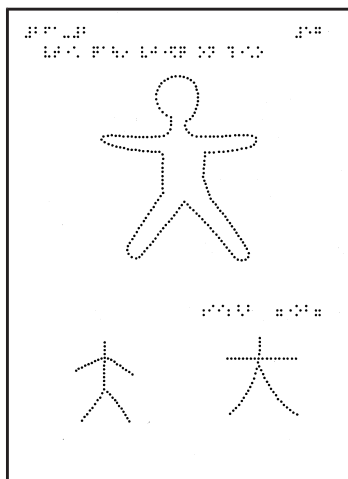


260 人体

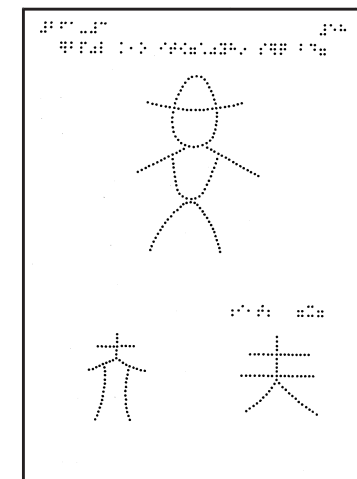
261-1



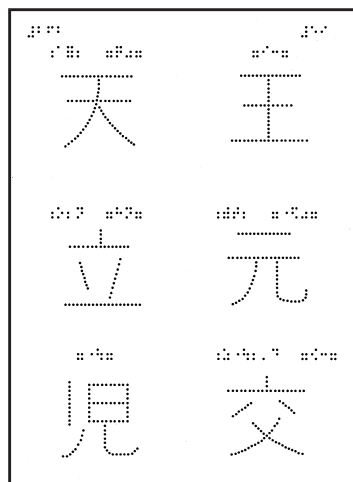
261-2



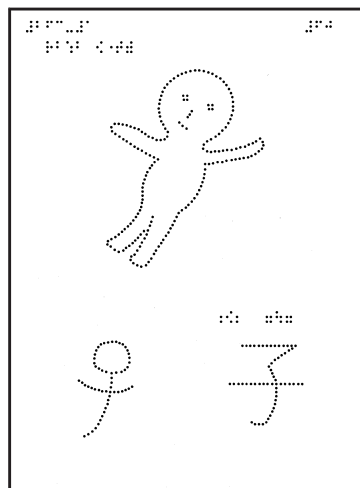
261-3



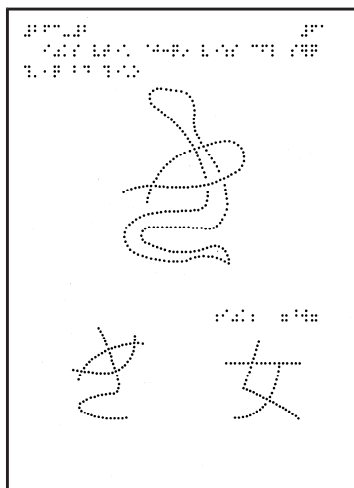
262



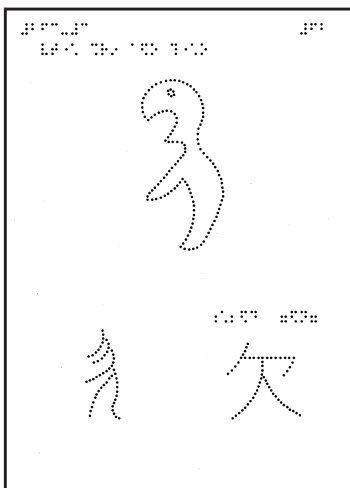
263-1



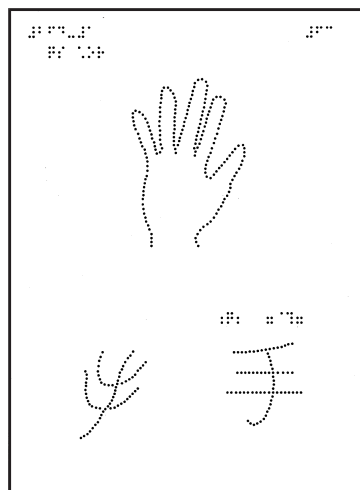
263-2



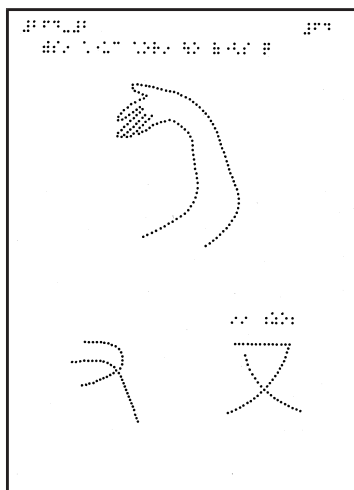
263-3



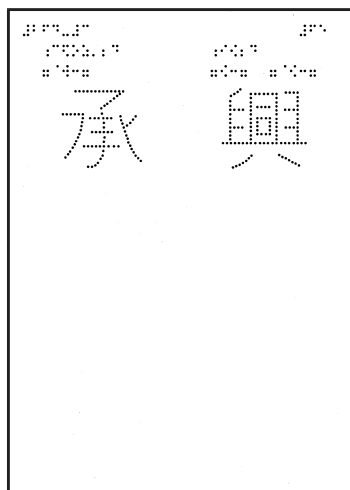
264-1



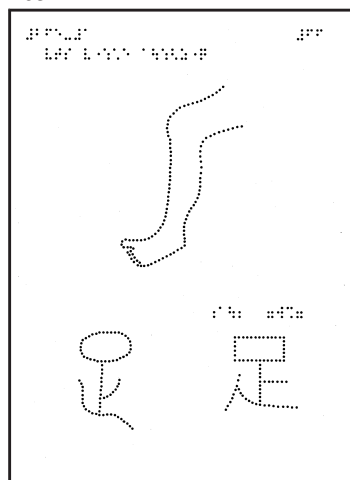
264-2



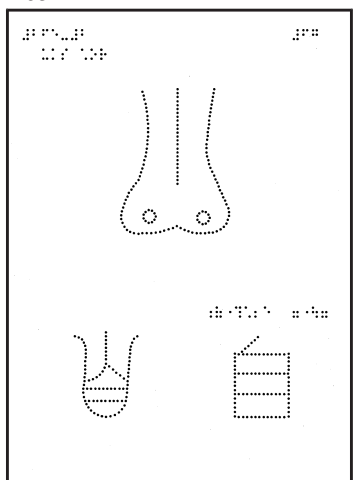
264-3



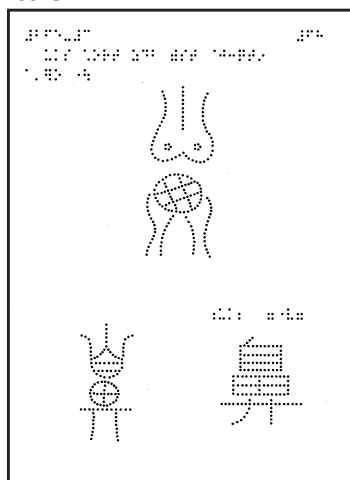
265-1



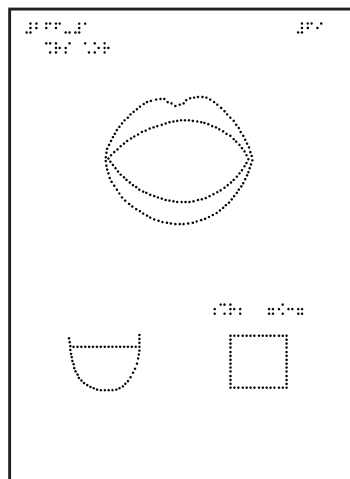
265-2



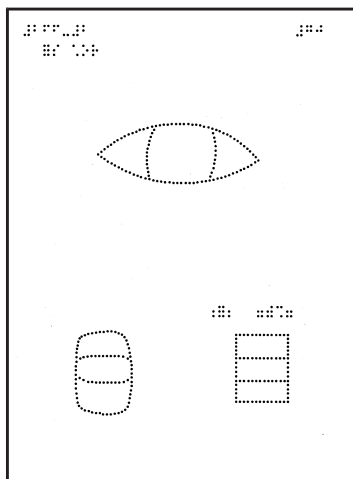
265-3



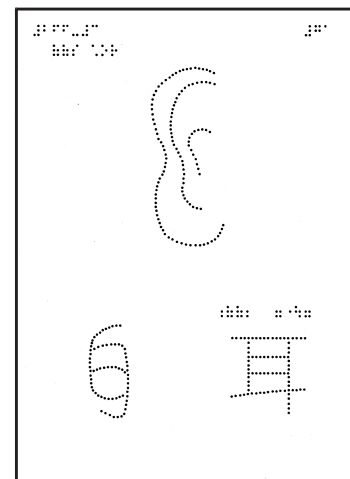
266-1



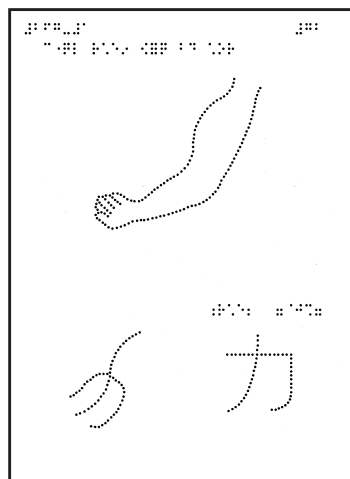
266-2



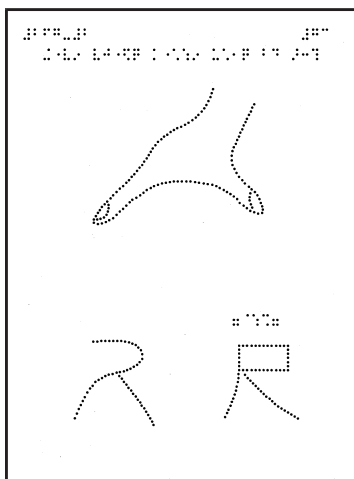
266-3



267-1

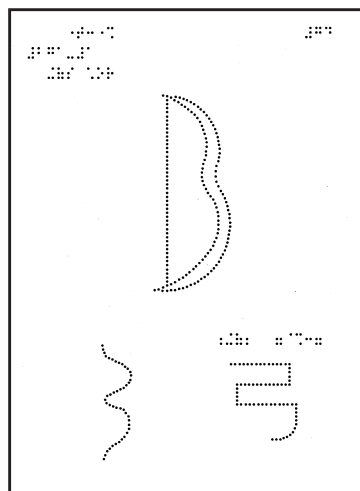


267-2

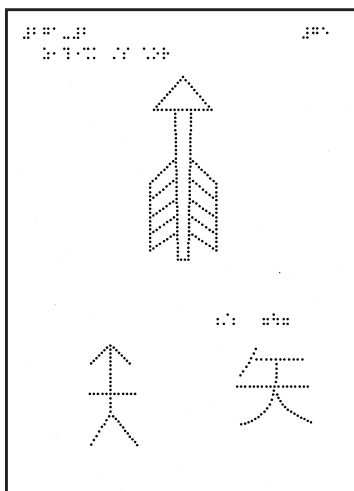


270 道具

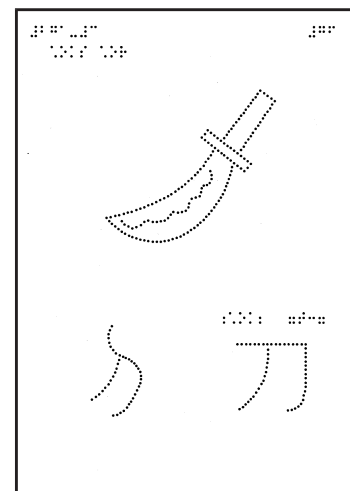
271-1



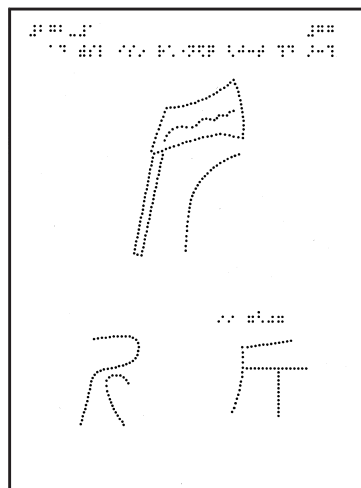
271-2



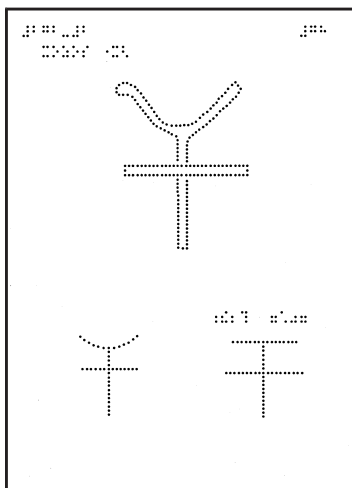
271-3



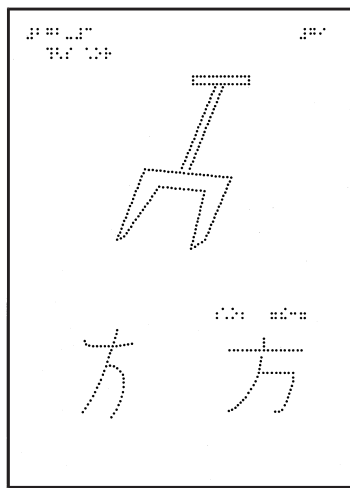
272-1



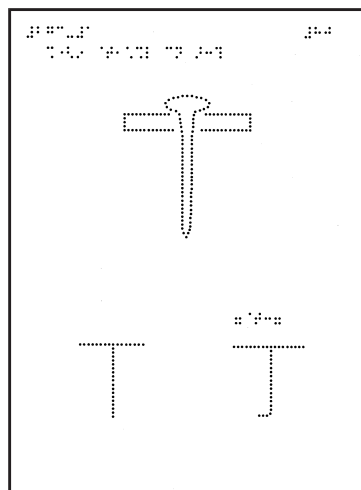
272-2



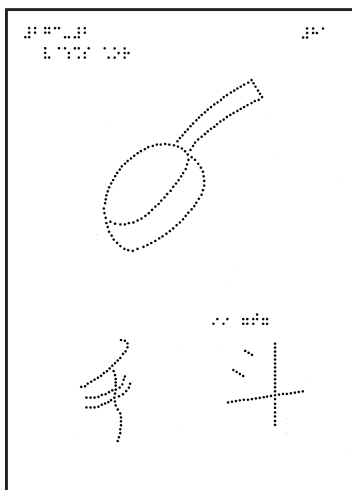
272-3



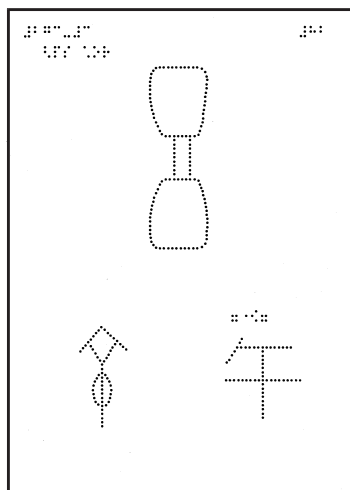
273-1



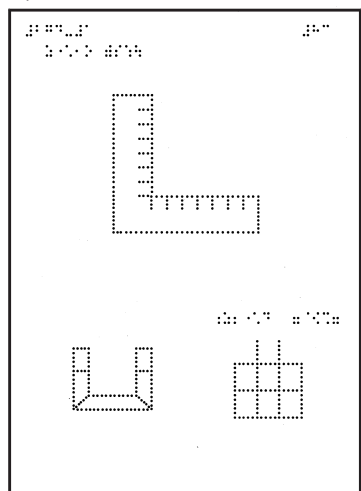
273-2



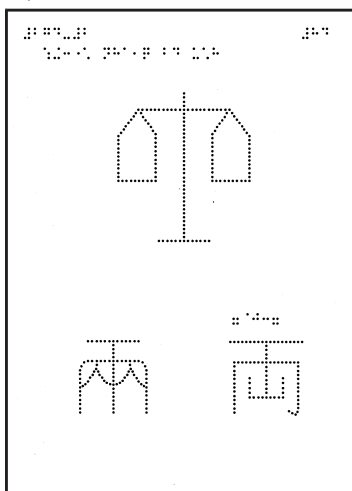
273-3



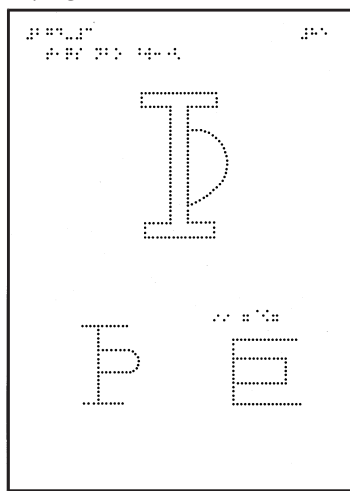
274-1



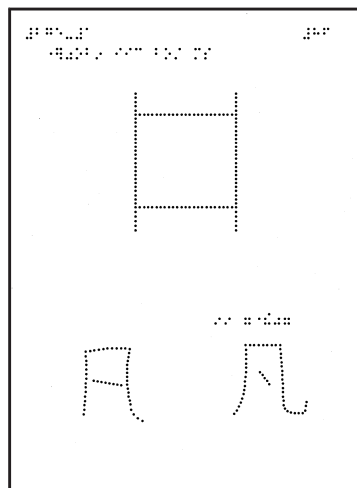
274-2



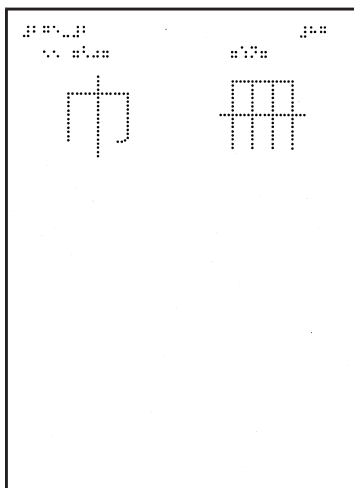
274-3



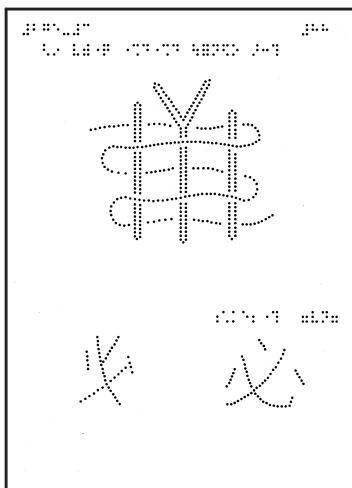
275-1



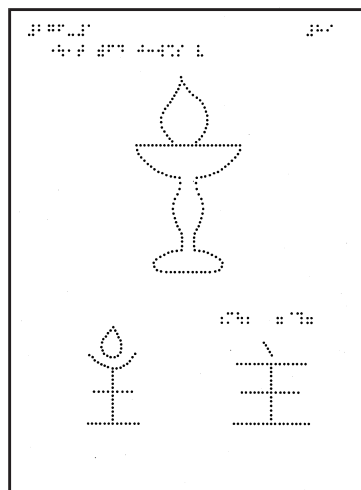
275-2



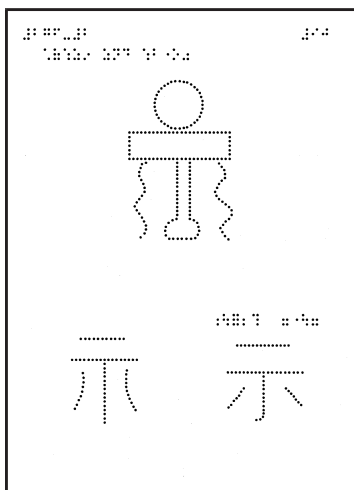
275-3



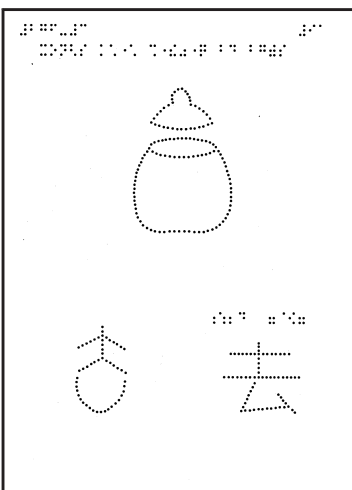
276-1



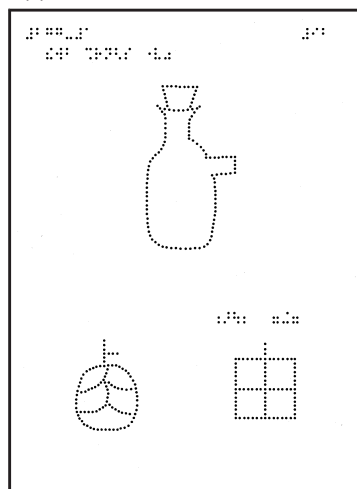
276-2



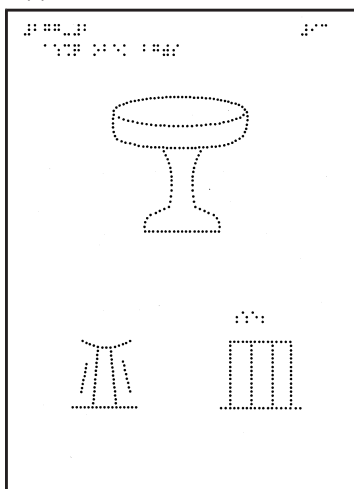
276-3



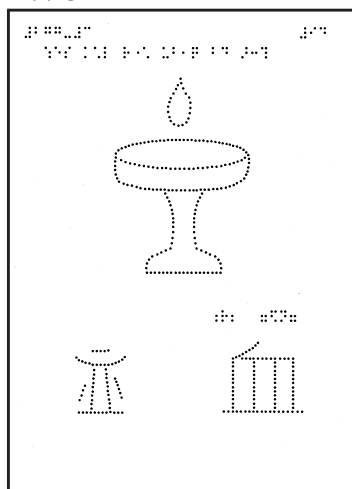
277-1



277-2

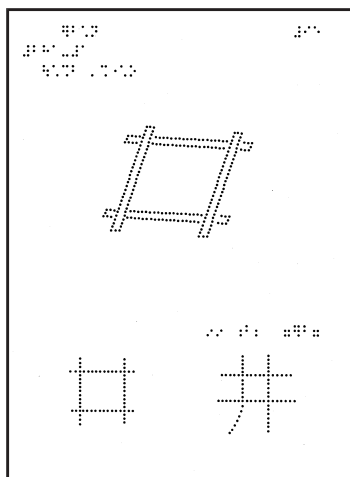


277-3

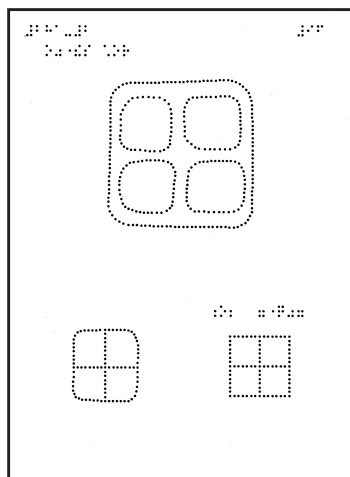


280 生活

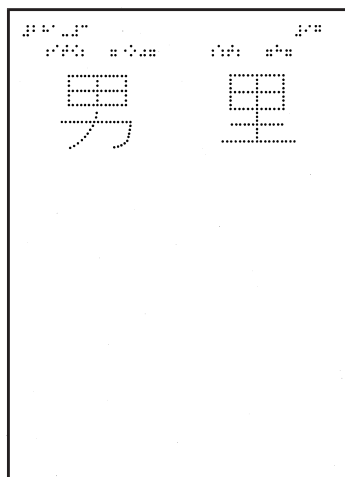
281-1



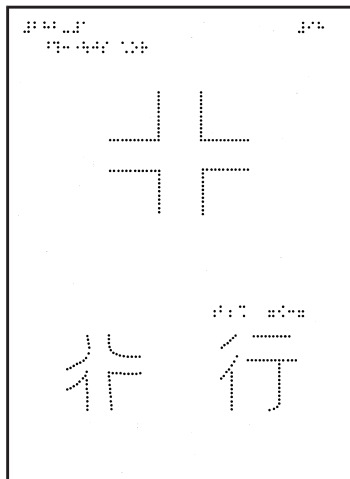
281-2



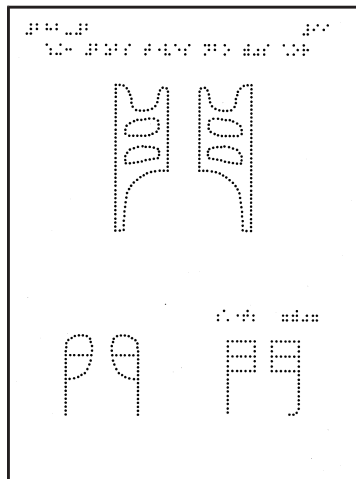
281-3



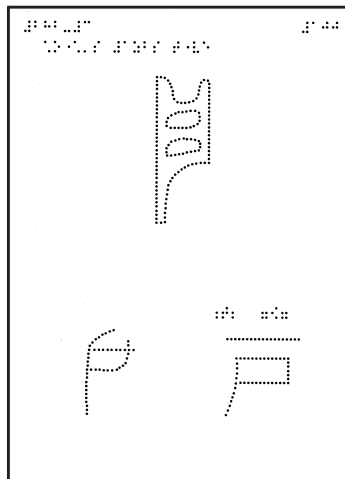
282-1



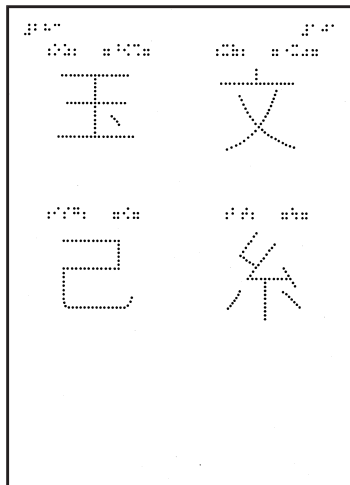
282-2



282-3

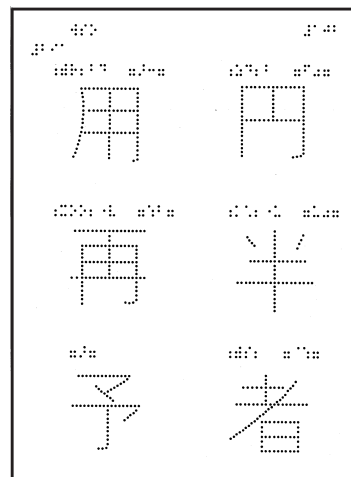


283



290 その他

291



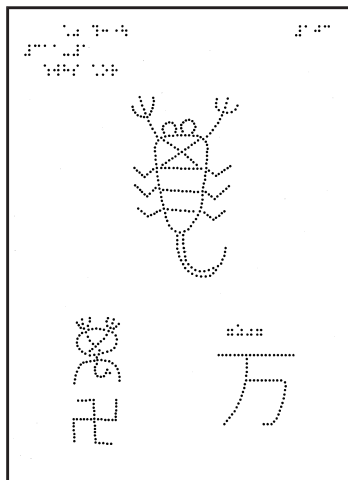
第3段階 基本的漢字2（漢数字・象形・指事・会意文字の一部）

<指導のねらい>

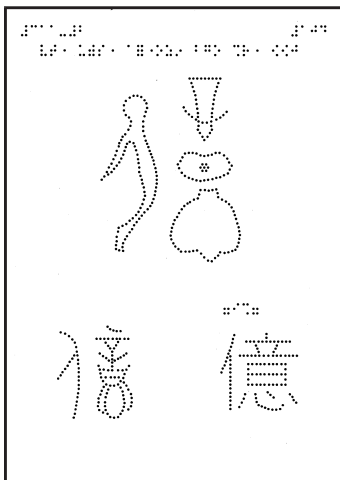
- (1) 使用頻度が高く、字形と意味がやや複雑な漢数字と指事文字を取り上げ、基本的漢字を理解させる。
- (2) 漢字の字源となっている象形文字のうちから、使用頻度が高く、字形と意味がやや複雑なものを取り上げ、物の象形としての漢字の形や意味を理解させる。また、象形文字に単純な要素を加えた会意文字も取り上げる。

310 漢数字

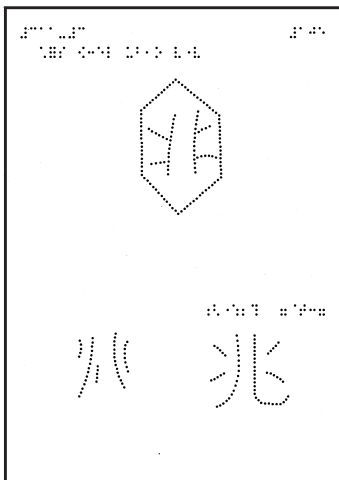
311-1



311-2

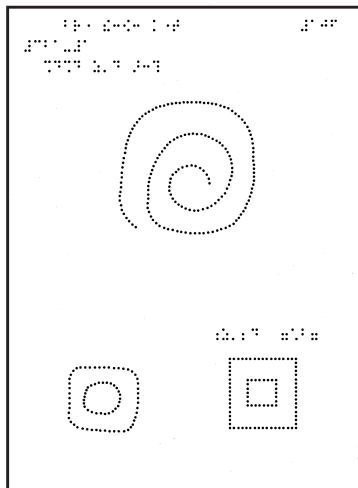


311-3

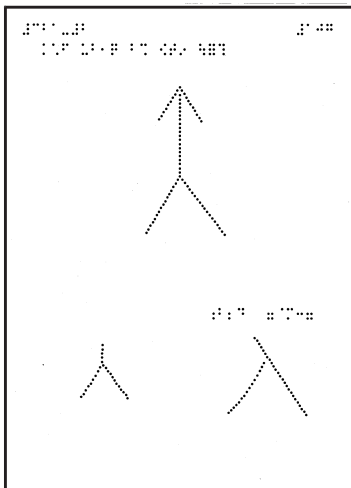


320 位置・方向など

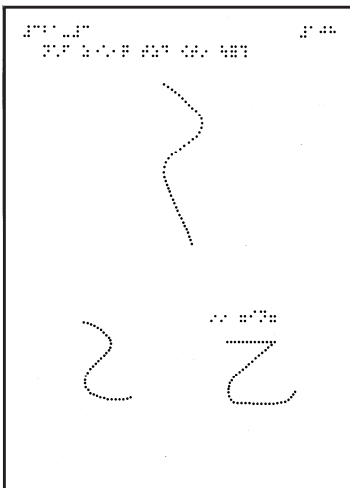
321-1



321-2



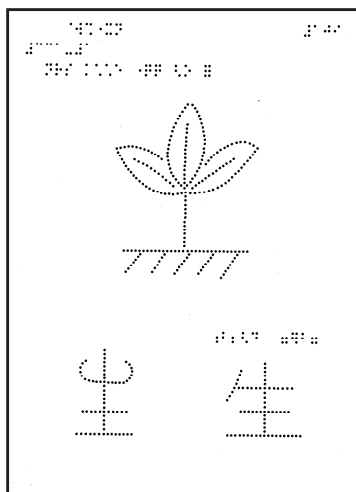
321-3



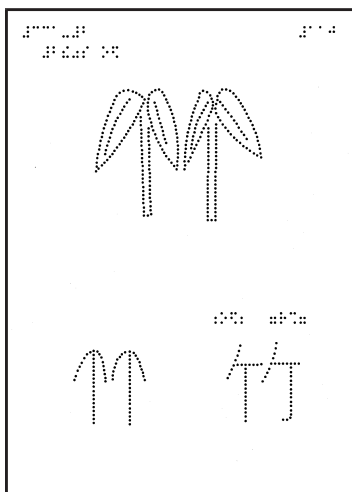
330 自然

340 植物

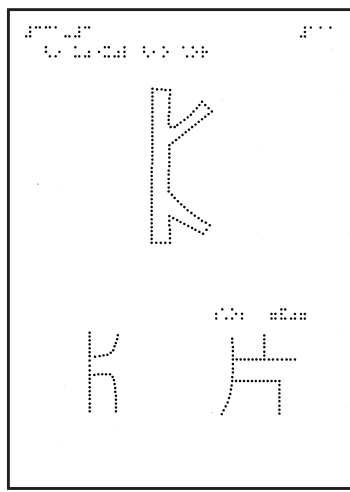
341-1



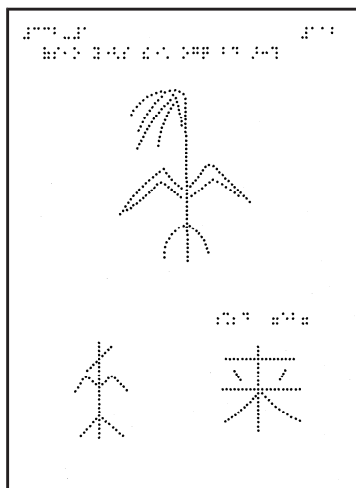
341-2



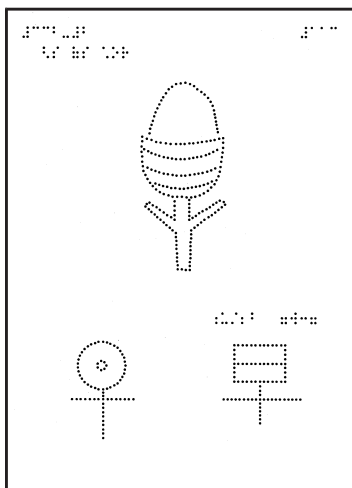
341-3



342-1

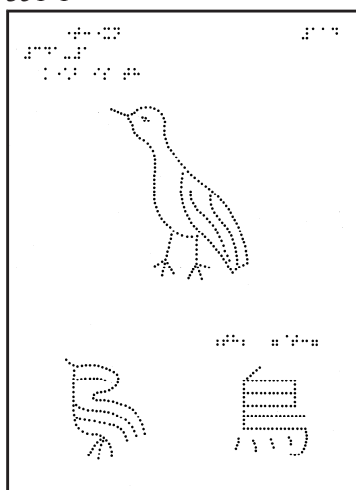


342-2

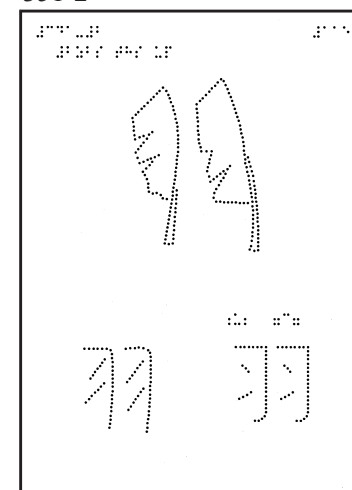


350 動物

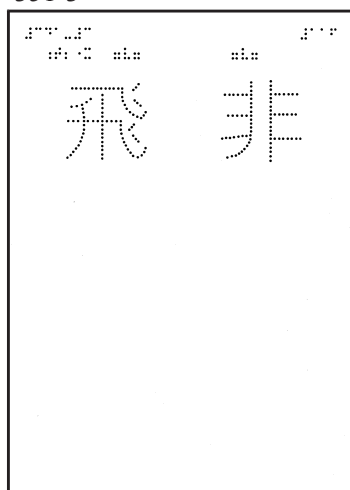
351-1



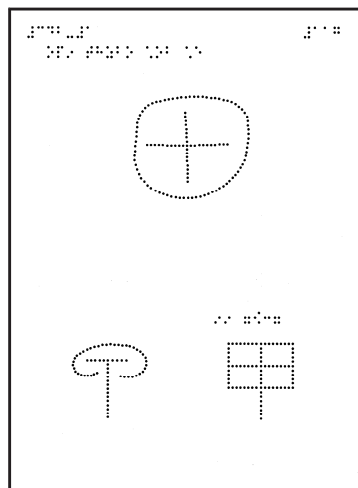
351-2



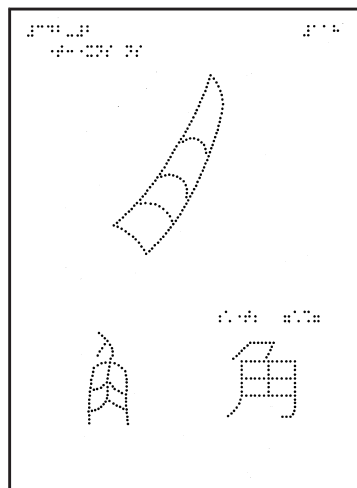
351-3



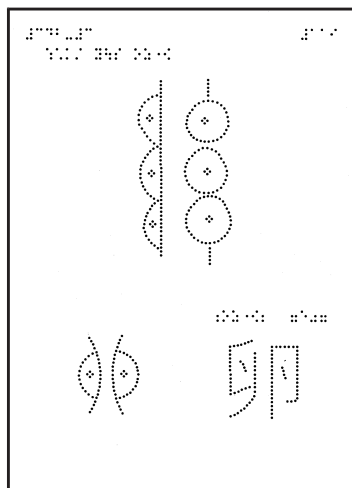
352-1



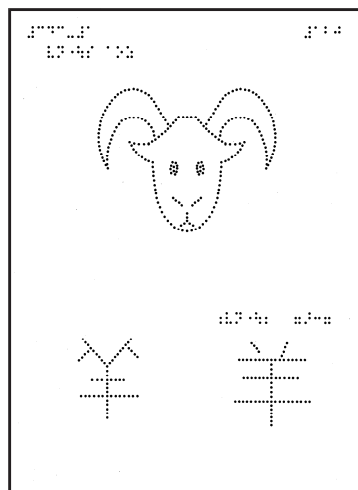
352-2



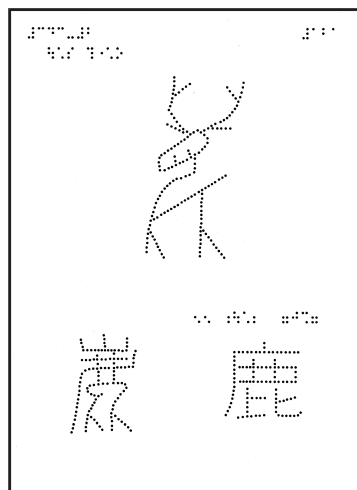
352-3



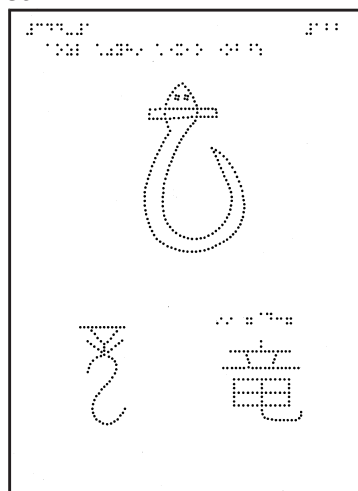
353-1



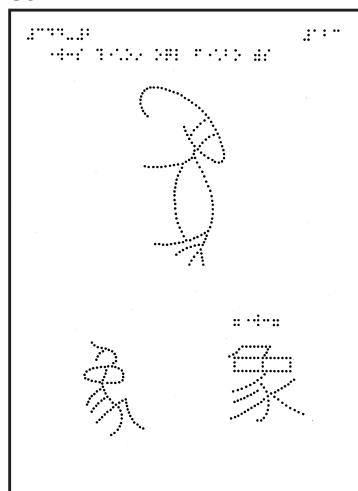
353-2



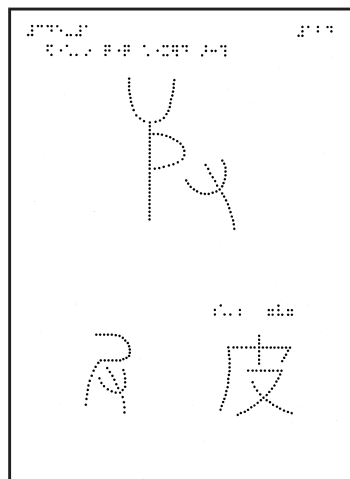
354-1



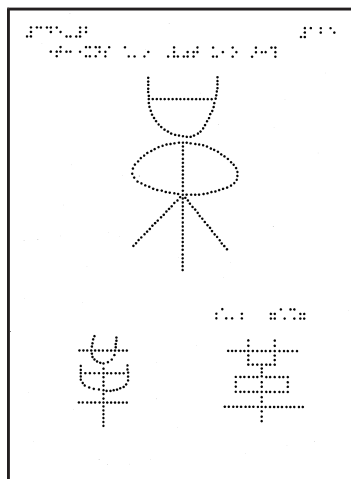
354-2



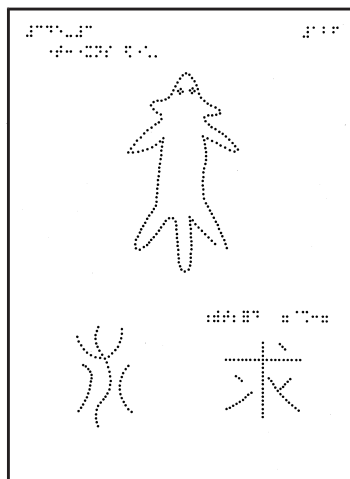
355-1



355-2

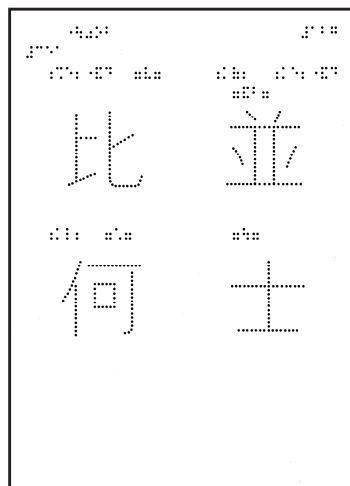


355-3

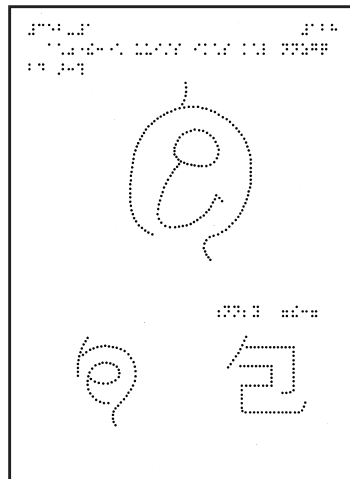


360 人体

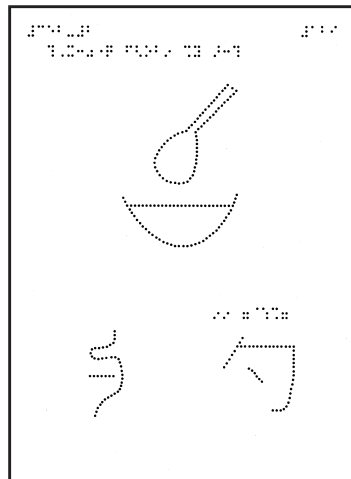
361



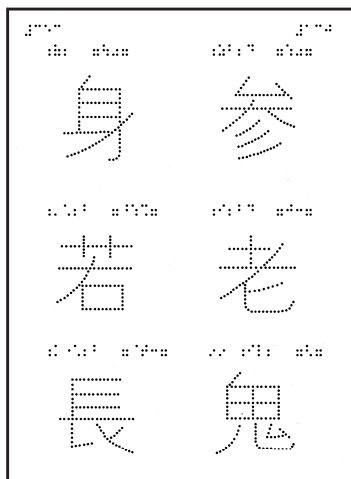
362-1



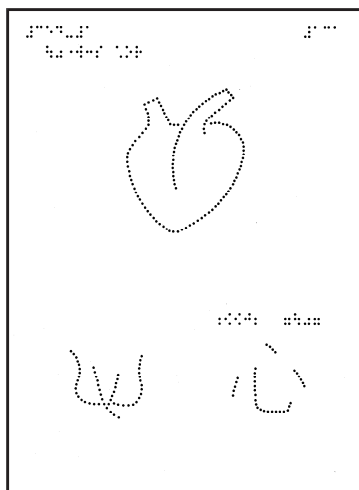
362-2



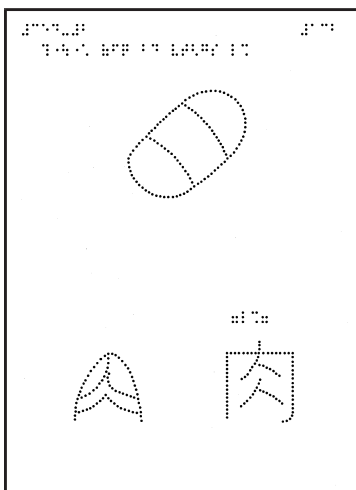
363



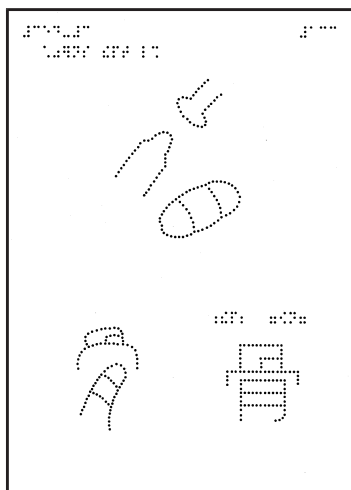
364-1



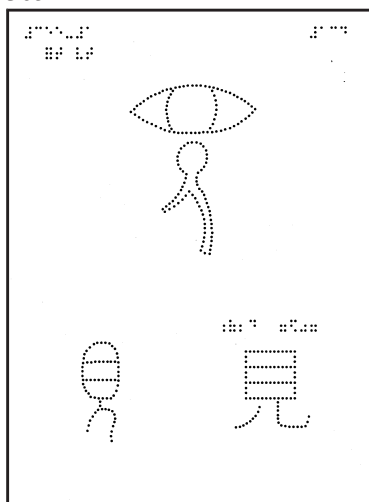
364-2



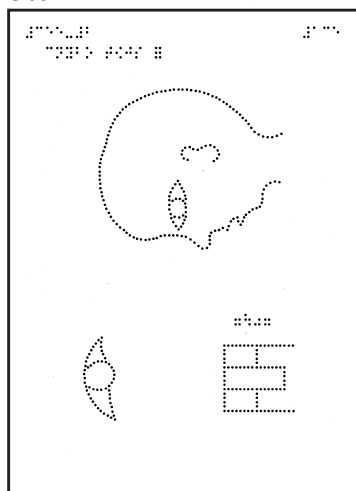
364-3



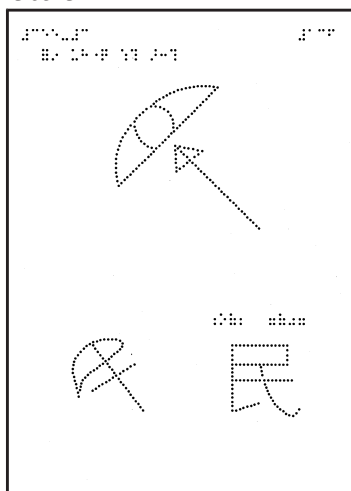
365-1



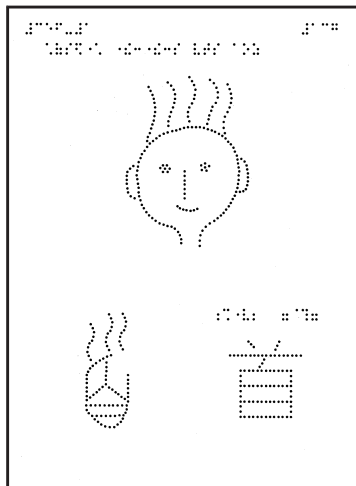
365-2



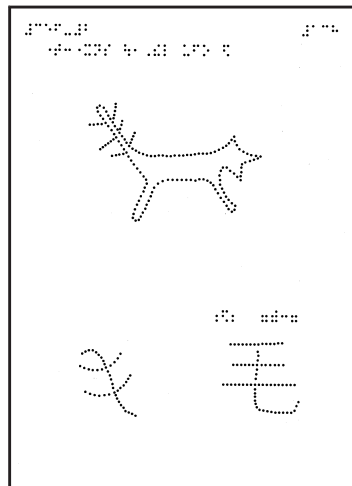
365-3



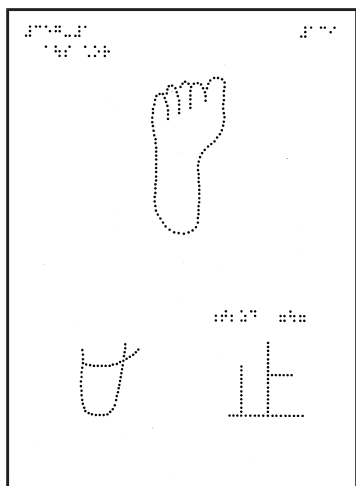
366-1



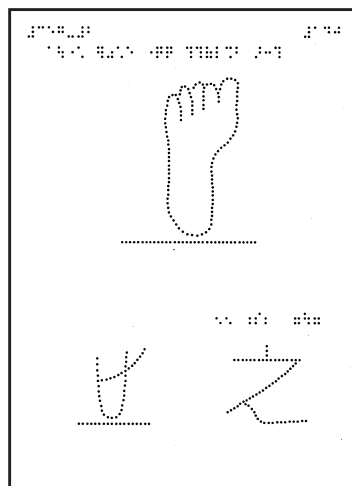
366-2



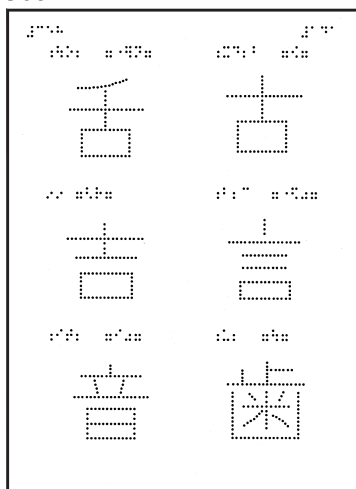
367-1



367-2

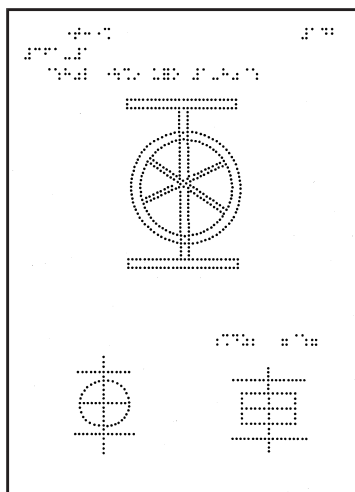


368

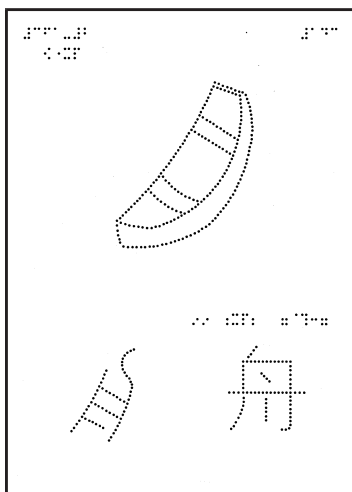


370 道具

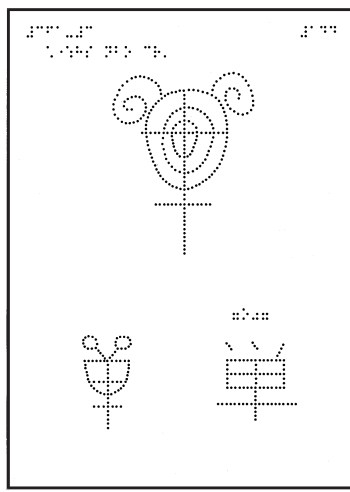
371-1



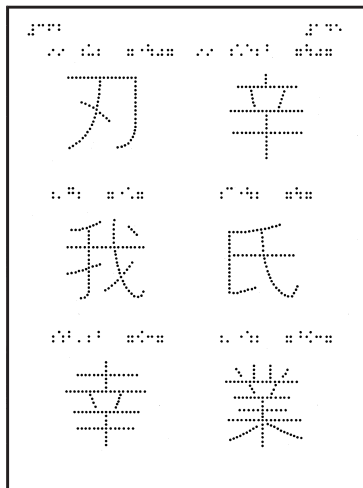
371-2



371-3

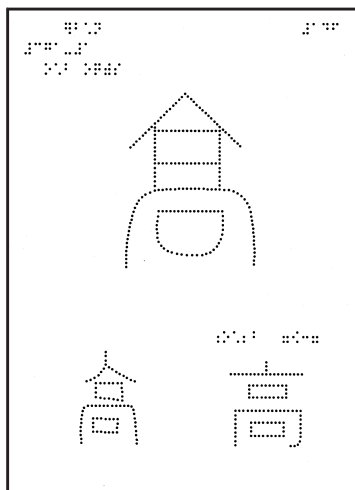


372

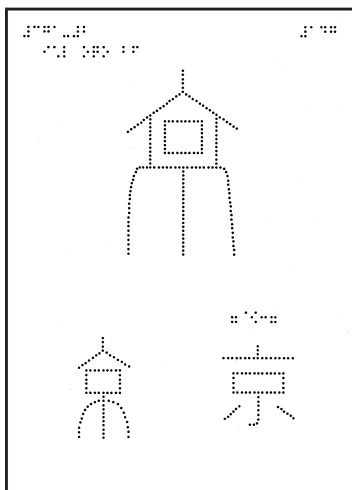


380 生活

381-1

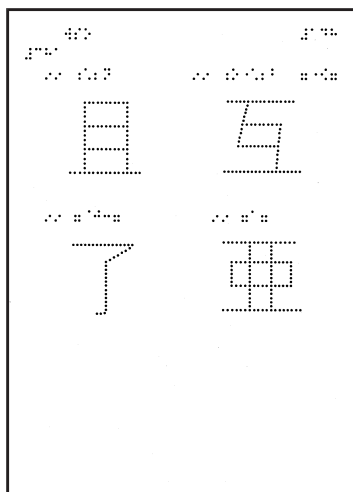


381-2

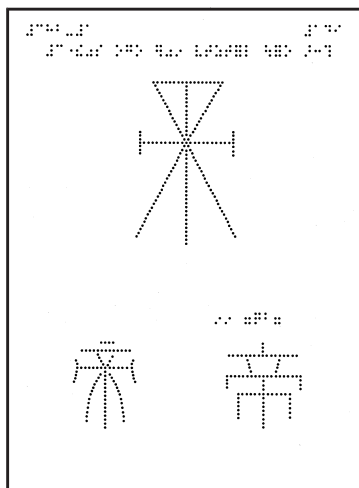


390 その他

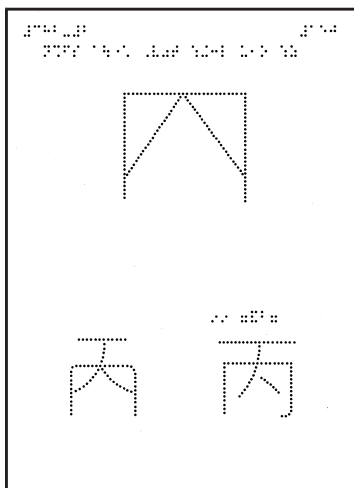
391



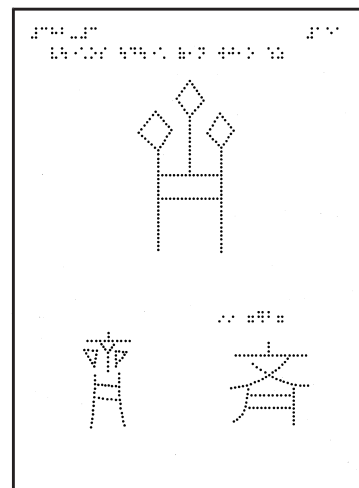
392-1



392-2



392-3



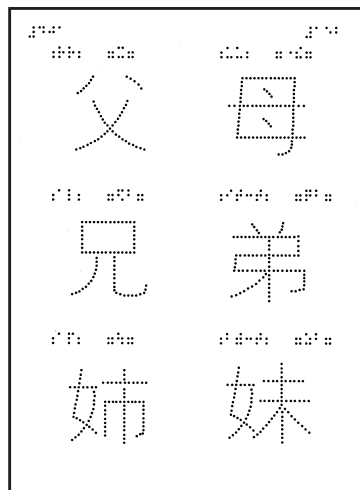
第4段階 身近な言葉を表す漢字

<指導のねらい>

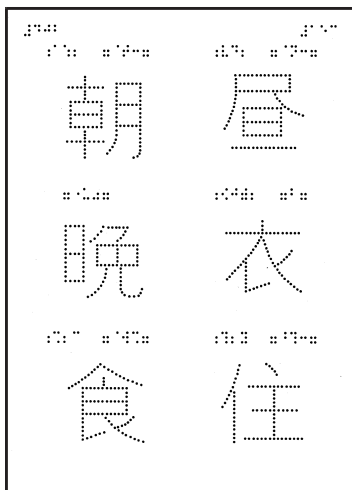
(1) 日常生活でよく使われる馴染みの漢字をまとめて理解させる。

400 身近な言葉

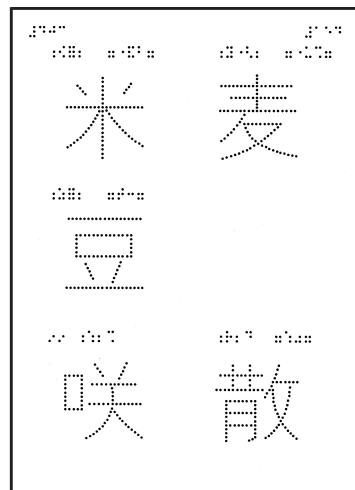
401



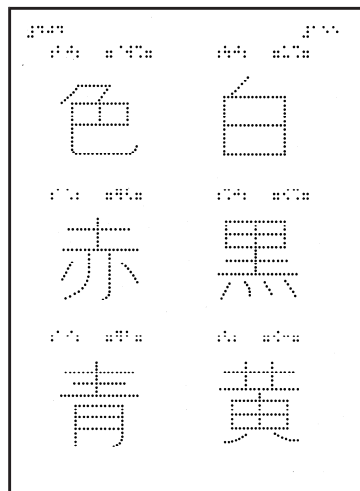
402



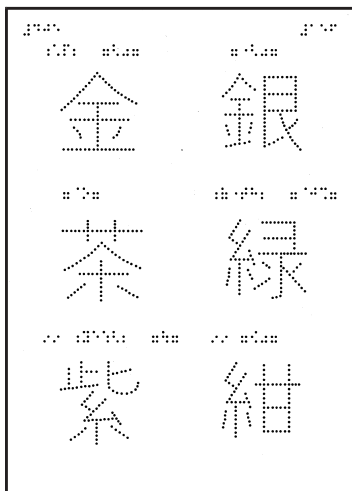
403



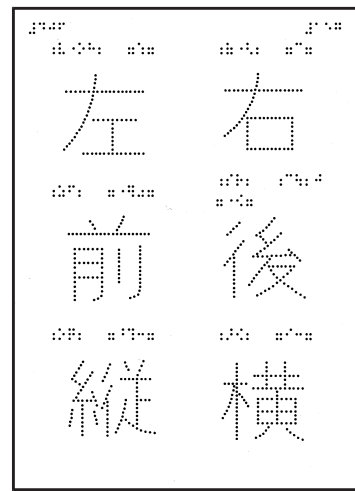
404



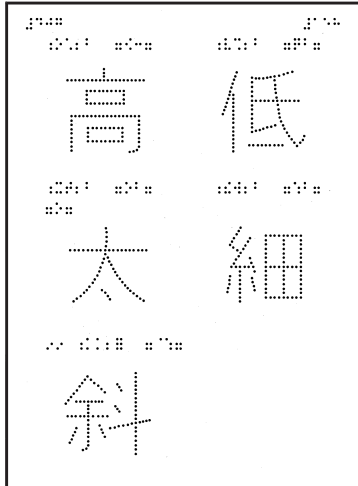
405



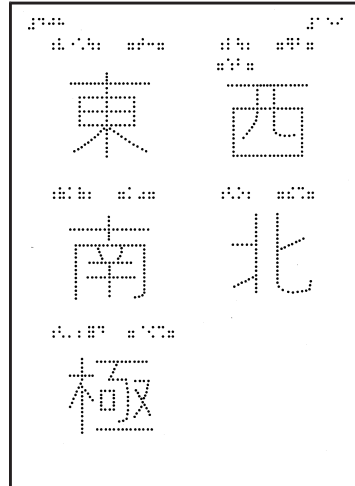
406



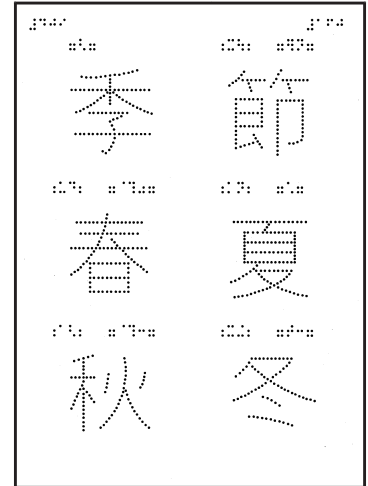
407



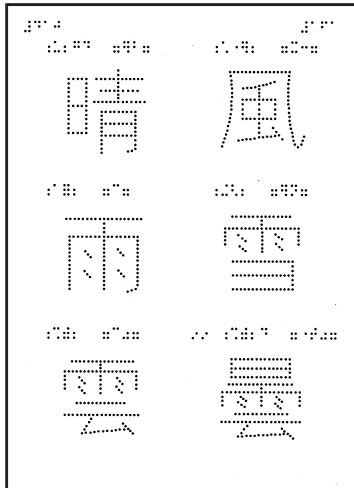
408



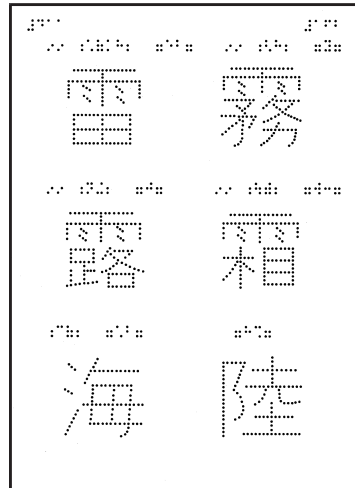
409



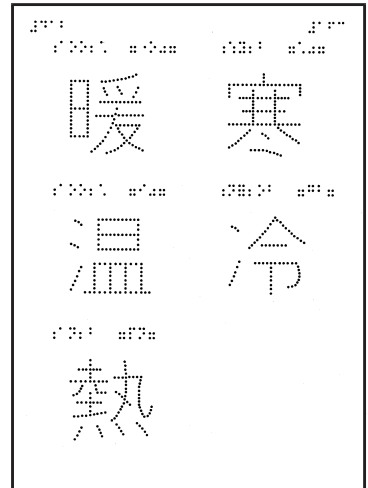
410



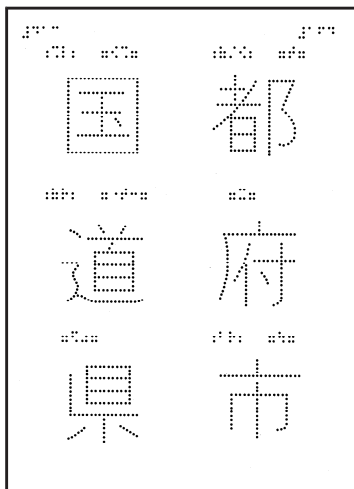
411



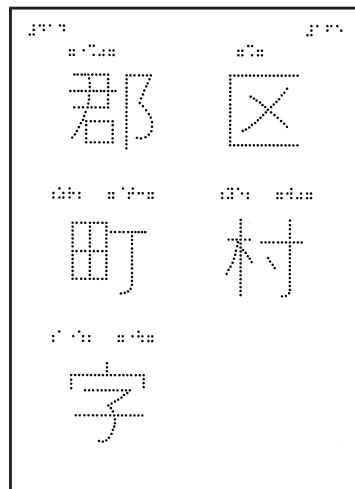
412



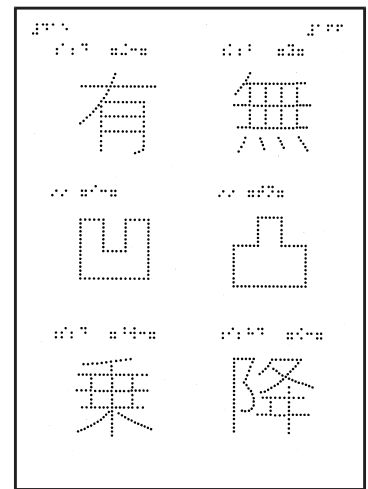
413



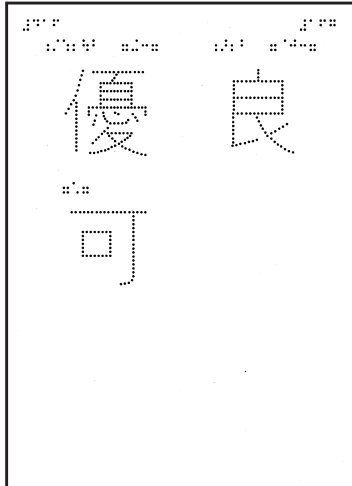
414



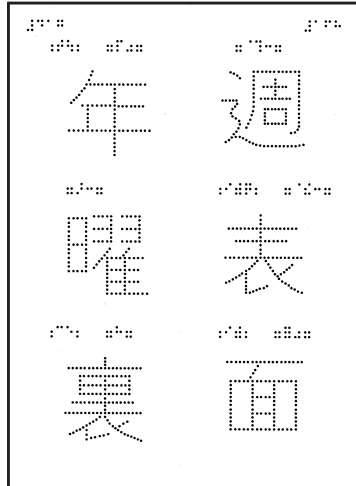
415



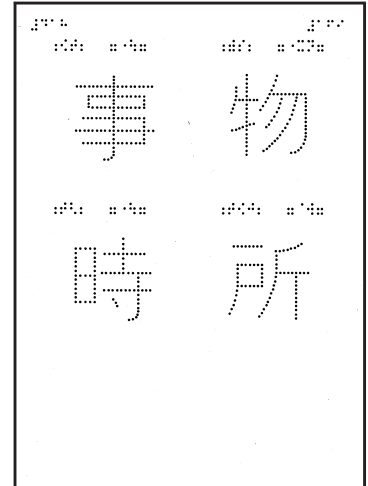
416



417



418



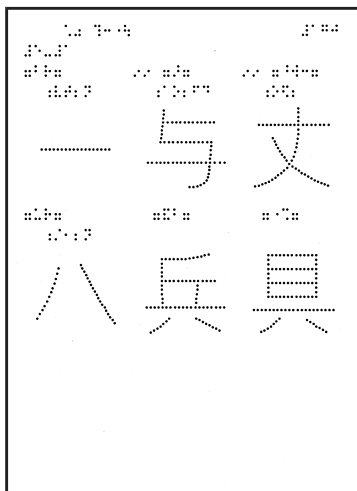
第5段階 基本的漢字を構成要素とする漢字

<指導のねらい>

- (1) 第1段階から第4段階までで学習した漢字を構成要素として含む漢字を取り上げて、漢字を組み合わせて新しい漢字が構成されていくことを理解させる。基本的には既習の基本的漢字や、主として学年別配当表の漢字を取り上げた。

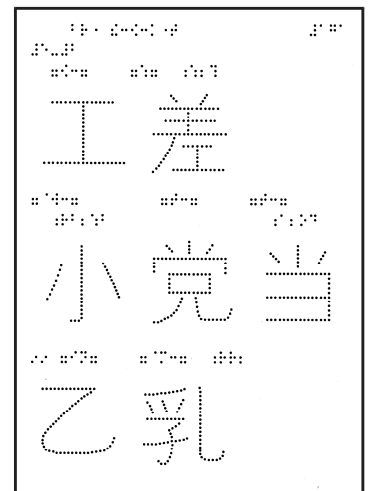
510 漢数字

511



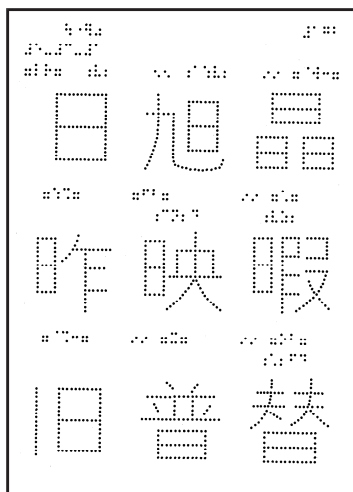
520 位置・方向など

521

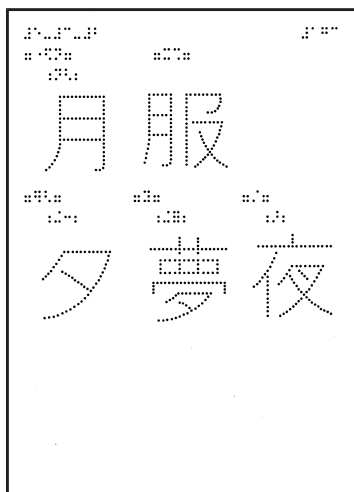


530 自然

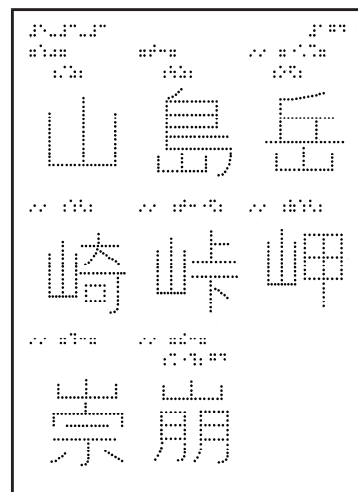
531



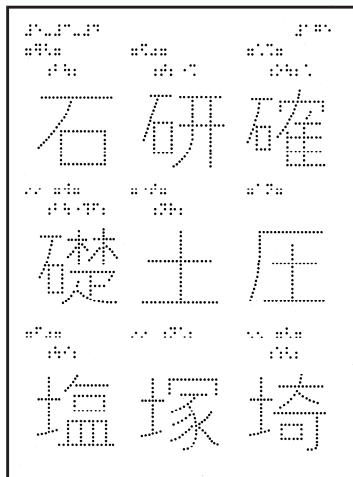
532



533

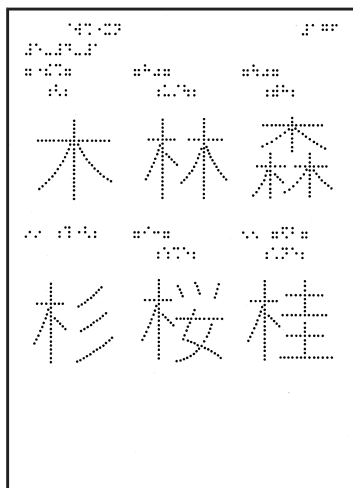


534

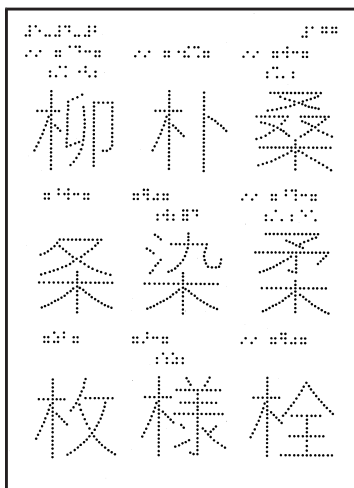


540 植物

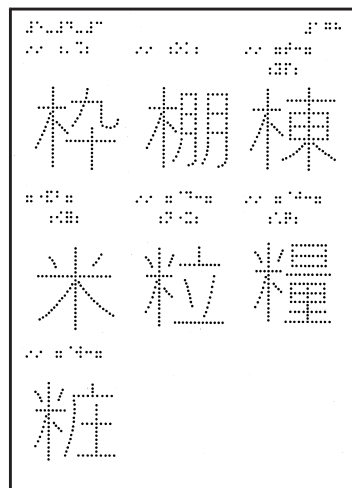
541



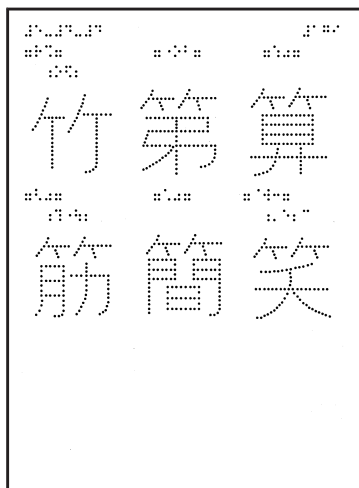
542



543

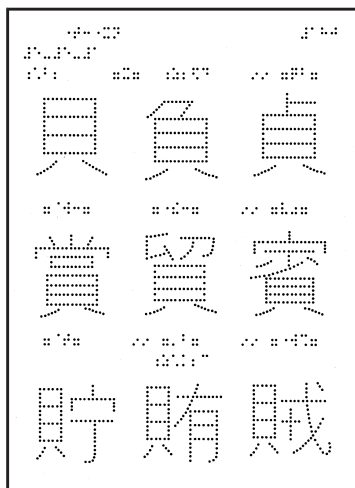


544

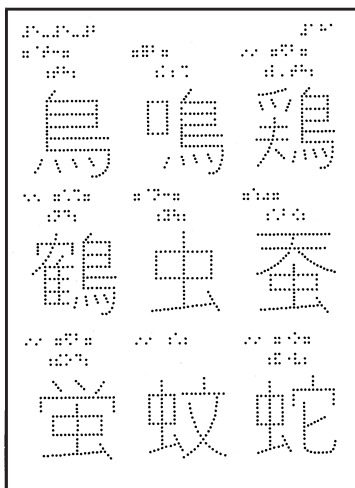


550 動物

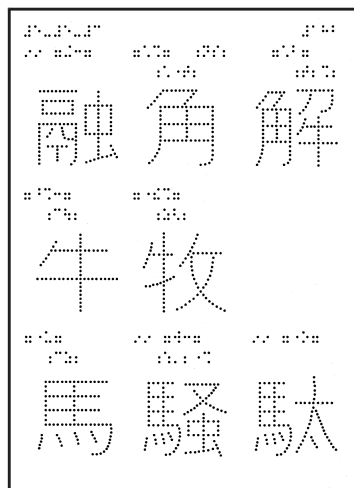
551



552

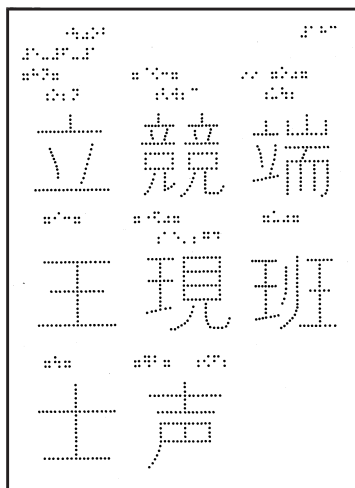


553

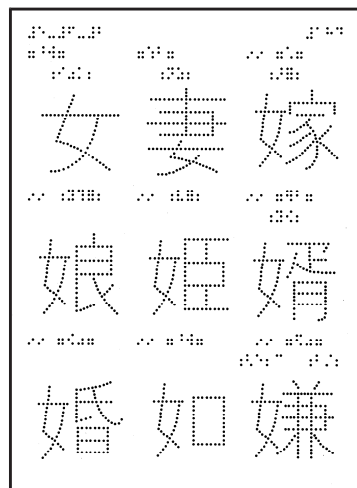


560 人体

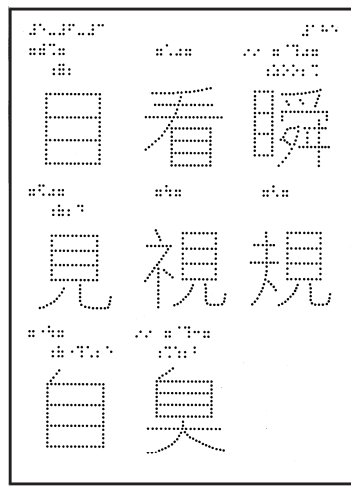
561



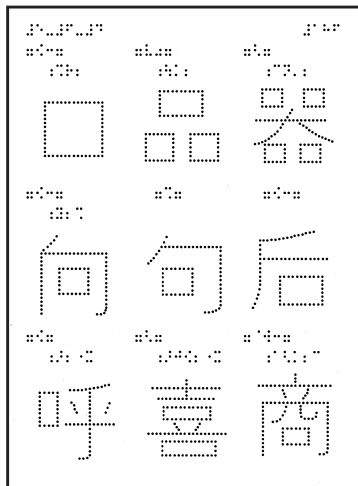
562



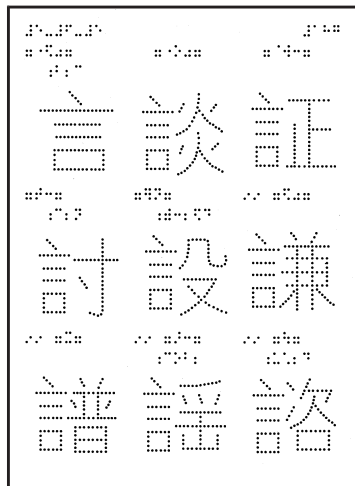
563



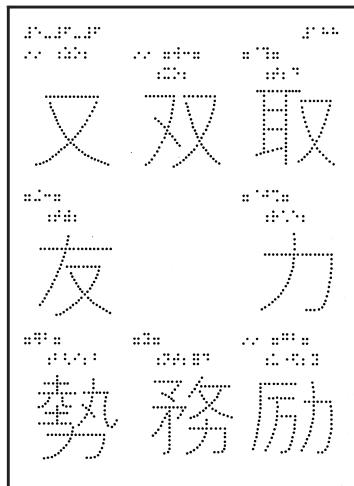
564



565

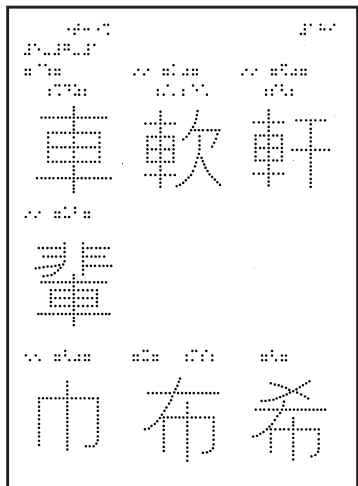


566

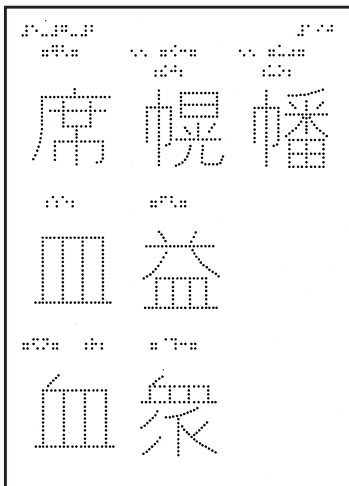


570 道具

571

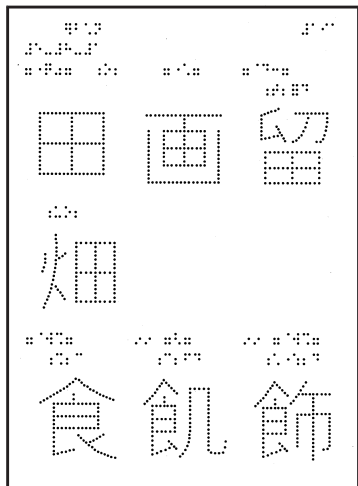


572

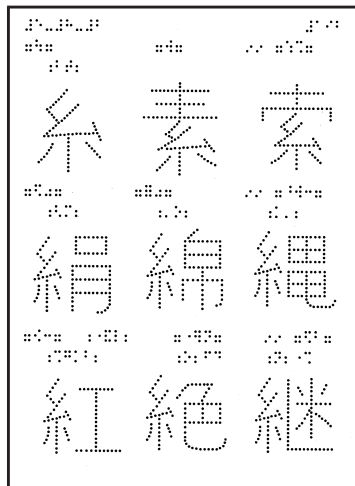


580 生活

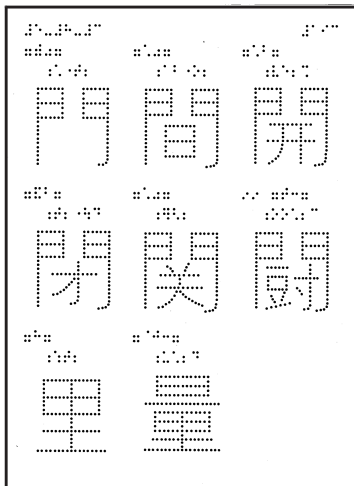
581



582



583



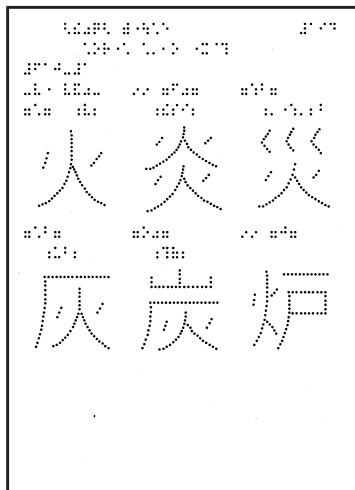
第6段階 部首による漢字の構成

<指導のねらい>

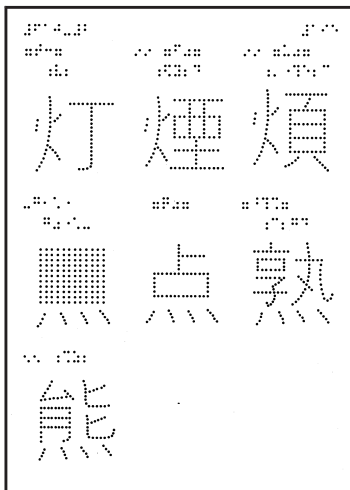
- (1) 基本的漢字そのままか、または変形して部首になることを学ぶことによって、部首というものがあることを理解させる。
- (2) 七つの部首ごとに基本的な部首とその位置を理解する。用例としては既習及び、主として学年別配当表の漢字を取り上げる。

610 基本的文字から形がかわった部首

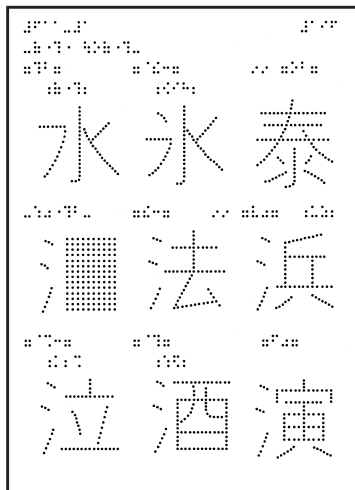
610-1 ひ・ひへん・れっか・れんが



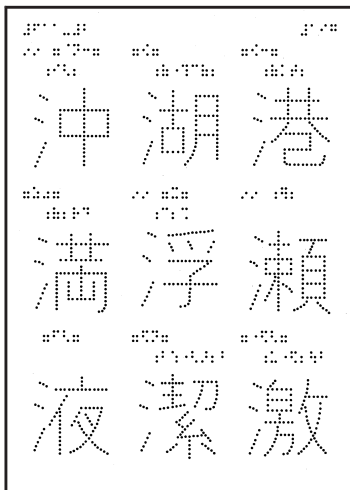
610-2



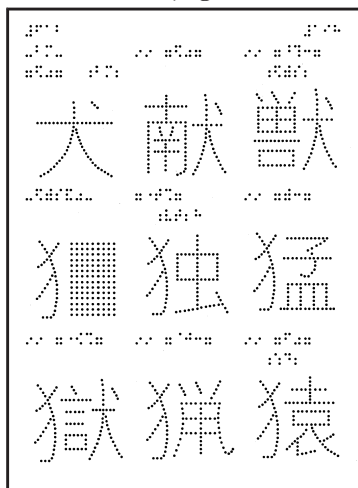
611-1 みず・したみず・さんずい



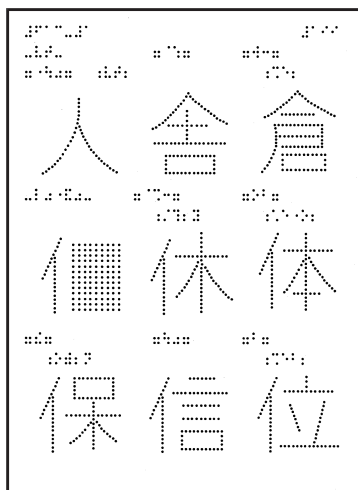
611-2



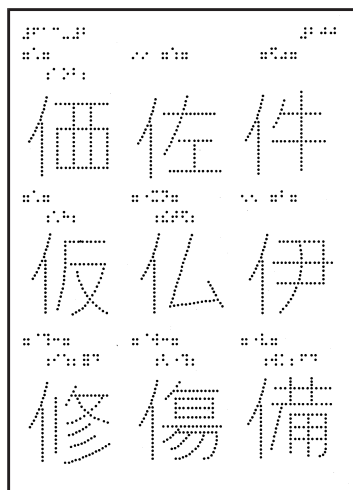
612 いぬ・けものへん



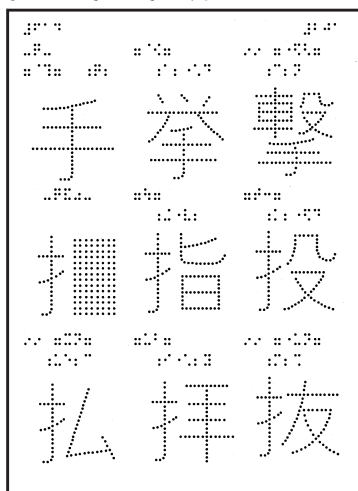
613-1 ひと・にんべん



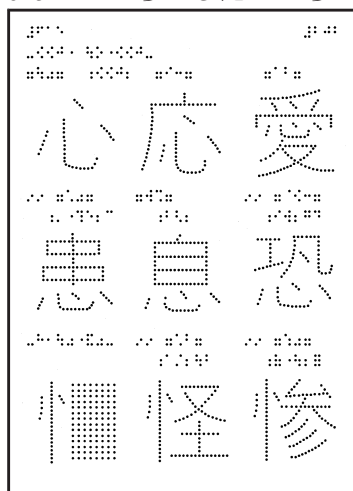
613-2



614 て・てへん



615 こころ・したごころ・りっしんべん



616-1 にく・にくづき

肉	腐	胃
胃	肩	膚
臑	肝	肺

616-2

肢	胸	腕
肌	肥	膨
腹	胴	腰

617 かたな・りっとう

刀	初	切
剛	刈	利
刊	劇	創

618 しめす・しめすへん

示	禁	祭
禪	神	社
祝	礼	祈

619 ころも・ころもへん

衣	裂	襲
襴	被	裕
裸	襟	褐

620 偏

621

殞	死	残
陣	陣	際
漚	凍	冷

622

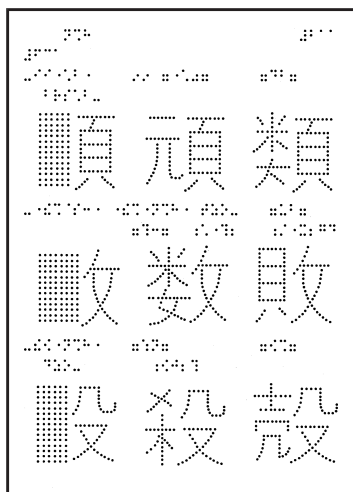
耨	耕	耗
醞	酸	酢
徂	役	御

623

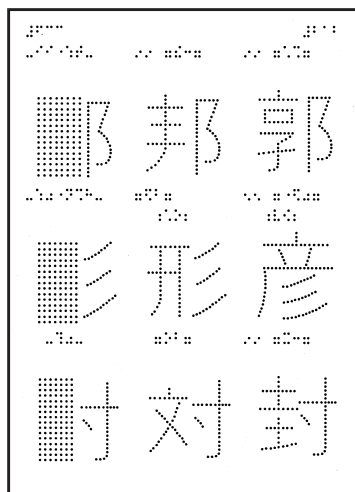
和	私	稻
---	---	---

630 旁

631

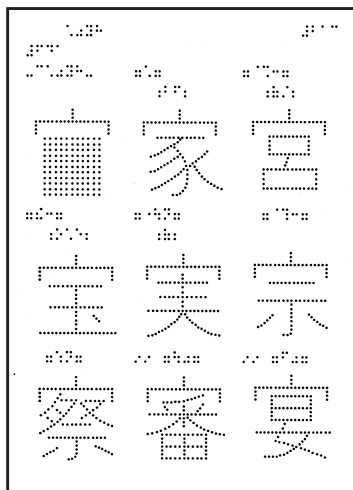


632

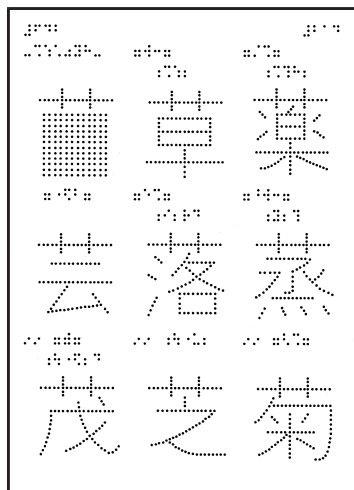


640 冠

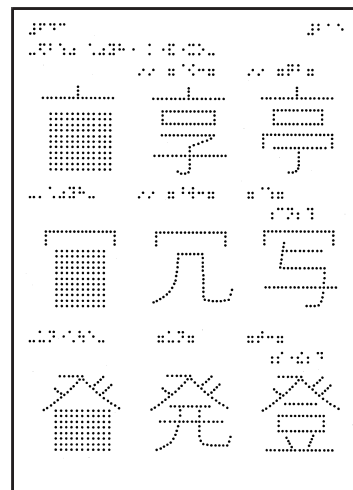
641



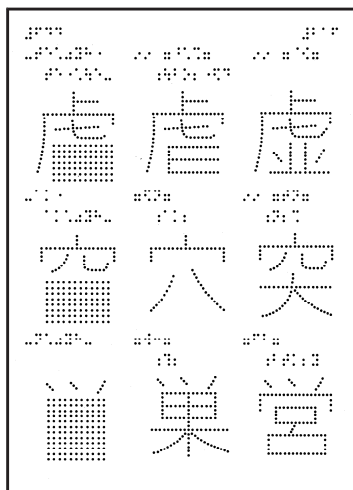
642



643

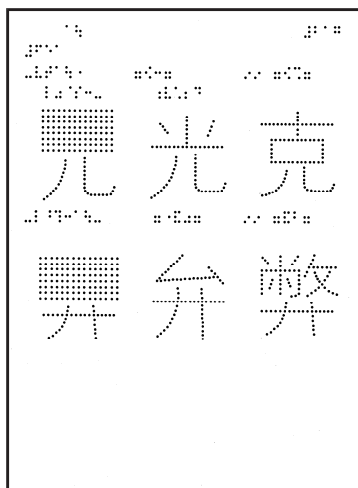


644



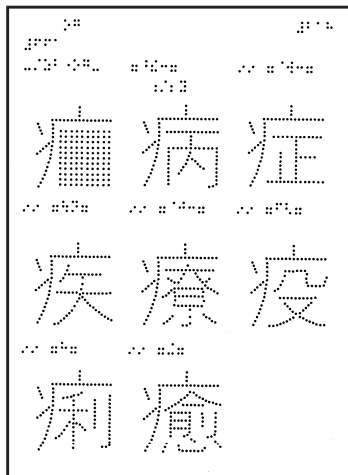
650 脚

651

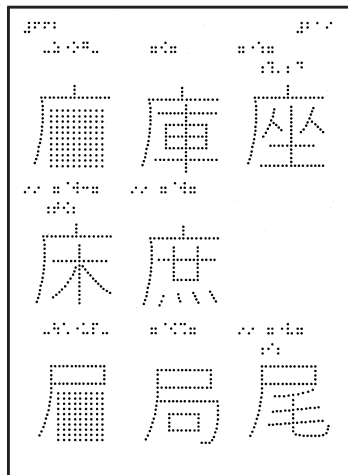


660 垂

661

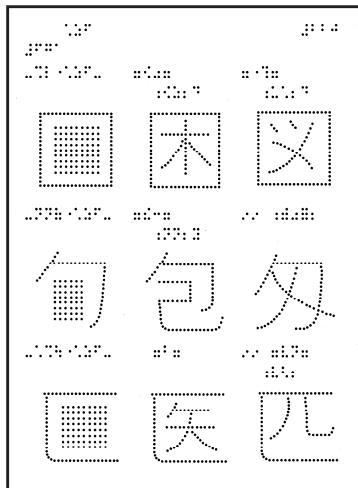


662

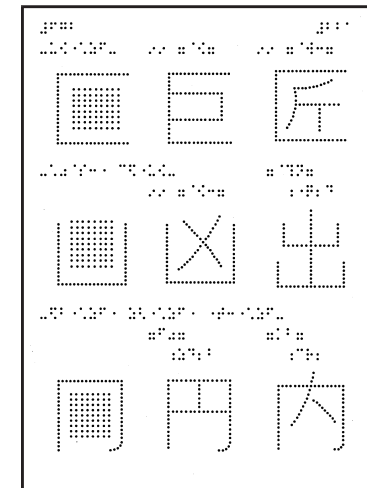


670 構

671

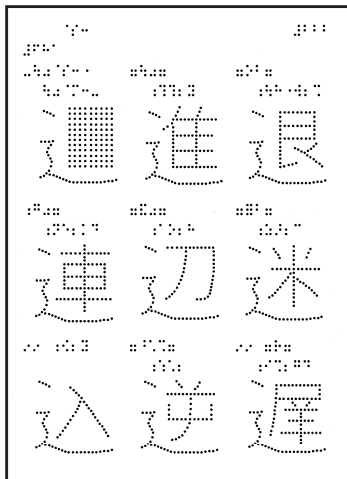


672

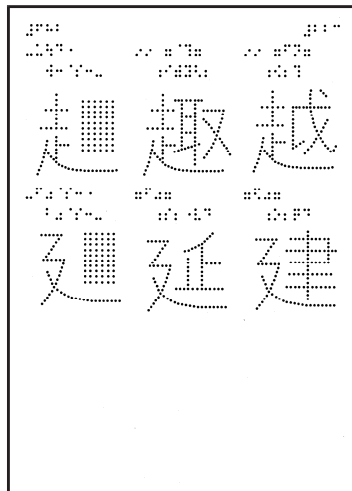


680 繞

681

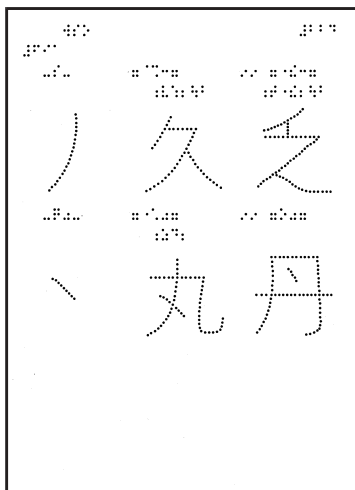


682



690 その他

691



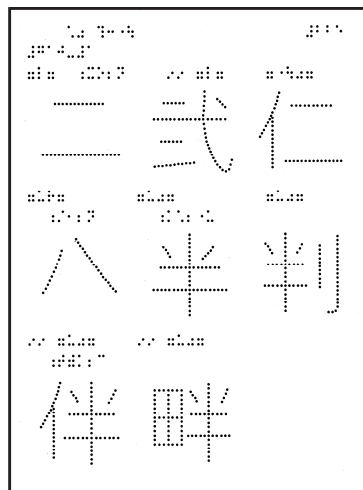
第7段階 単語家族で分類した漢字 1

<指導のねらい>

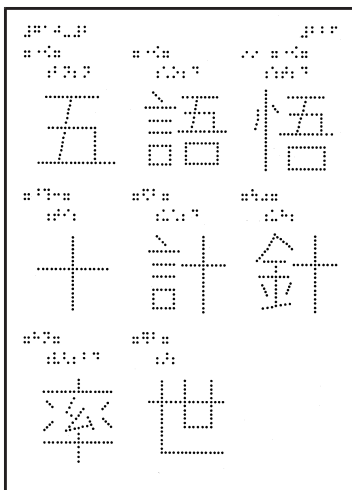
(1) 字形・字音・字義を共有する基本部分に、他の構成要素を付け加えた漢字の「単語家族」を関連づけて学ばせる。

710 漢数字

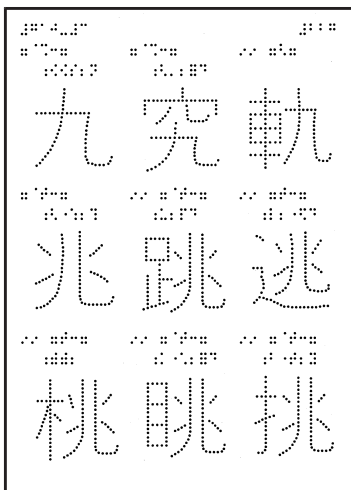
710-1



710-2

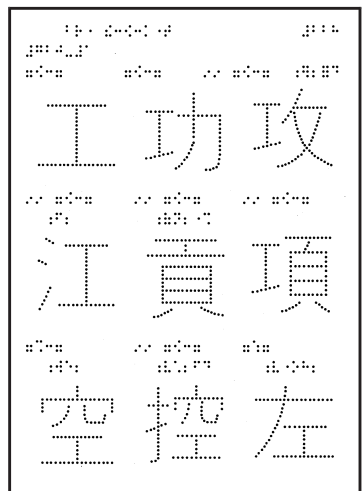


710-3

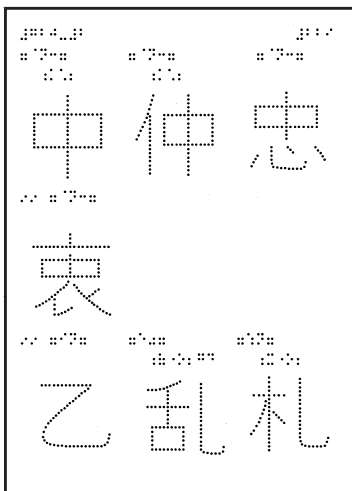


720 位置・方向など

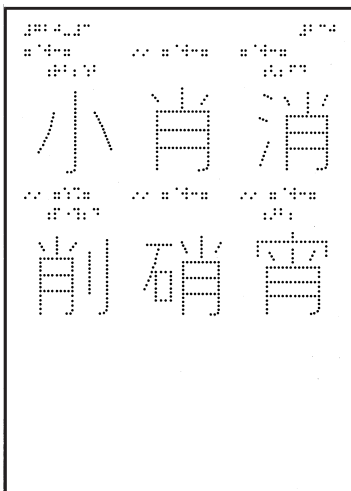
720-1



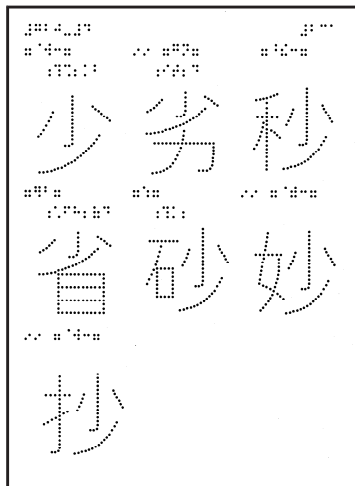
720-2



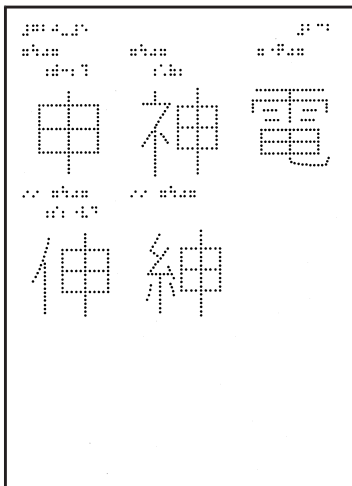
720-3



720-4

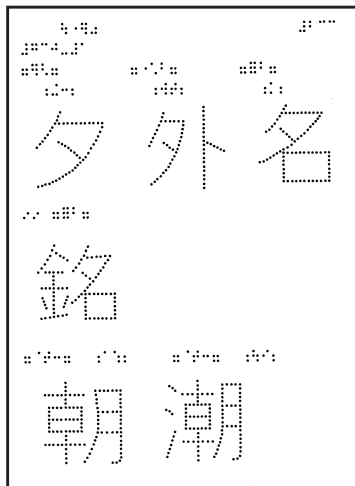


720-5

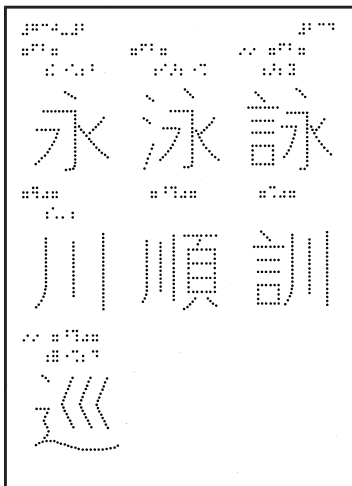


730 自然

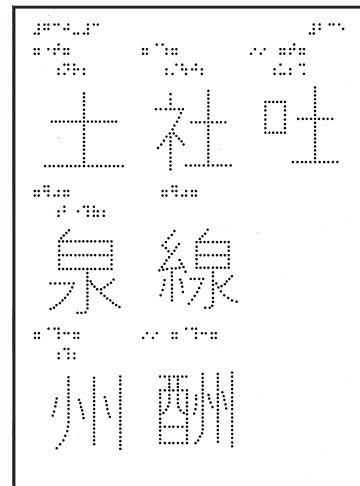
730-1



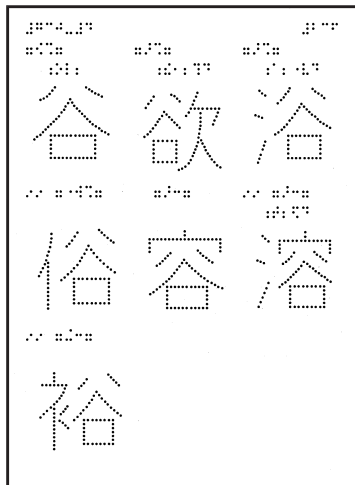
730-2



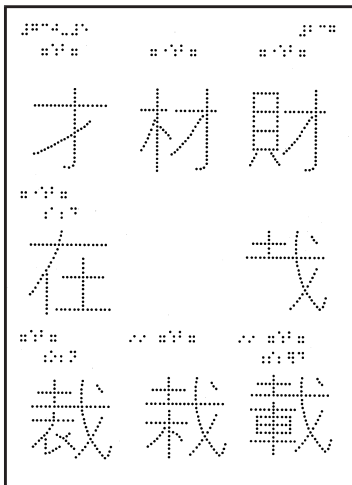
730-3



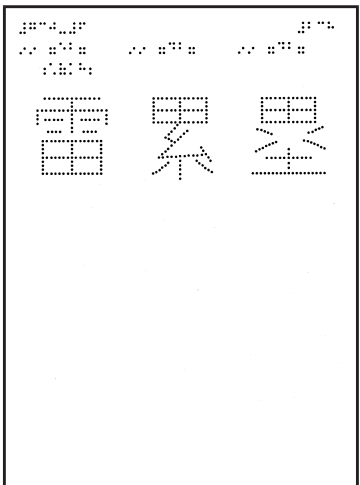
730-4



730-5

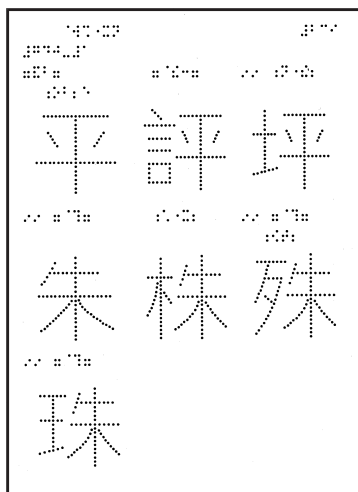


730-6

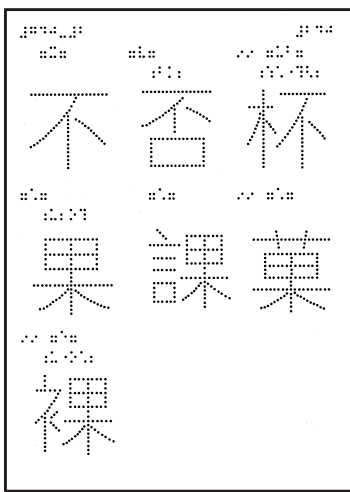


740 植物

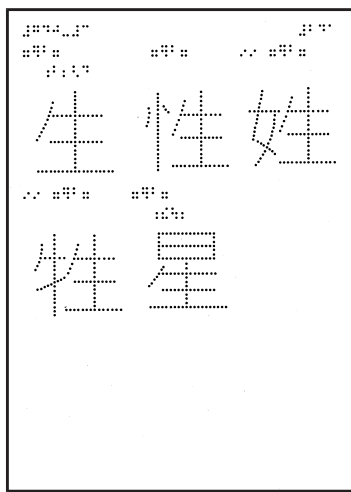
740-1



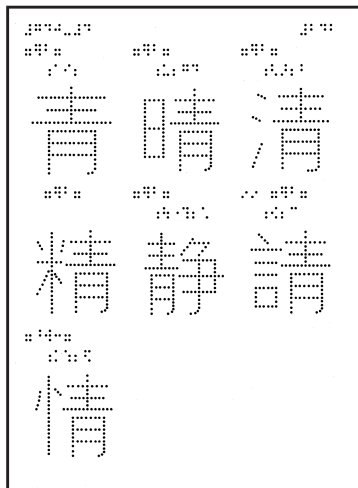
740-2



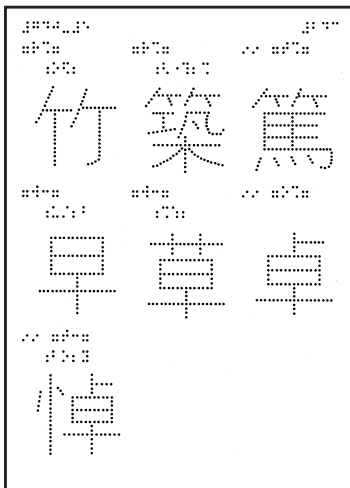
740-3



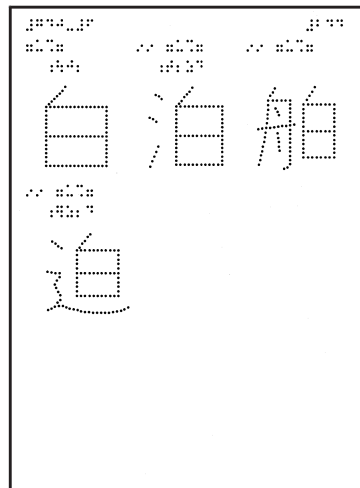
740-4



740-5

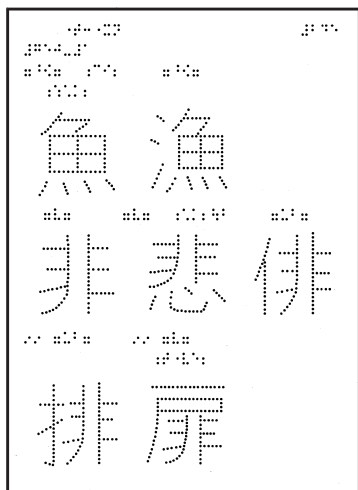


740-6

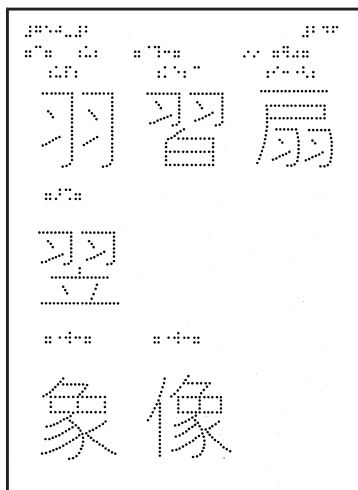


750 動物

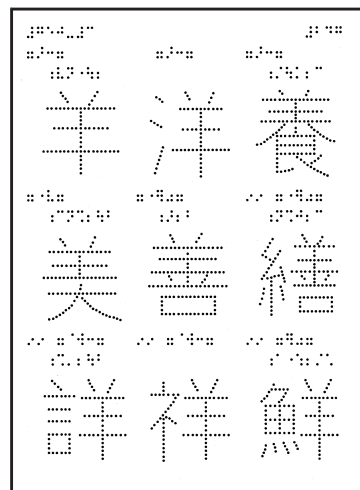
750-1



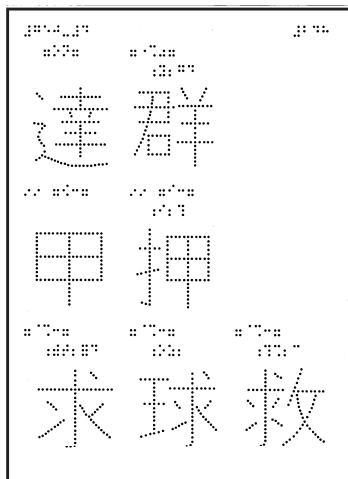
750-2



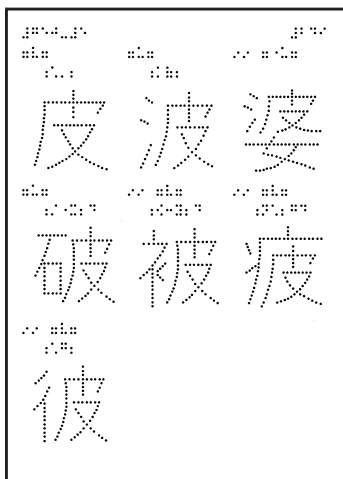
750-3



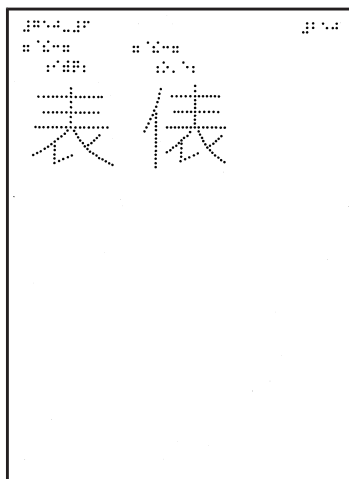
750-4



750-5

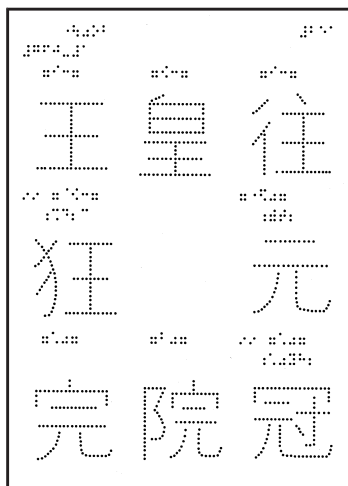


750-6

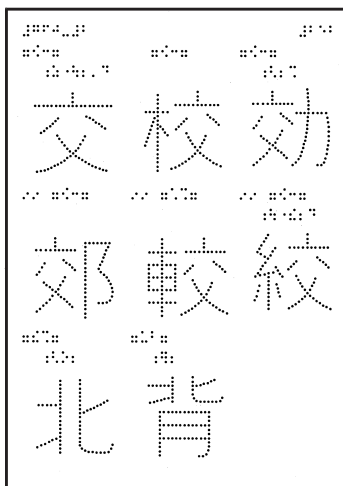


760 人体

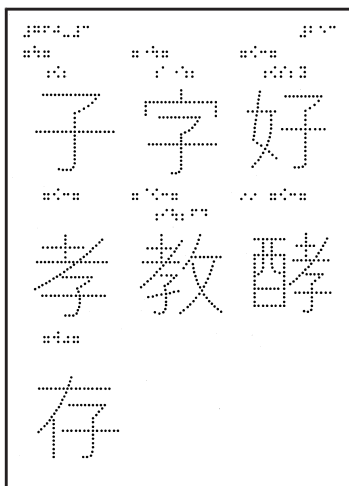
760-1



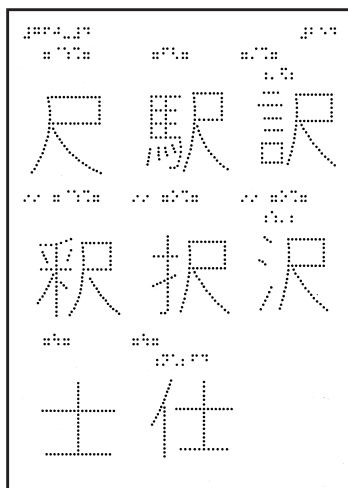
760-2



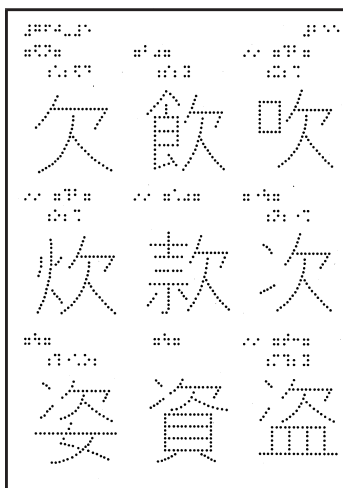
760-3



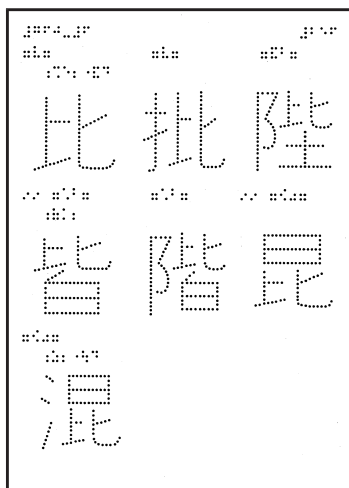
760-4



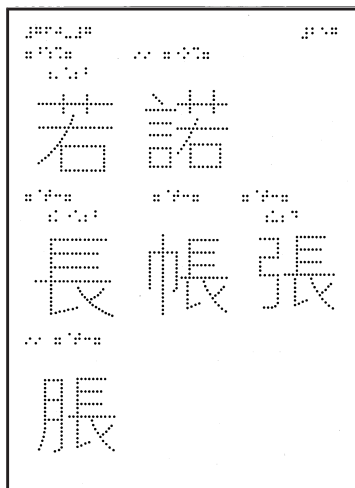
760-5



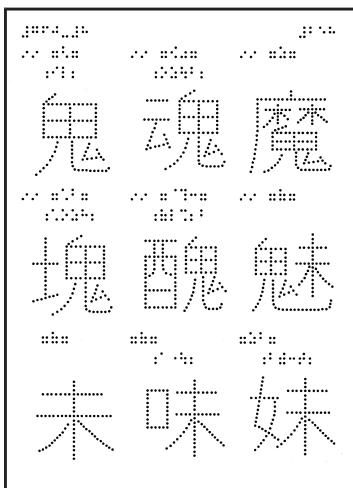
760-6



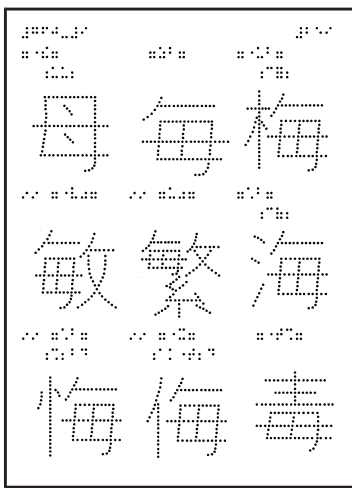
760-7



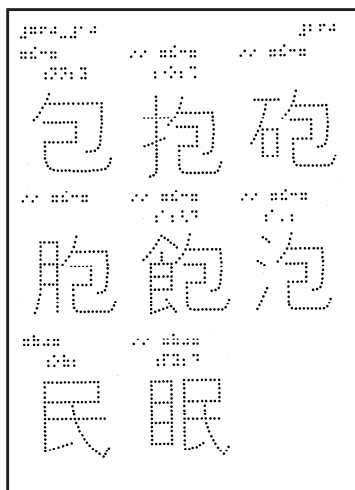
760-8



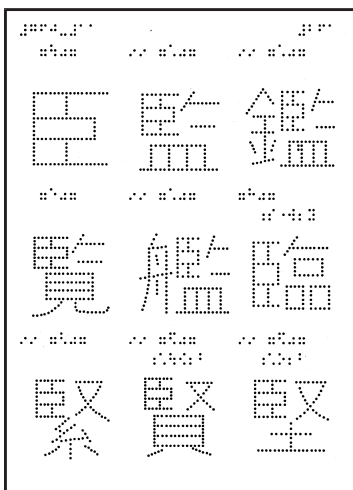
760-9



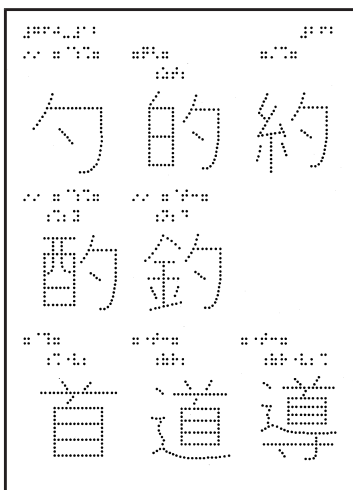
760-10



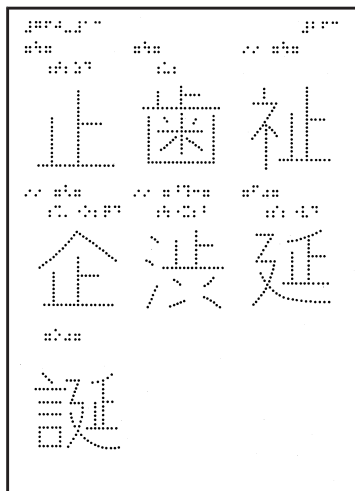
760-11



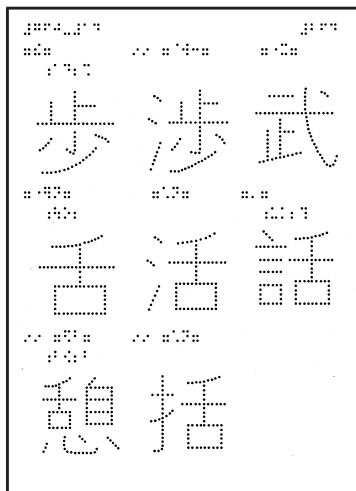
760-12



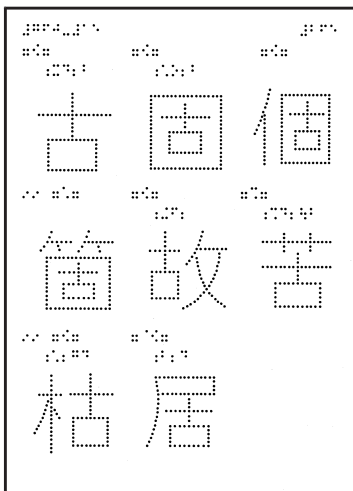
760-13



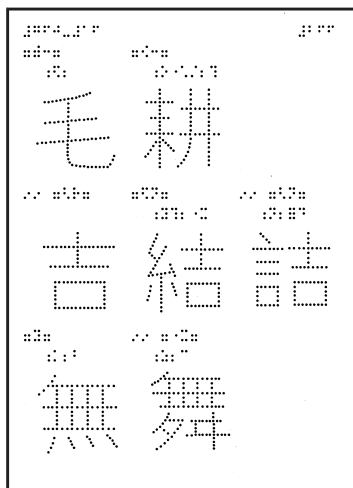
760-14



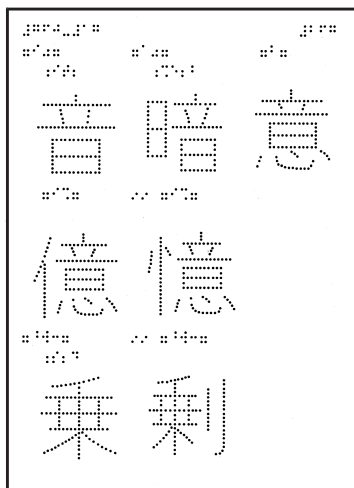
760-15



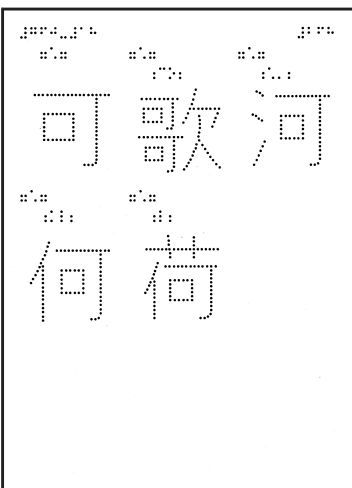
760-16



760-17

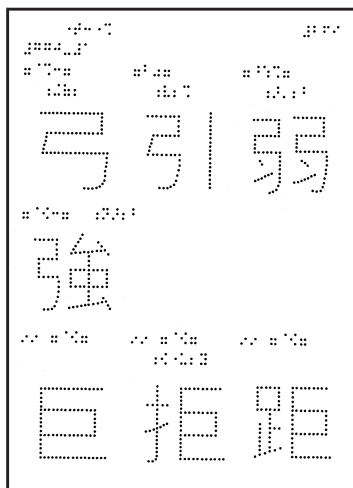


760-18

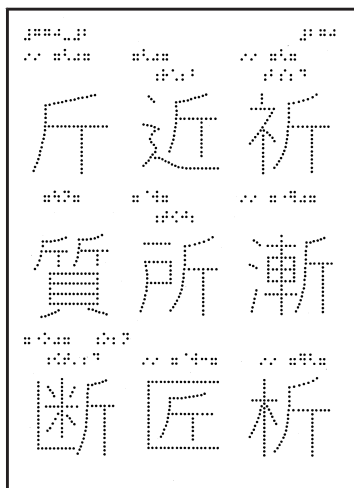


770 道具

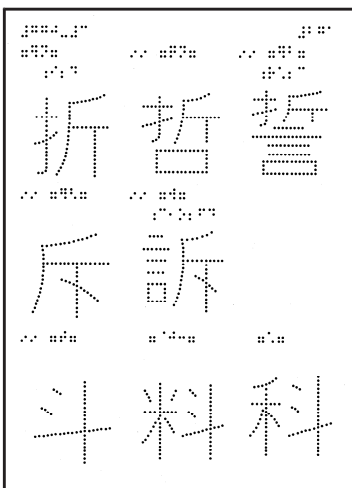
770-1



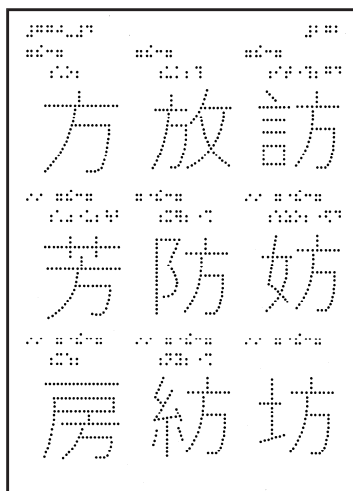
770-2



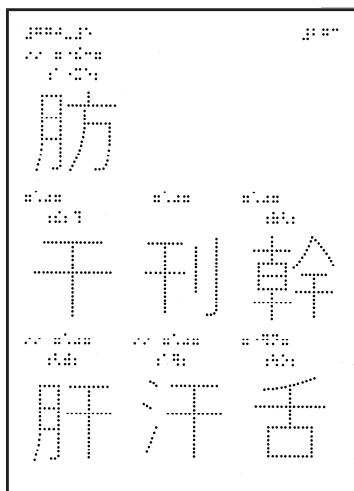
770-3



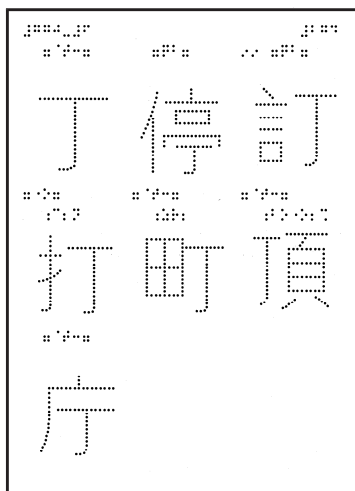
770-4



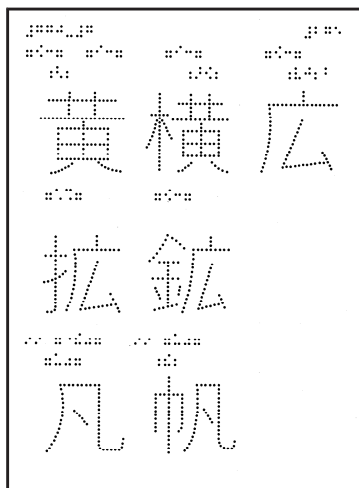
770-5



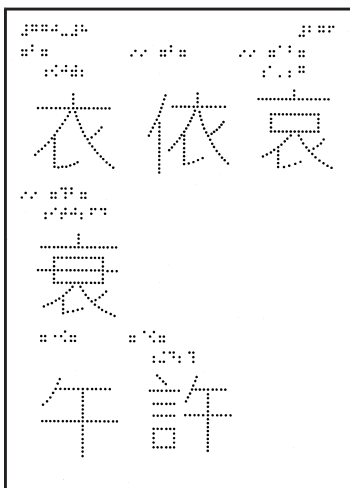
770-6



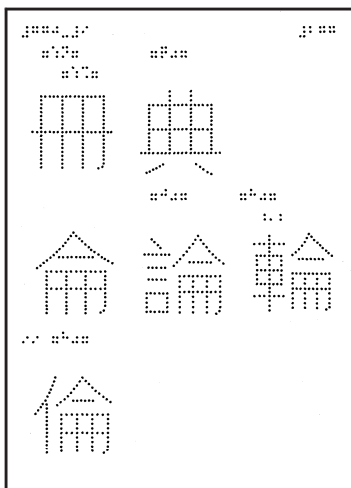
770-7



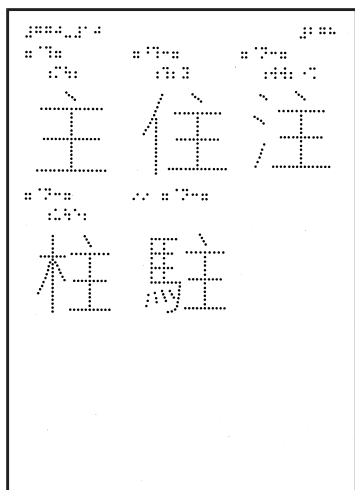
770-8



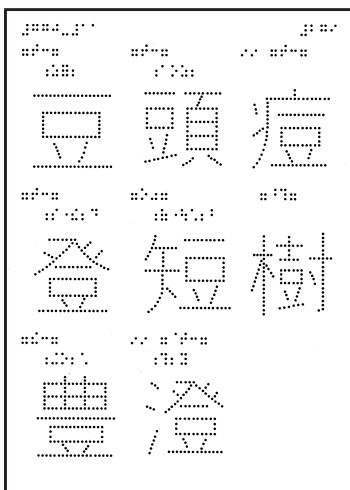
770-9



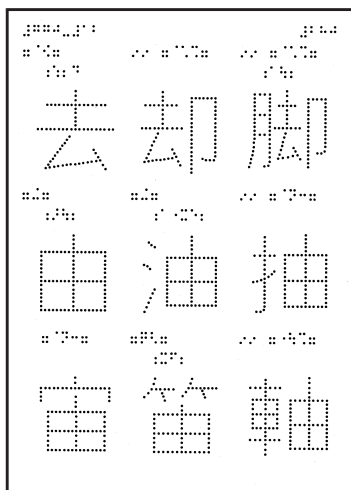
770-10



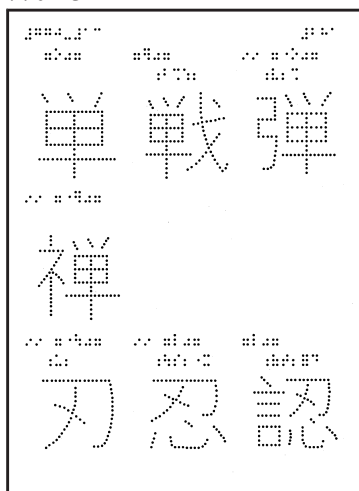
770-11



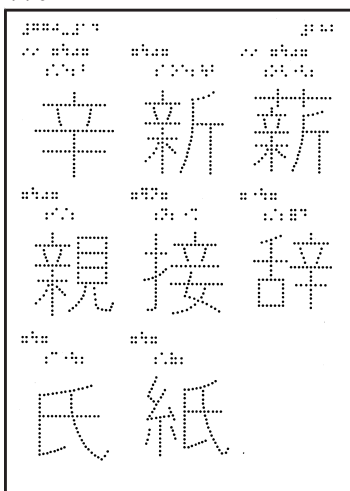
770-12



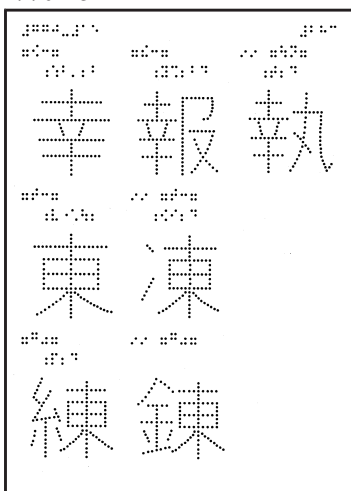
770-13



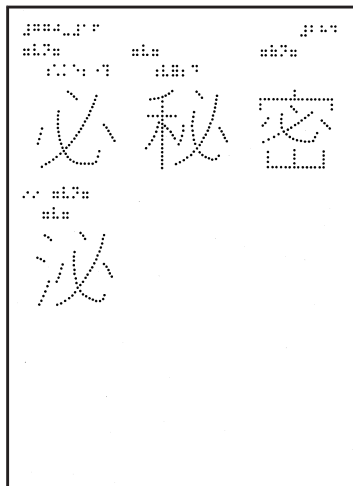
770-14



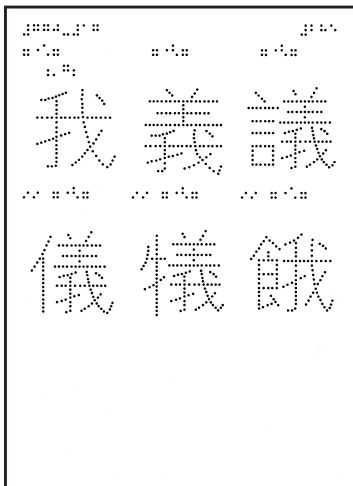
770-15



770-16

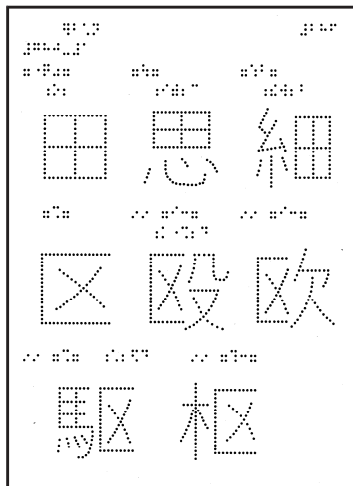


770-17

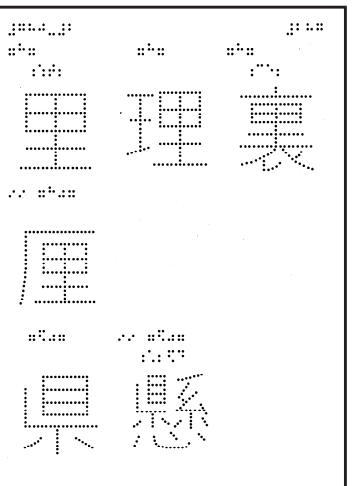


780 生活

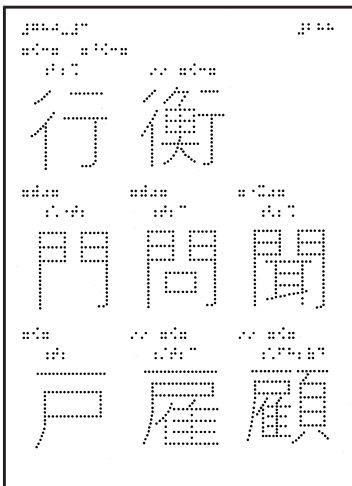
780-1



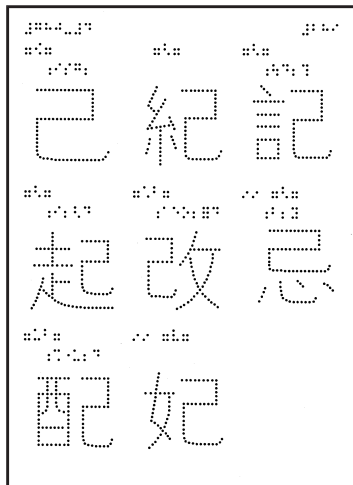
780-2



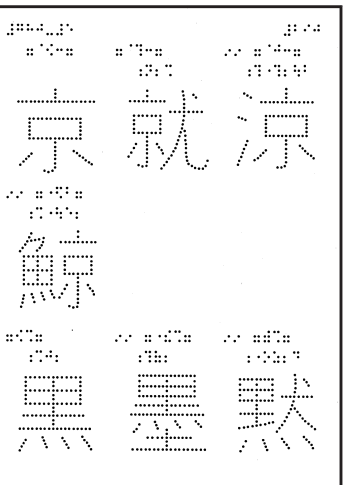
780-3



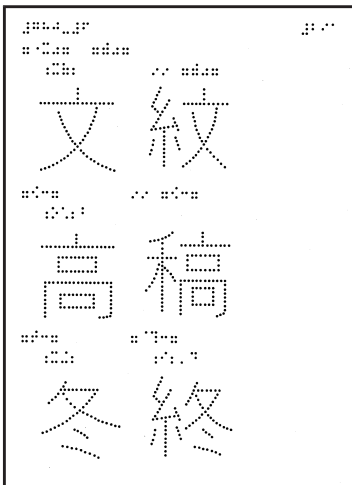
780-4



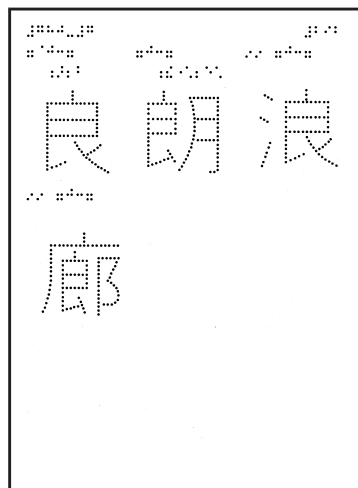
780-5



780-6

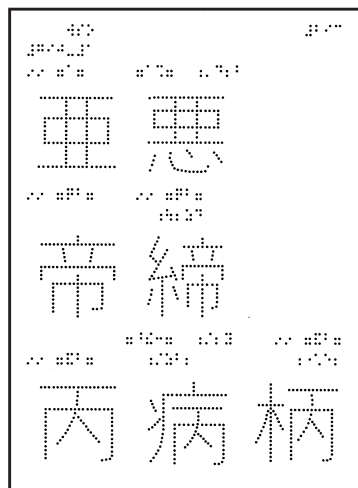


780-7

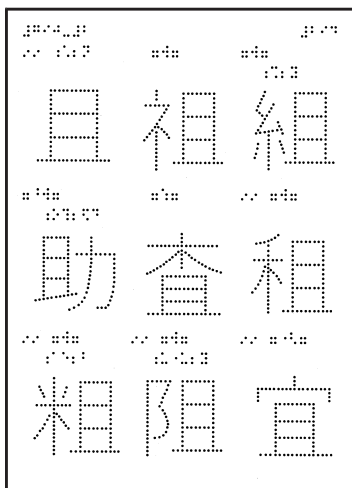


790 その他

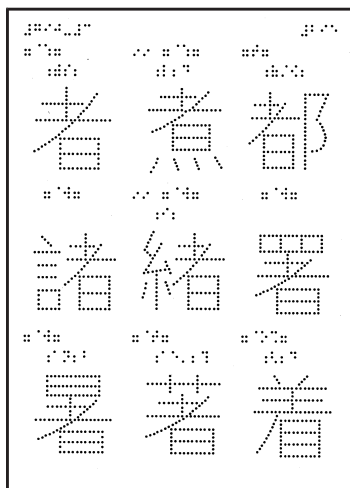
790-1



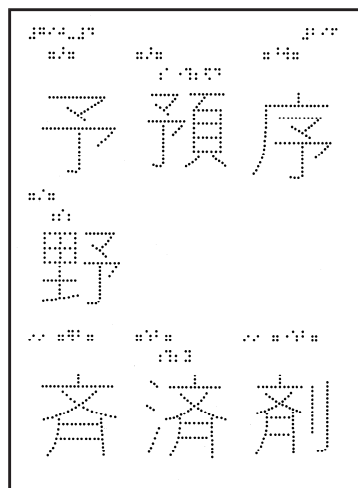
790-2



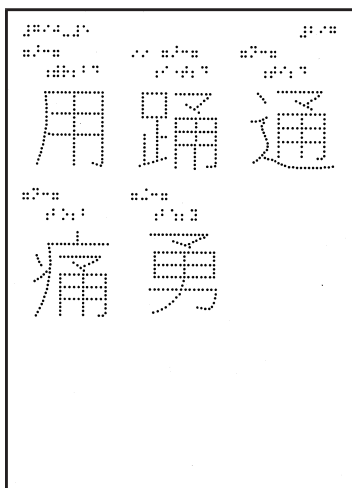
790-3



790-4



790-5



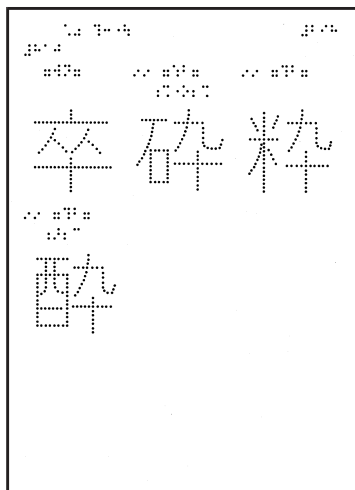
第8段階 単語家族で分類した漢字2

<指導のねらい>

(1) 単語家族1で取り上げた以外の常用漢字表内の漢字が単語家族の基本部分となるものを取り上げる。

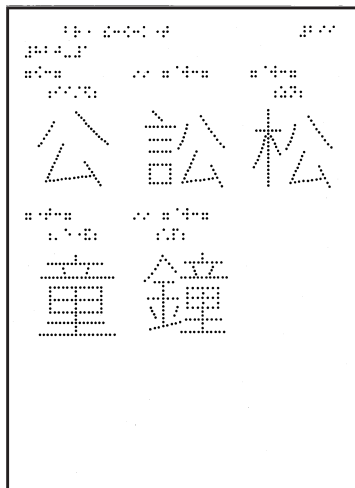
810 漢数字

810

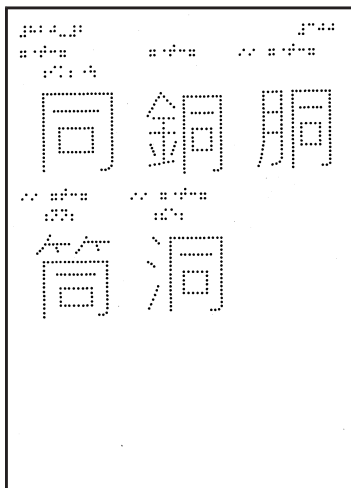


820 位置・方向など

820-1

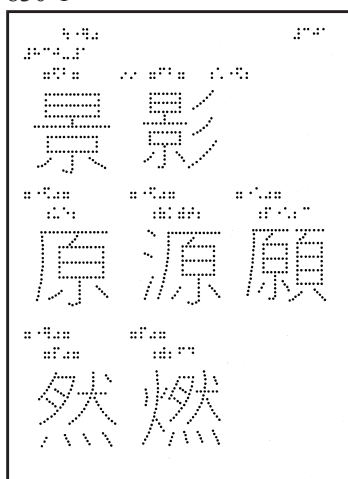


820-2

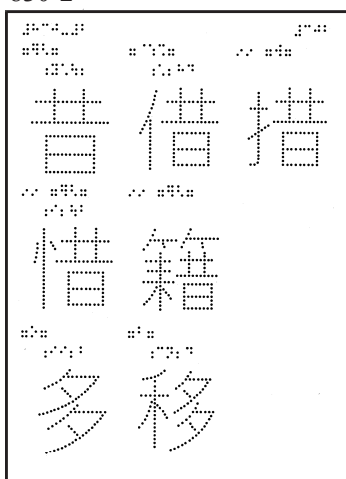


830 自然

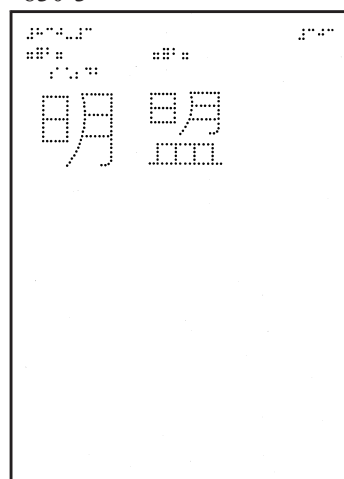
830-1



830-2

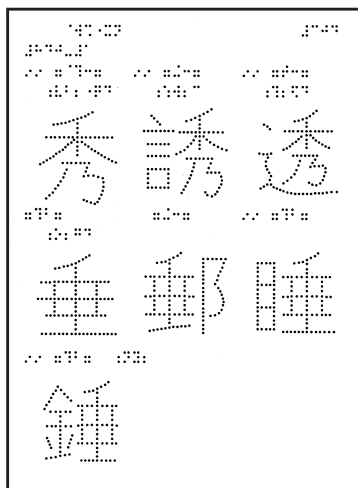


830-3

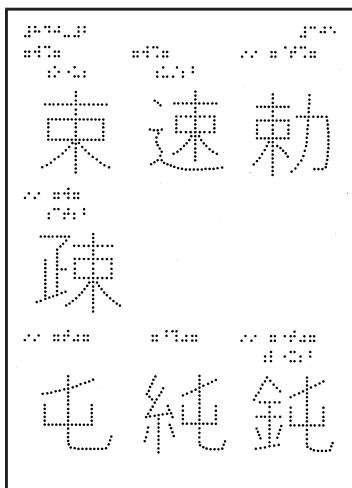


840 植物

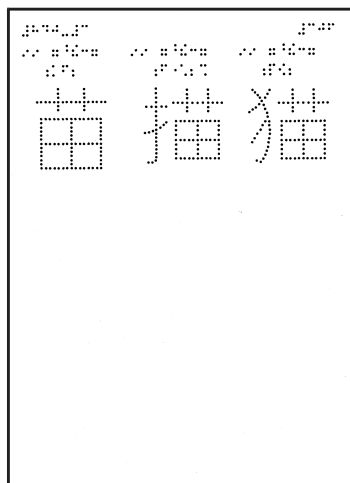
840-1



840-2

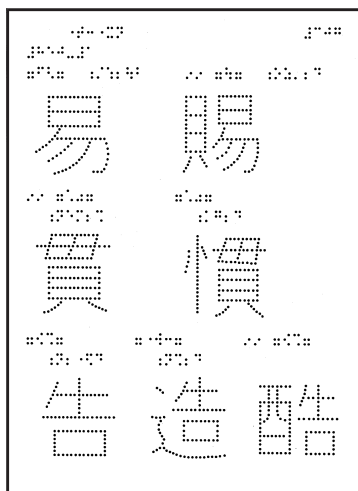


840-3

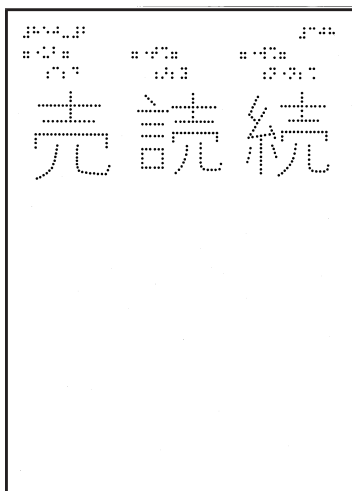


850 動物

850-1

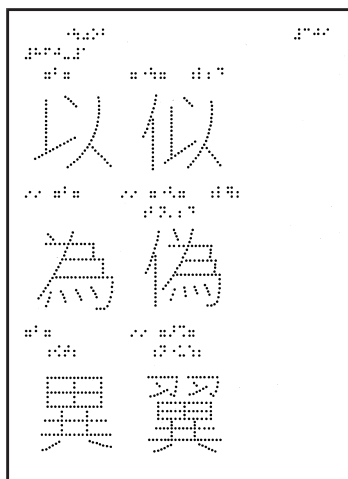


850-2

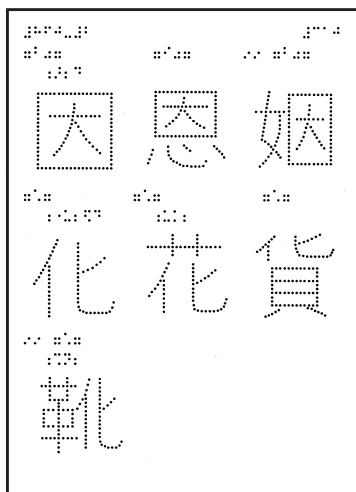


860 人体

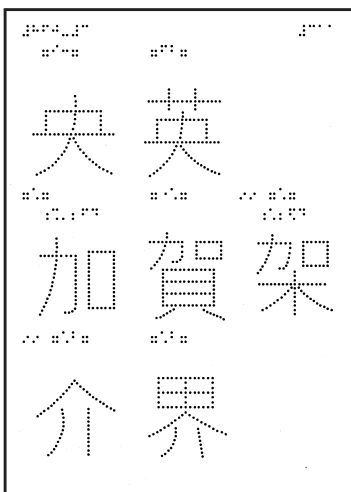
860-1



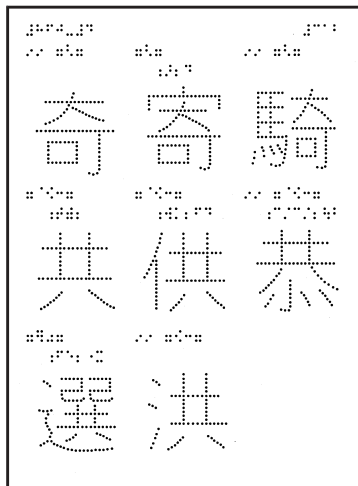
860-2



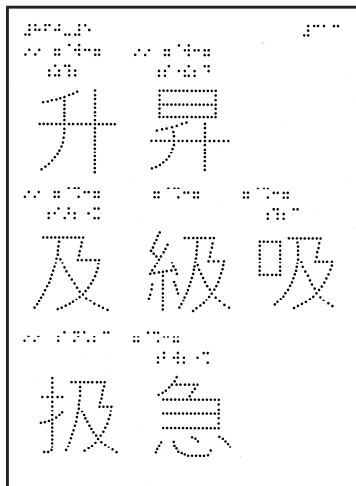
860-3



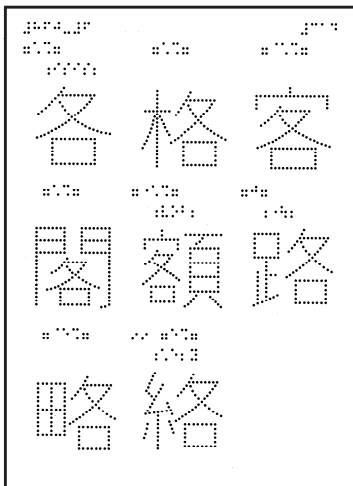
860-4



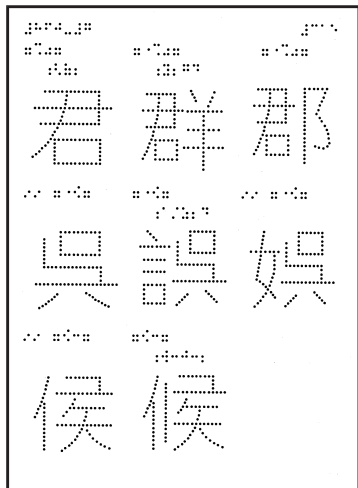
860-5



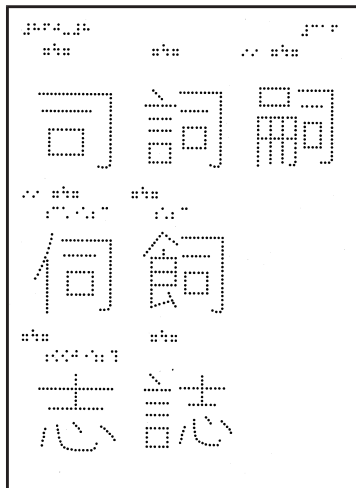
860-6



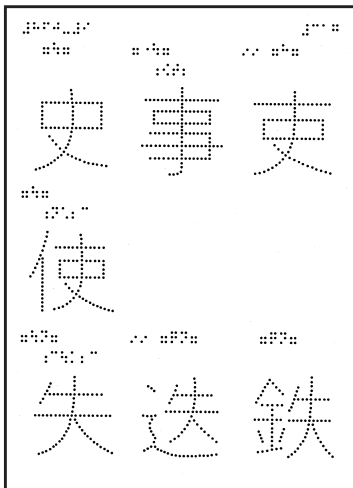
860-7



860-8



860-9



860-10

支 技 岐
枝
充 統 銃

860-11

寺 時 待
等 侍 詩
持 特

860-12

從 縱
重 種 動
働 衝

860-13

叔 淑 寂
出 屈 掘
堀 拙

860-14

暴 爆
真 慎 鎮
免 勉 晚

860-15

召 招 昭
照 超 詔
紹 沼

860-16

甚 堪 勘
是 提 題
堤

860-17

寸 得 射
謝 守 狩
尋 尊 遵

860-18

正 政 整
征
走 徒

860-19

先 洗 銑
贊
代 貸 袋

860-20

相 想 箱
霜
知 痴

860-21

直 植 殖
值 置 德
聽

860-22

朕 勝 騰
騰
奴 努 怒

860-23

度 渡
能 態
癸 廢

860-24

反 坂 阪
板 飯 版
販 返

860-25

般 搬 盤
卑 碑
冒 帽

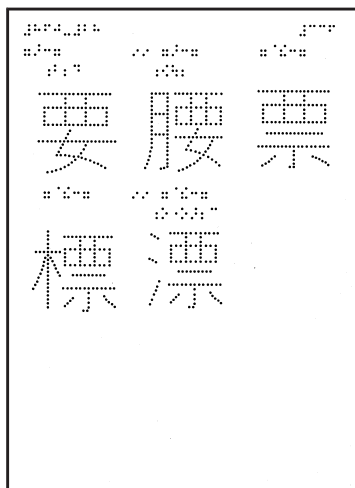
860-26

付 符 附
府 腐
某 媒 謀

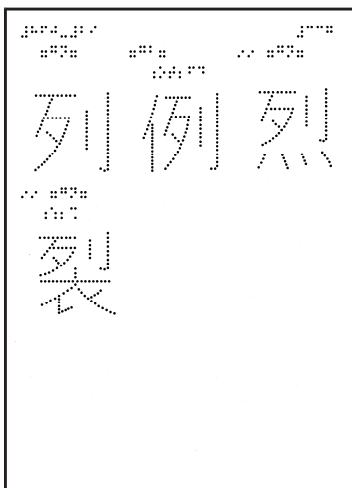
860-27

亡 忘 望
忙 盲 荒
慌 妄

860-28

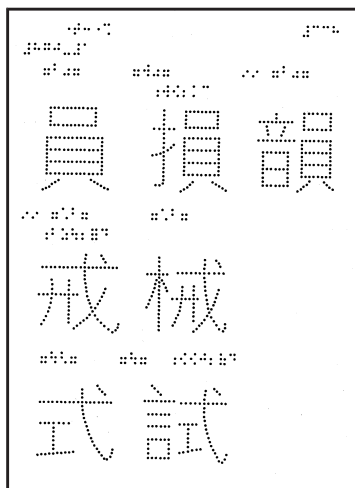


860-29

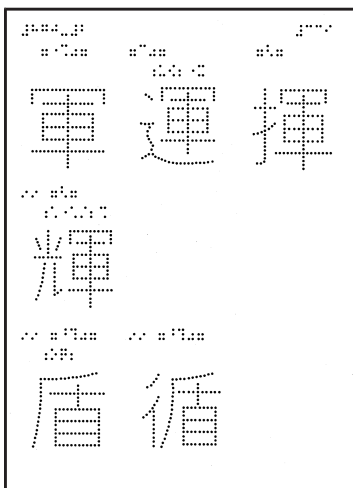


870 道具

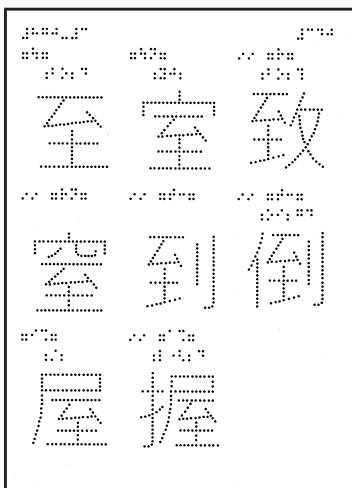
870-1



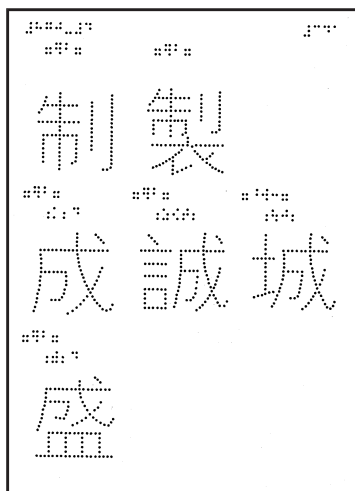
870-2



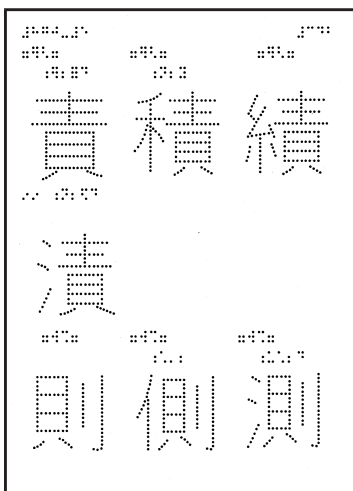
870-3



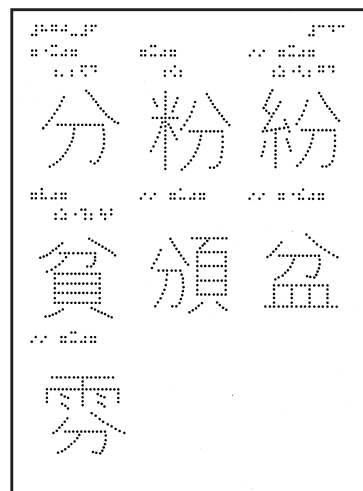
870-4



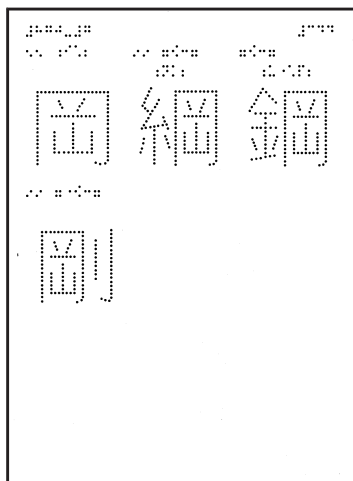
870-5



870-6

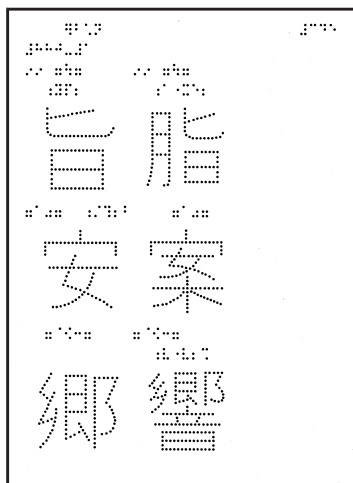


870-7

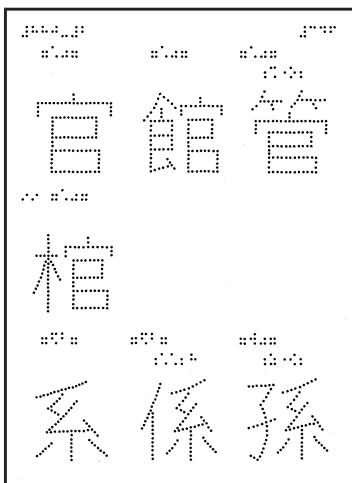


880 生活

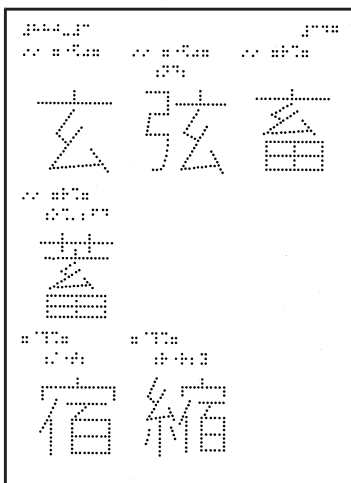
880-1



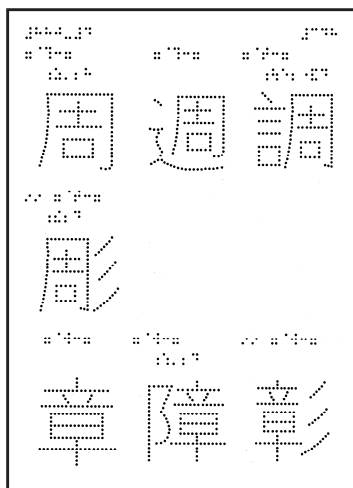
880-2



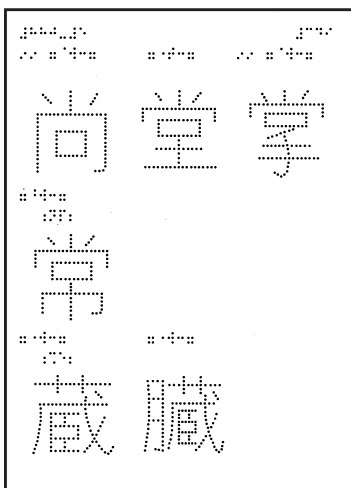
880-3



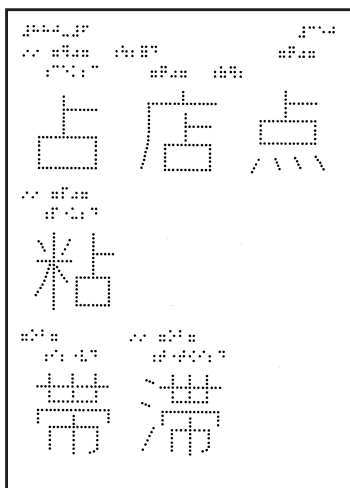
880-4



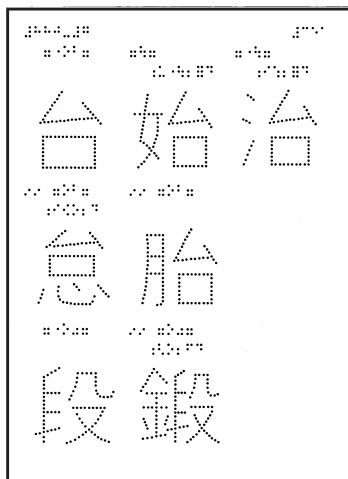
880-5



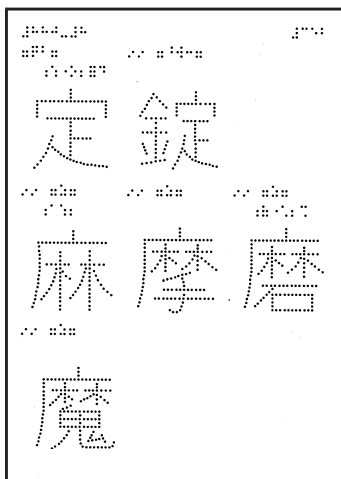
880-6



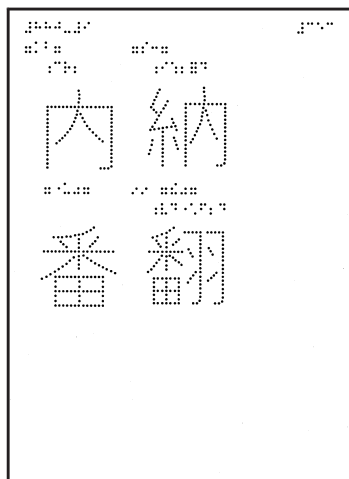
880-7



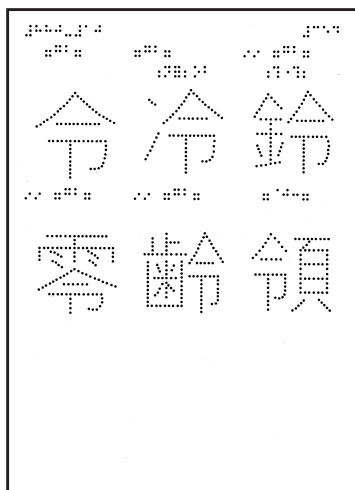
880-8



880-9

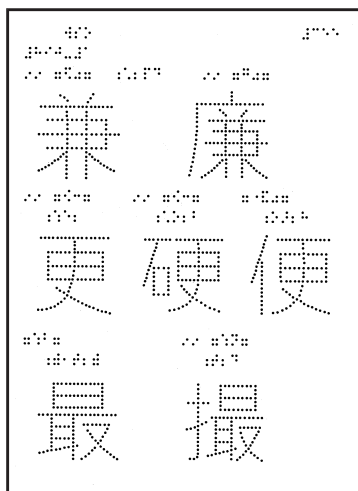


880-10

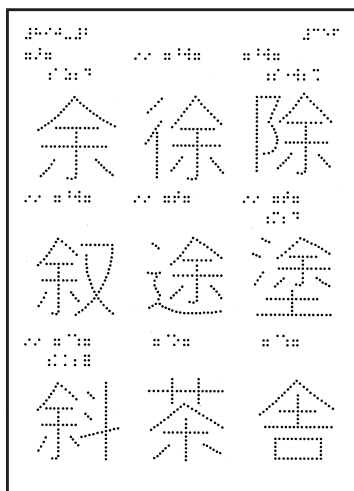


890 その他

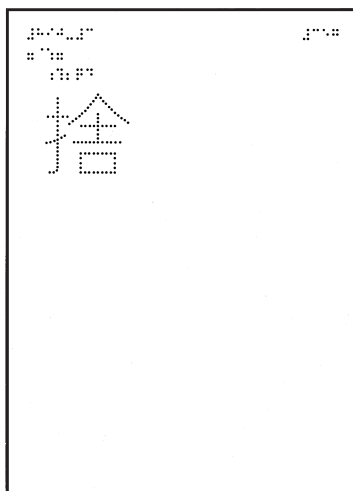
890-1



890-2



890-3



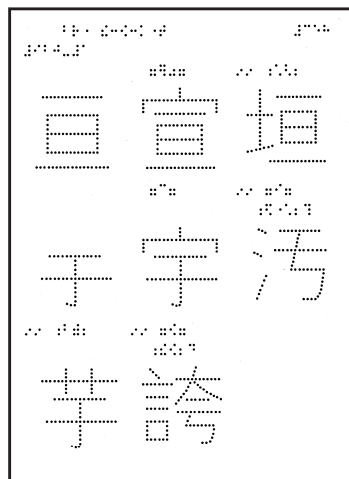
第9段階 単語家族で分類した漢字3

<指導のねらい>

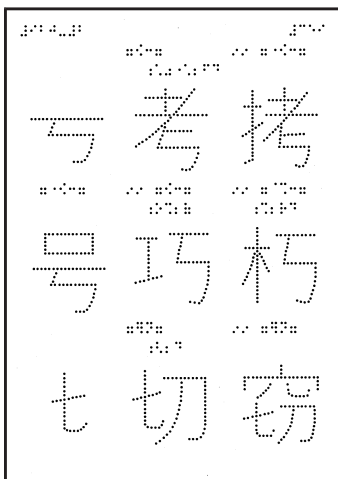
(1) 常用漢字表外の漢字、または、構成要素が単語家族の基本部分となるものを取り上げる。

920 位置・方向など

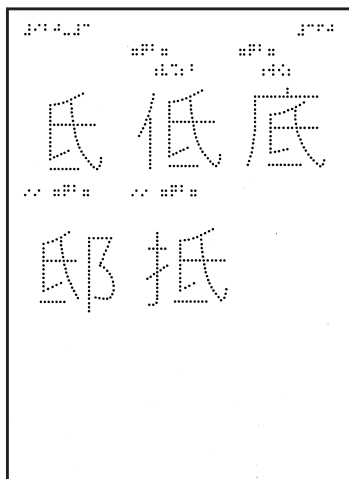
920-1



920-2

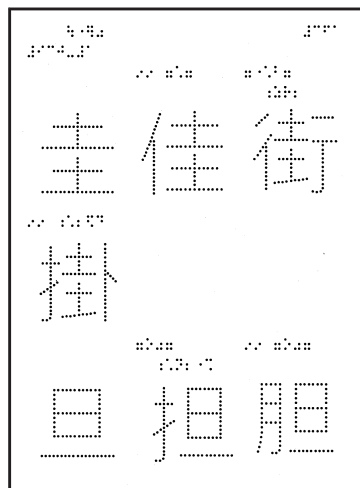


920-3

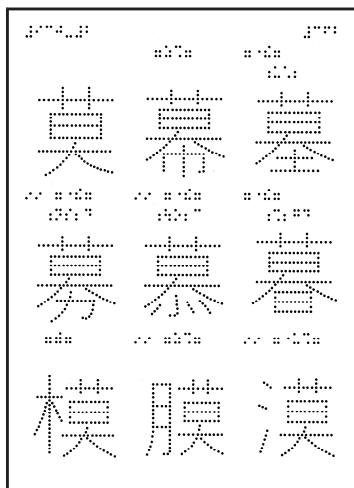


930 自然

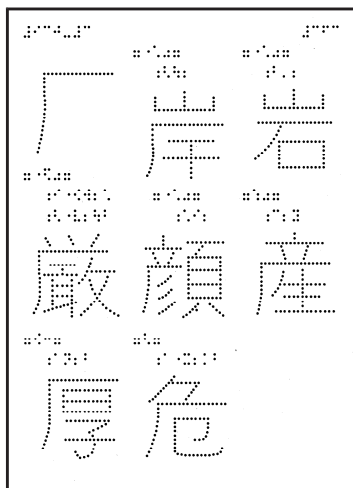
930-1



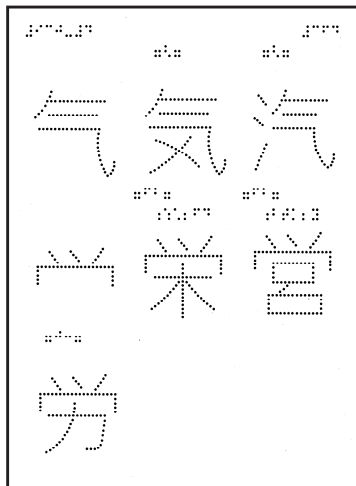
930-2



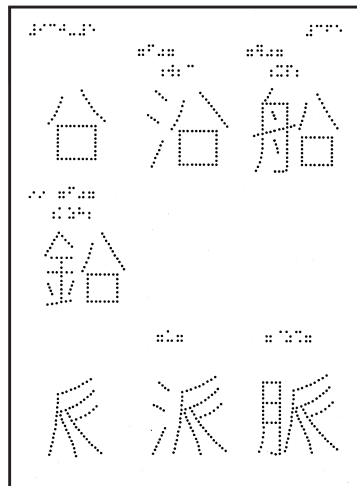
930-3



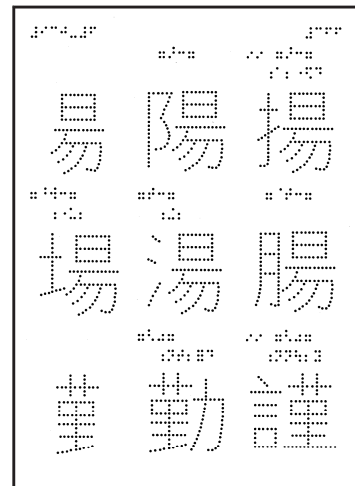
930-4



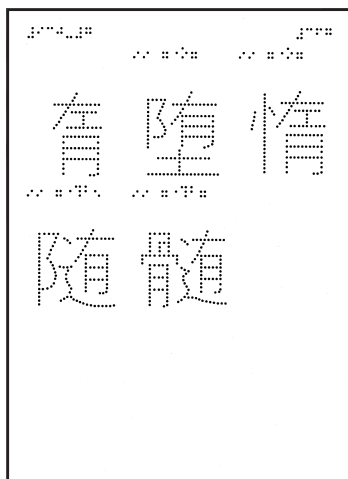
930-5



930-6

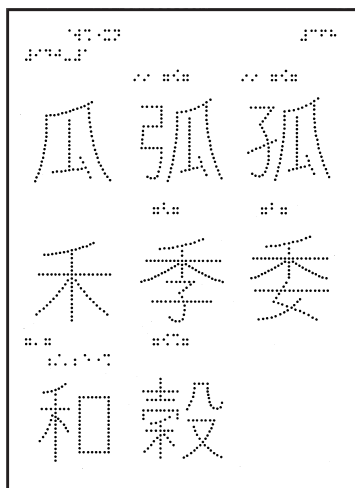


930-7

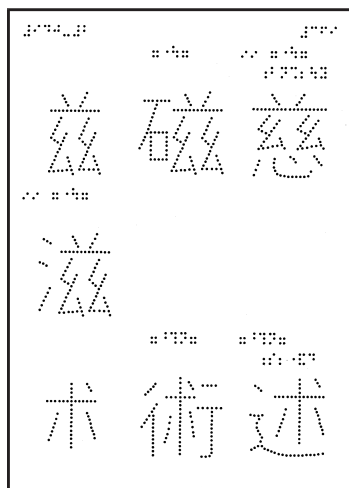


940 植物

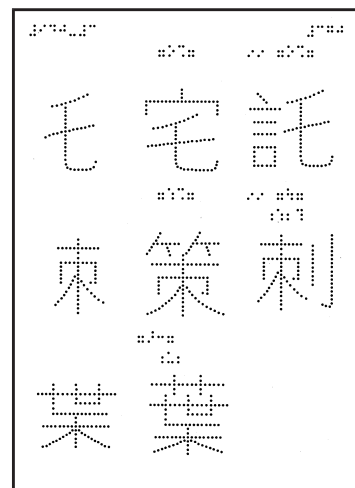
940-1



940-2

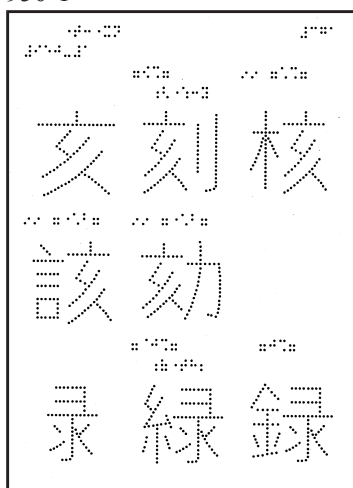


940-3

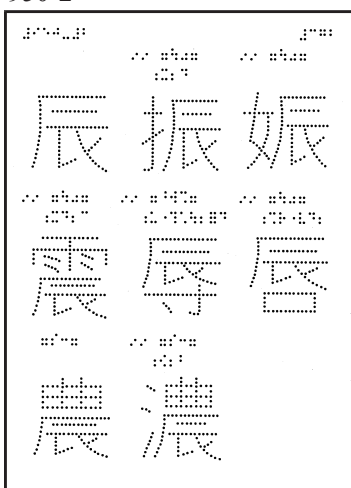


950 動物

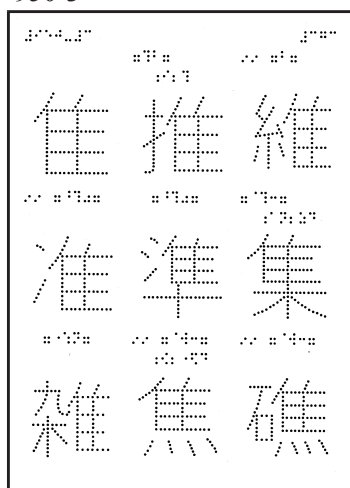
950-1



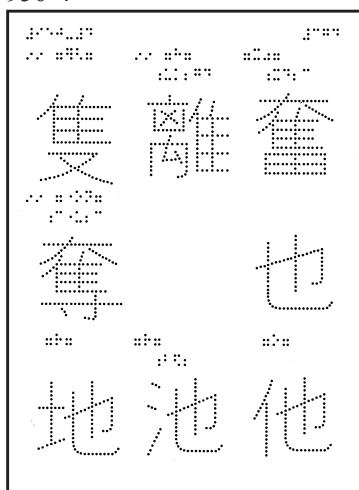
950-2



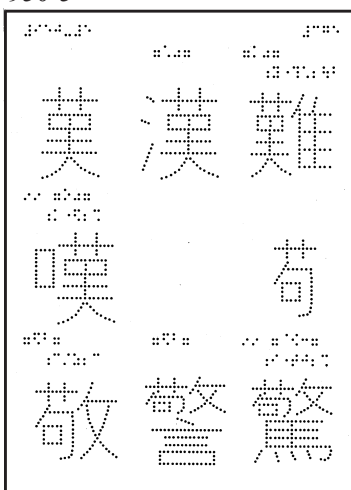
950-3



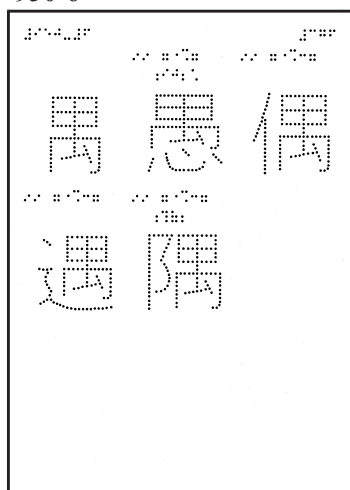
950-4



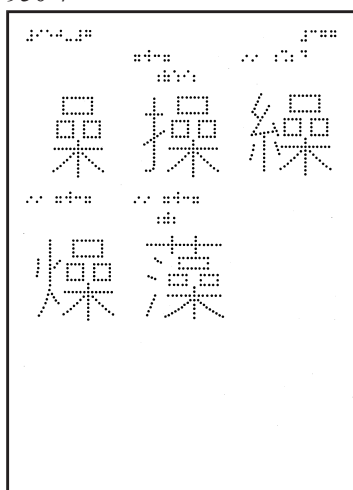
950-5



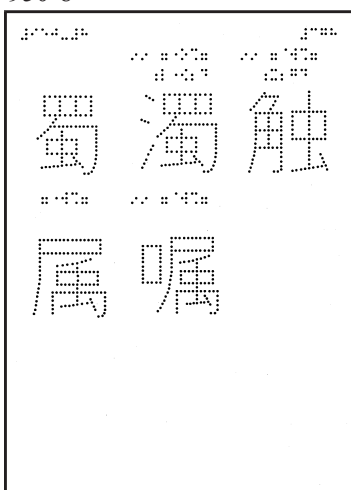
950-6



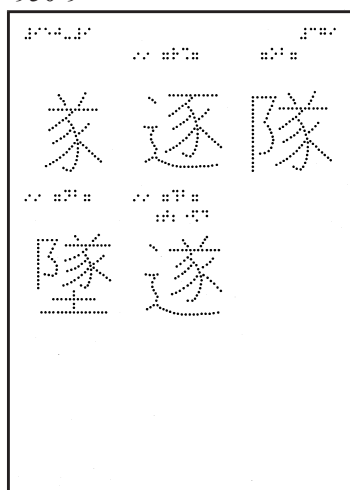
950-7



950-8

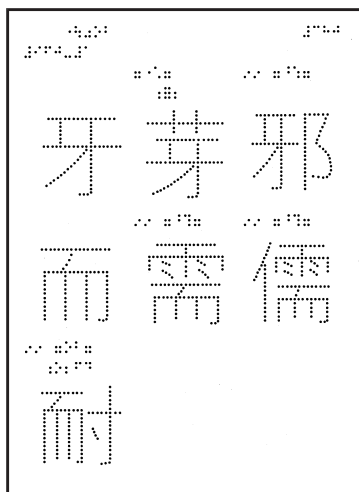


950-9

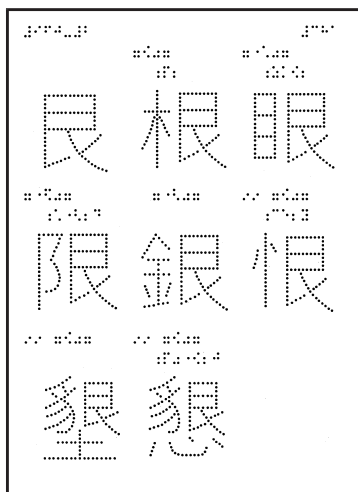


960 人体

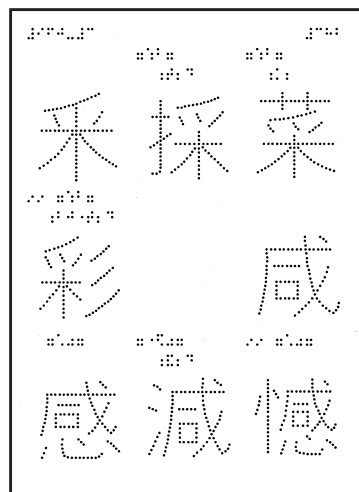
960-1



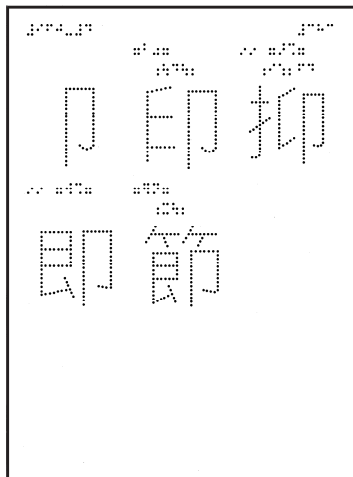
960-2



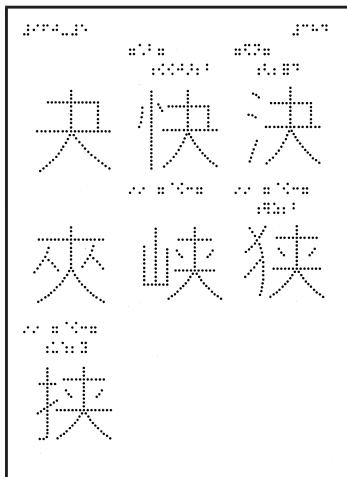
960-3



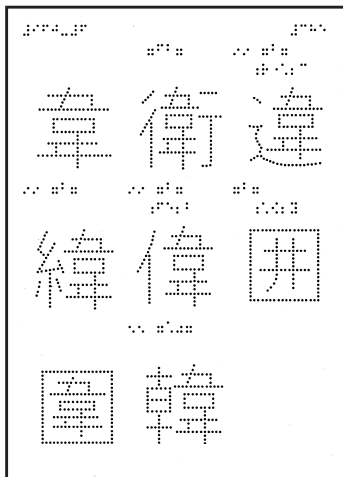
960-4



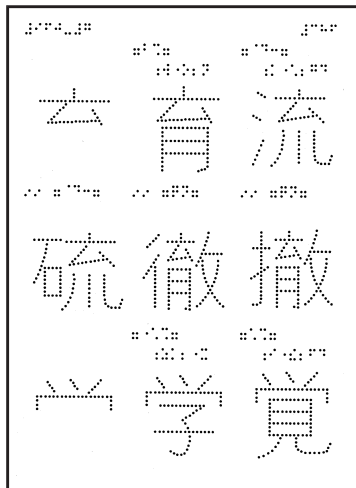
960-5



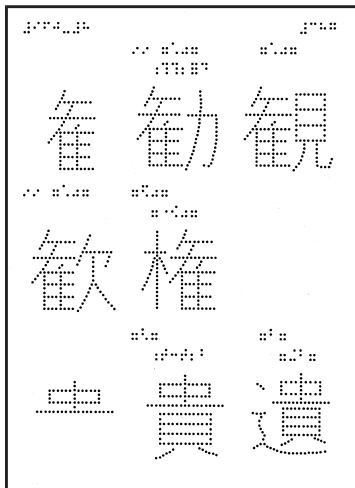
960-6



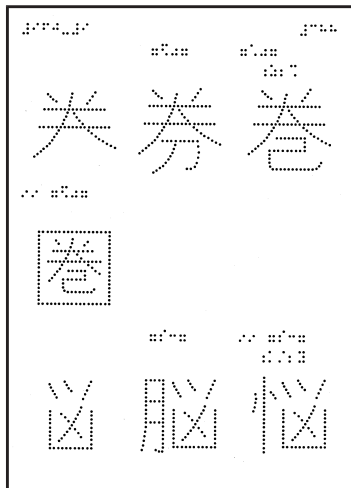
960-7



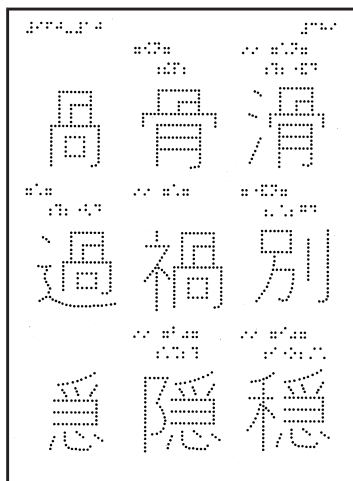
960-8



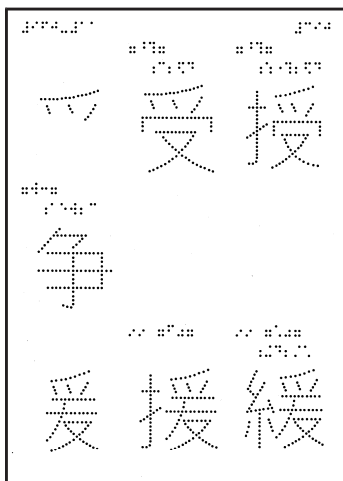
960-9



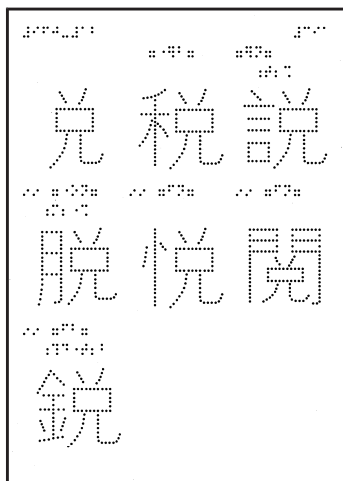
960-10



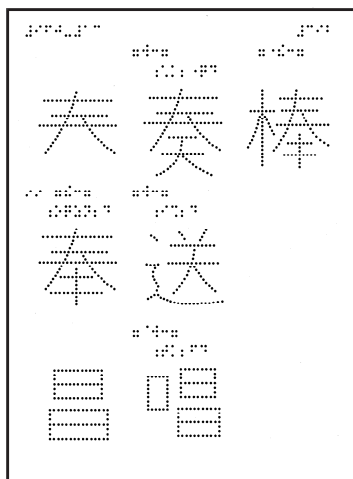
960-11



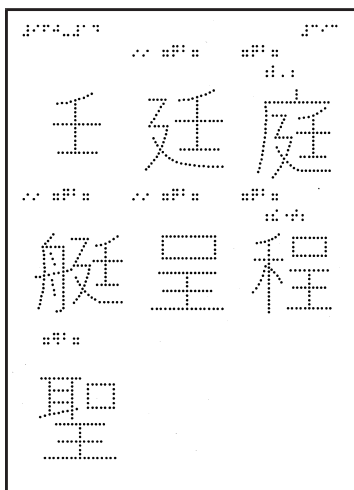
960-12



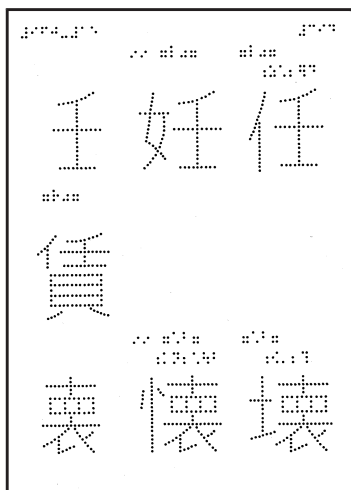
960-13



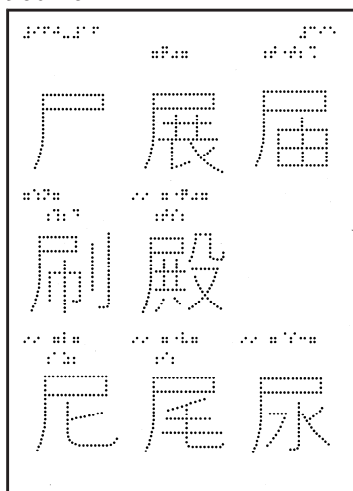
960-14



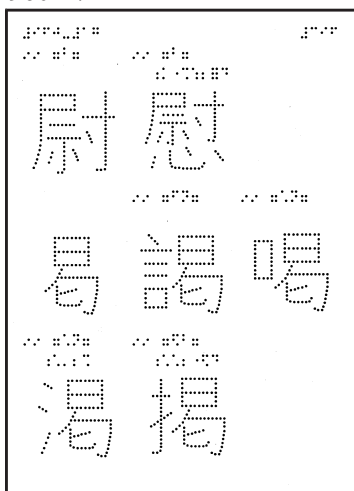
960-15



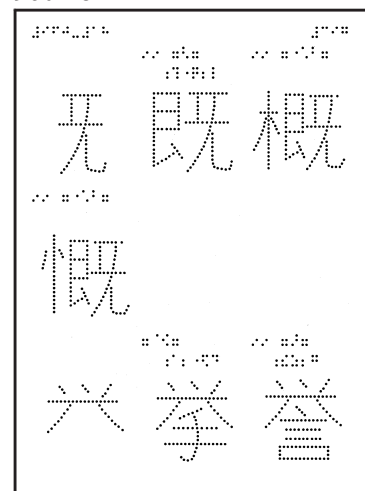
960-16



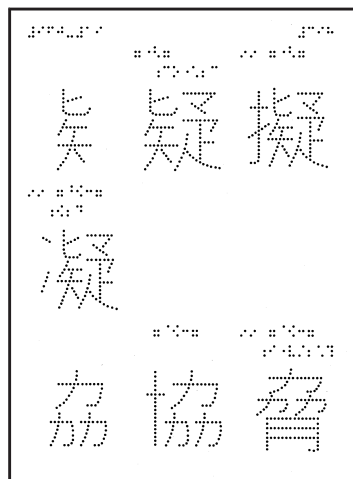
960-17



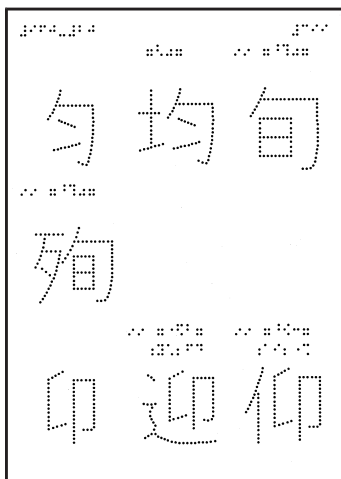
960-18



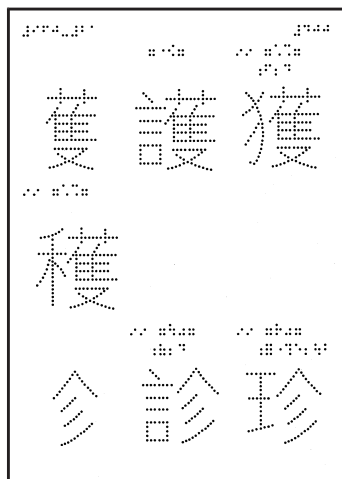
960-19



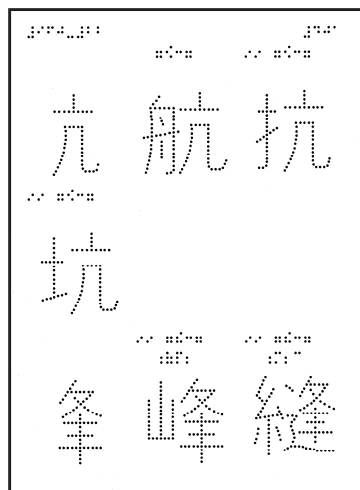
960-20



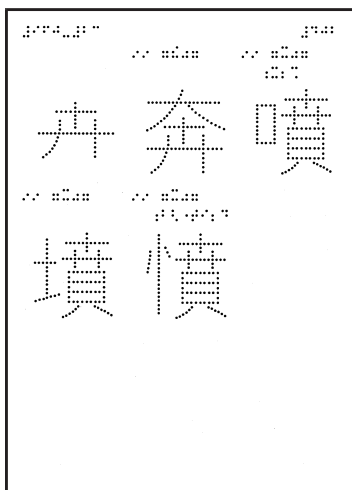
960-21



960-22

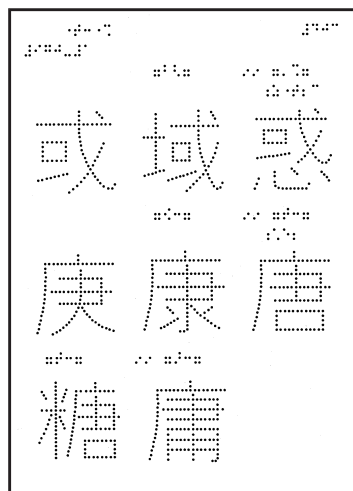


960-23

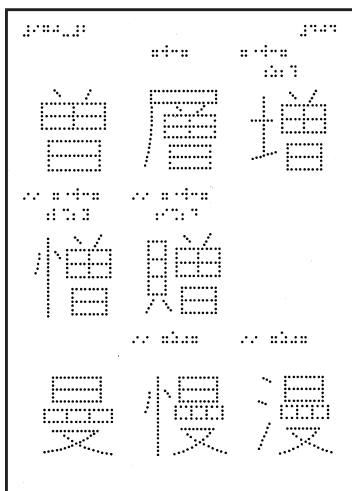


970 道具

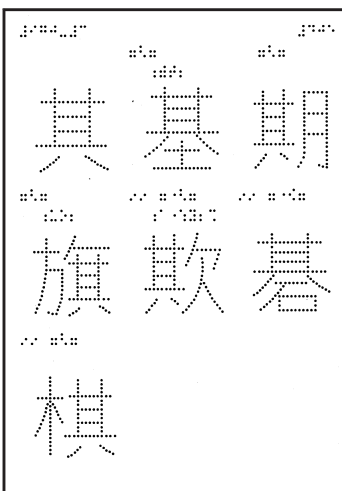
970-1



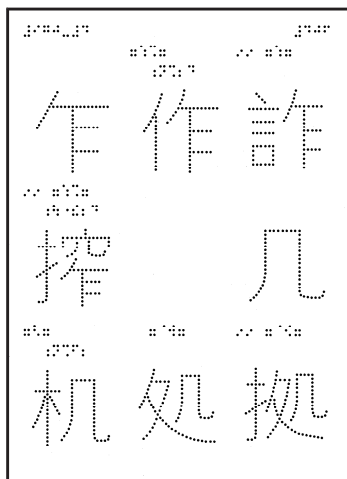
970-2



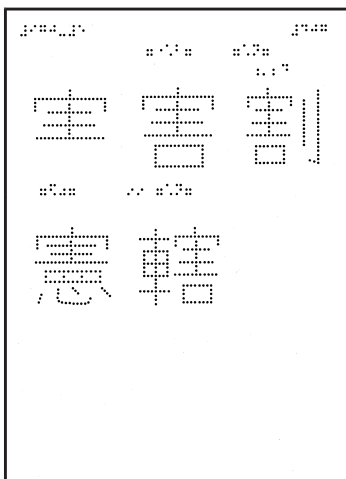
970-3



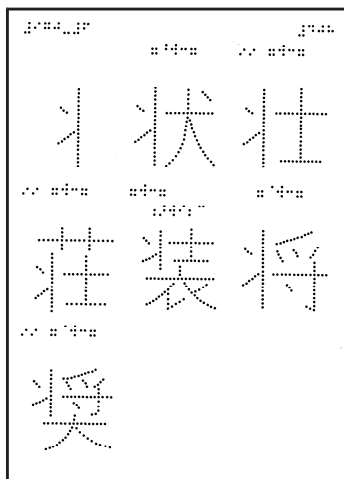
970-4



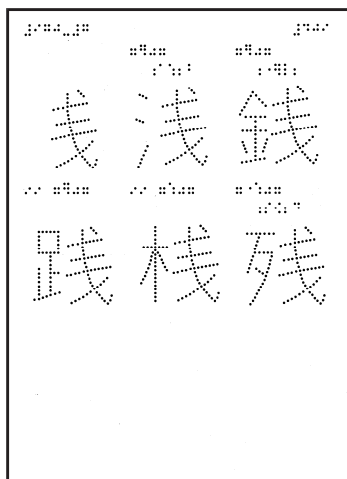
970-5



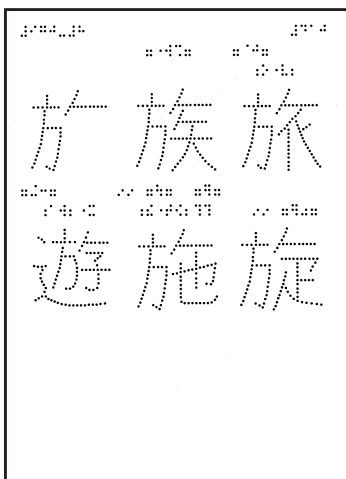
970-6



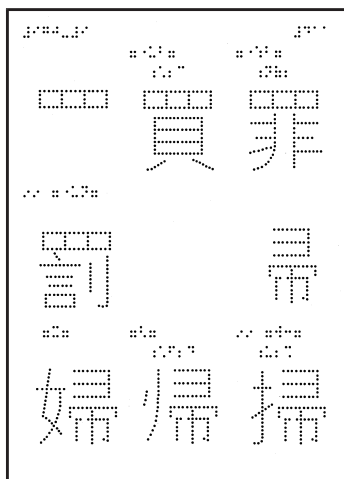
970-7



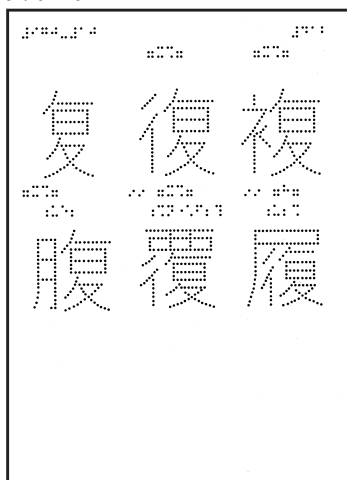
970-8



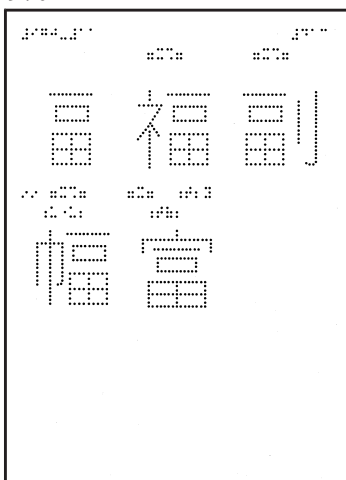
970-9



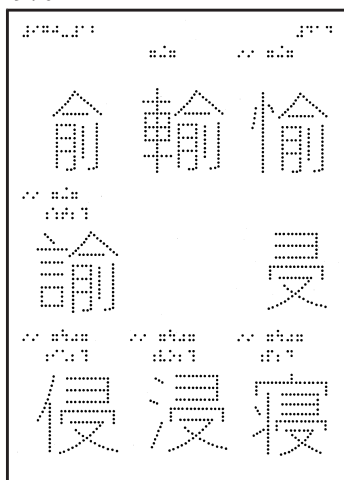
970-10



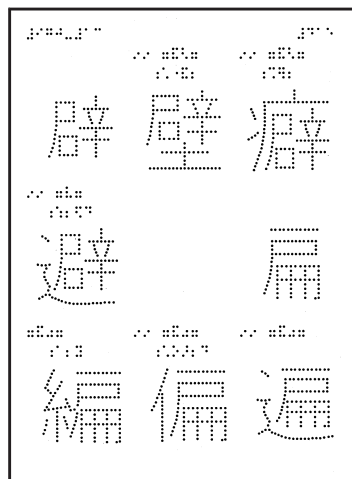
970-11



970-12

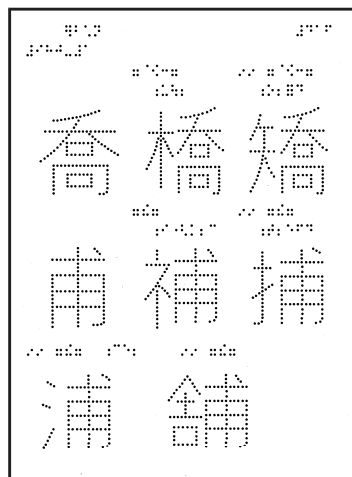


970-13

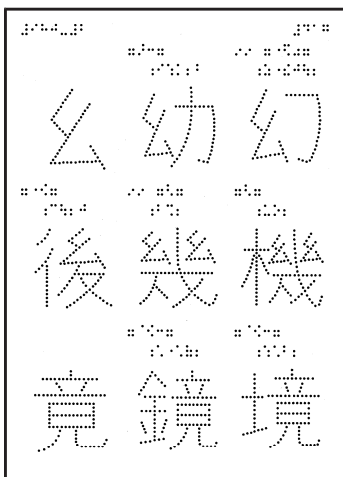


980 生活

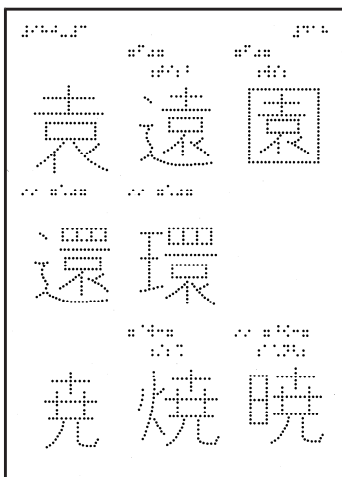
980-1



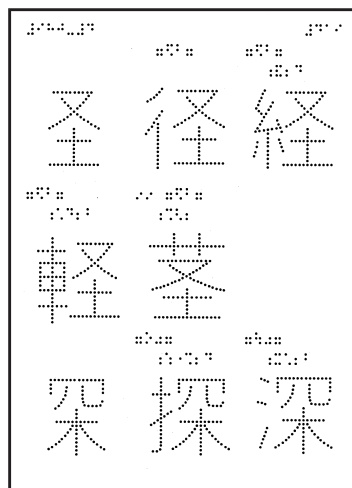
980-2



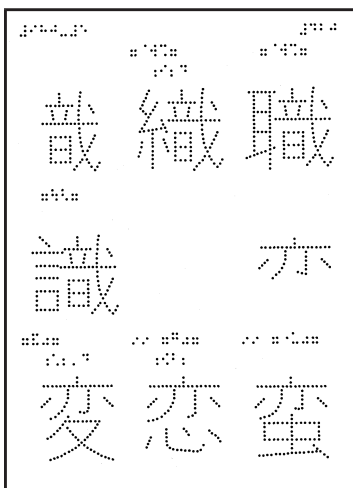
980-3



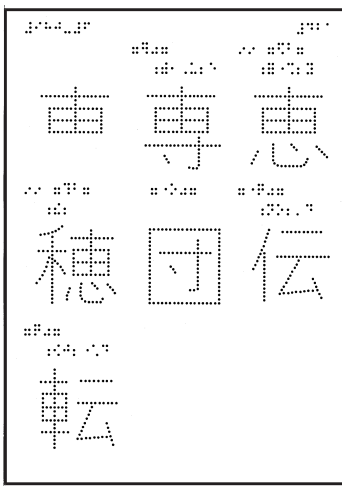
980-4



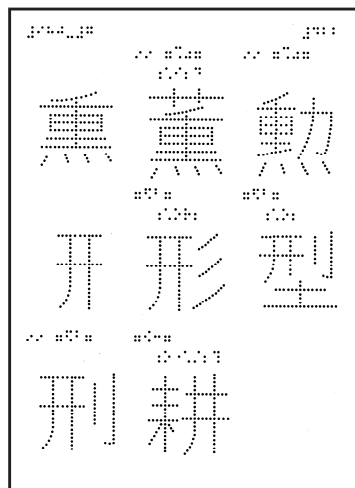
980-5



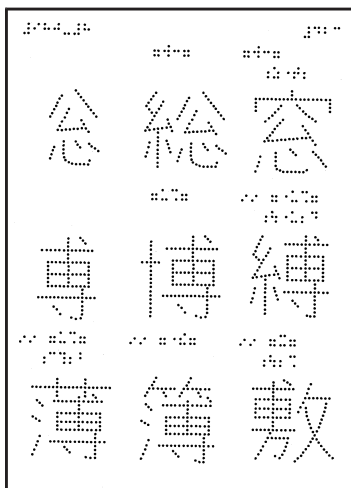
980-6



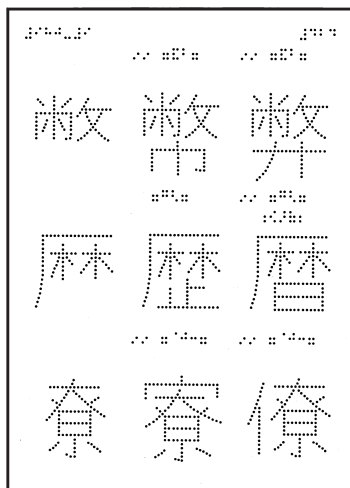
980-7



980-8

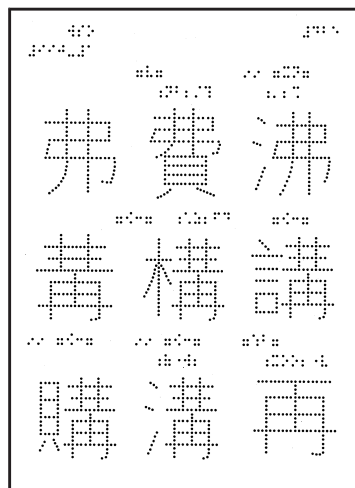


980-9

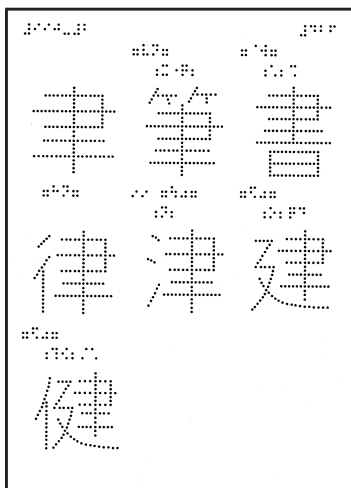


990 その他

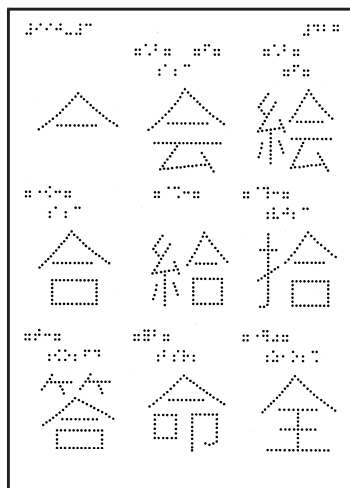
990-1



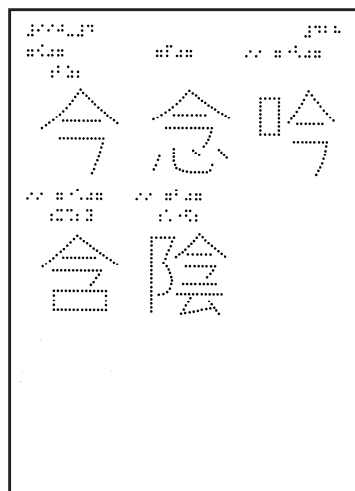
990-2



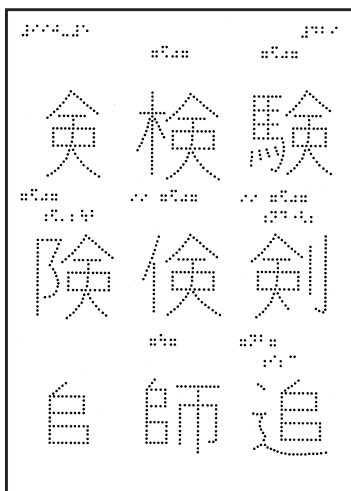
990-3



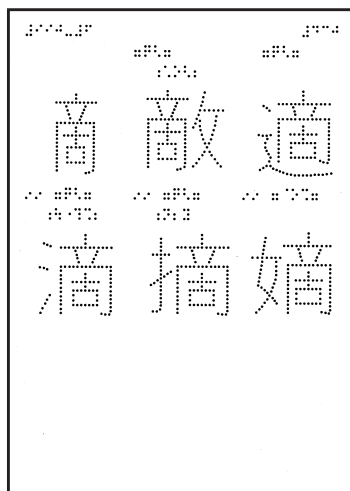
990-4



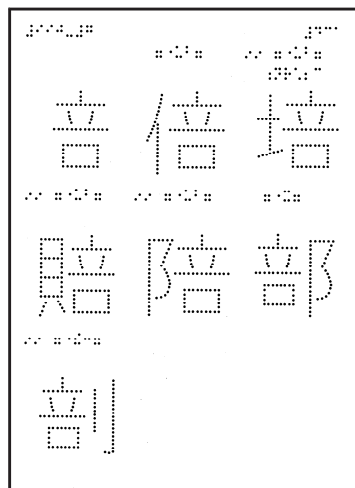
990-5



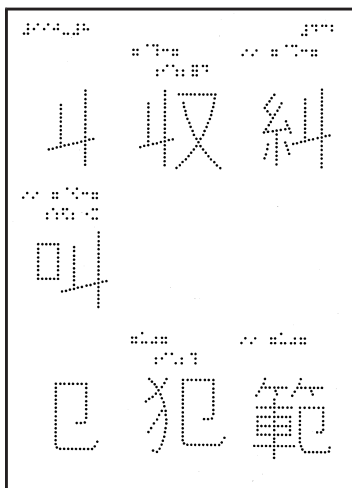
990-6



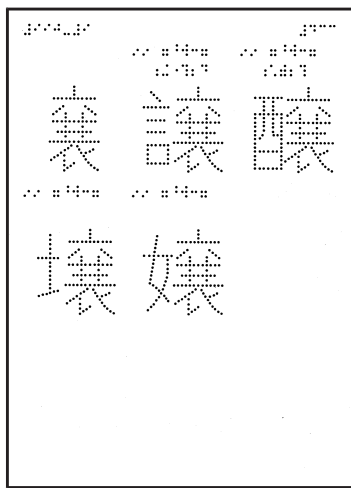
990-7



990-8



990-9

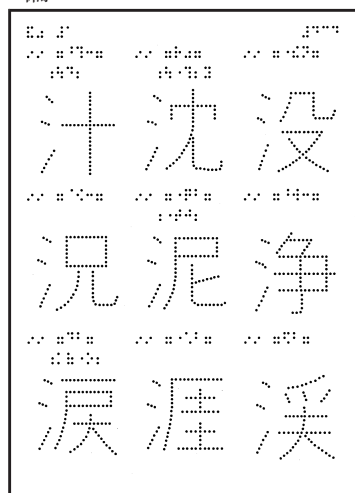


第10段階 その他の漢字

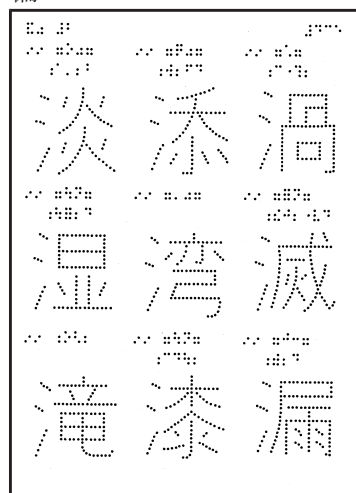
<指導のねらい>

(1) 常用漢字表及び使用頻度順位 1,200 番以内の漢字のうち、前段階までに取り上げなかったものを 偏・旁・冠・脚・垂・構・繞の部首別に取り上げて学ばせる。

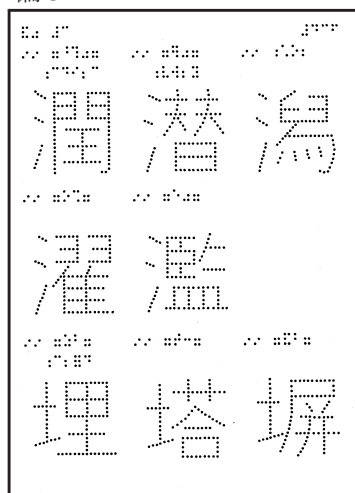
偏 1



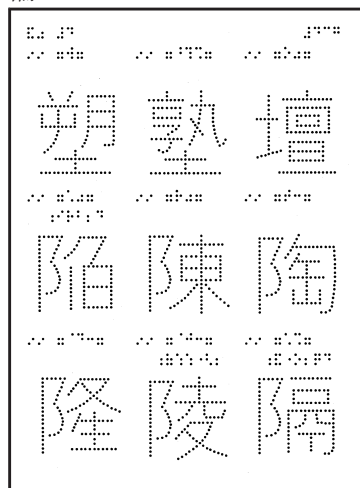
偏 2



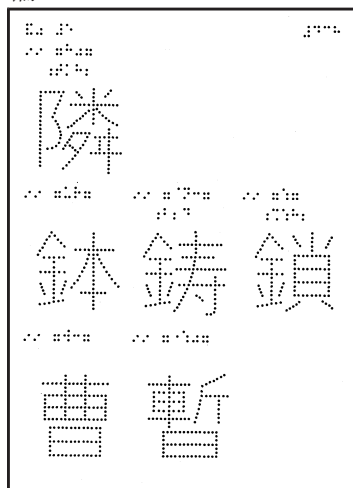
偏 3



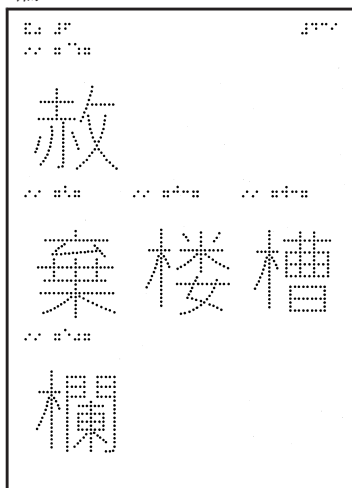
偏 4



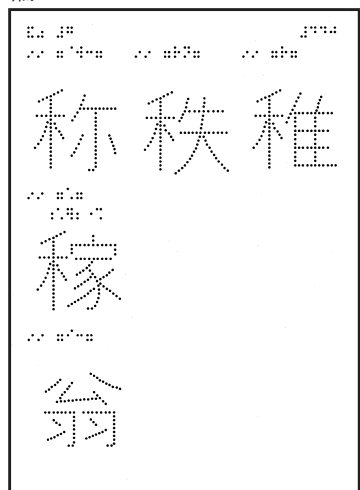
偏 5



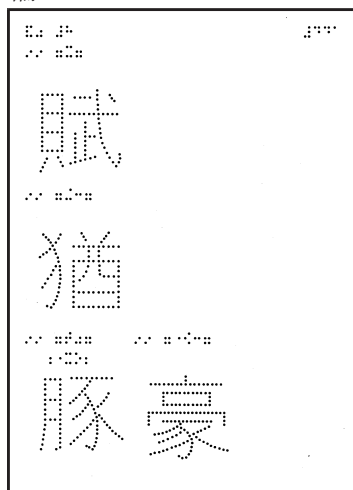
偏 6



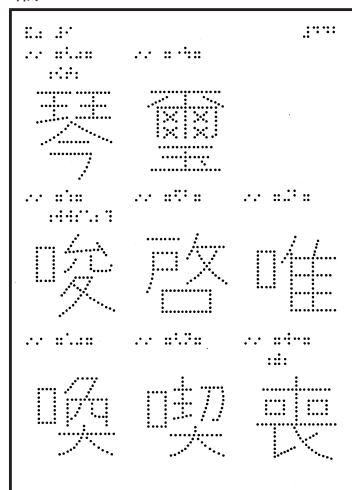
偏 7



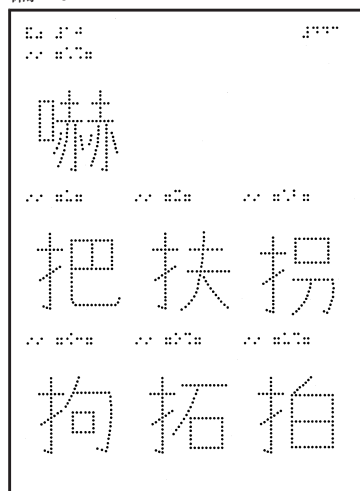
偏 8



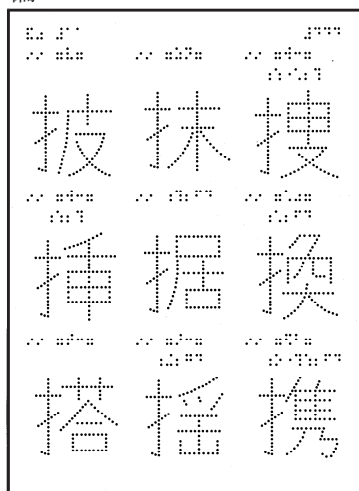
偏 9



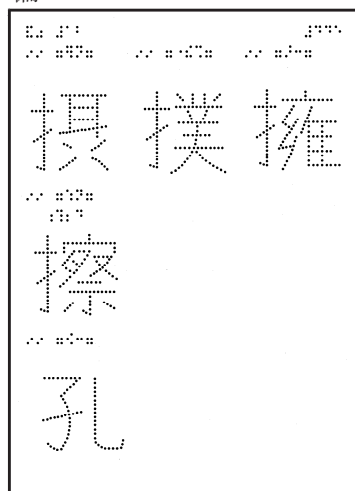
偏 10



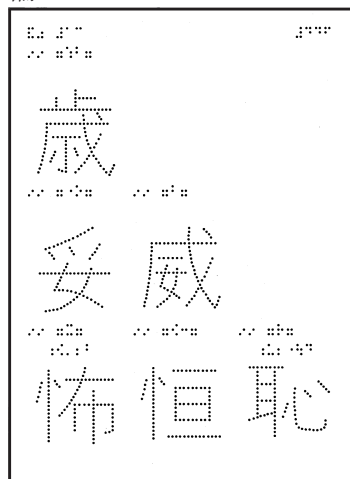
偏 11



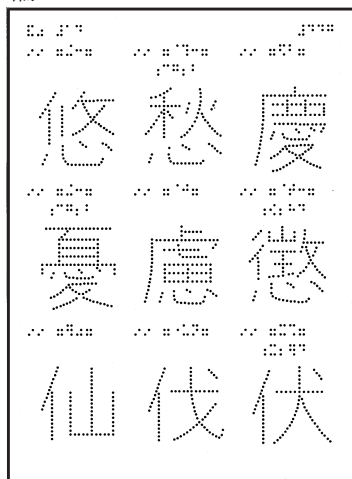
偏 12



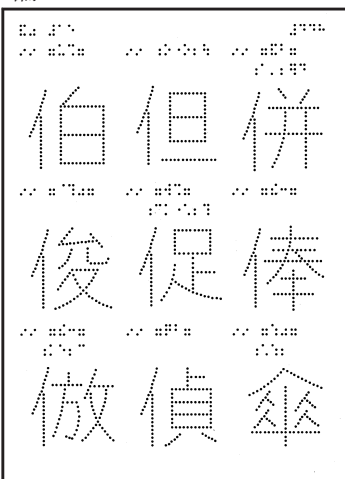
偏 13



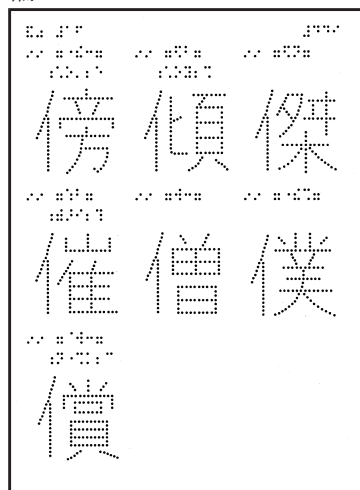
偏 14



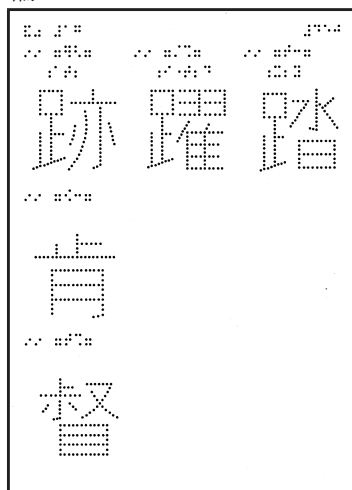
偏 15



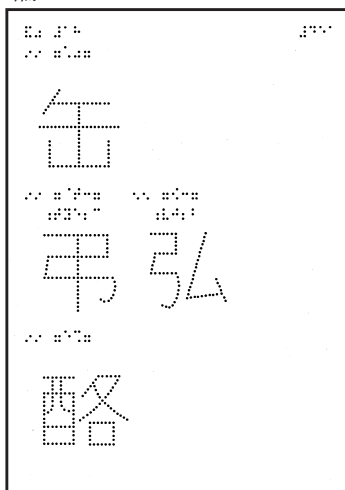
偏 16



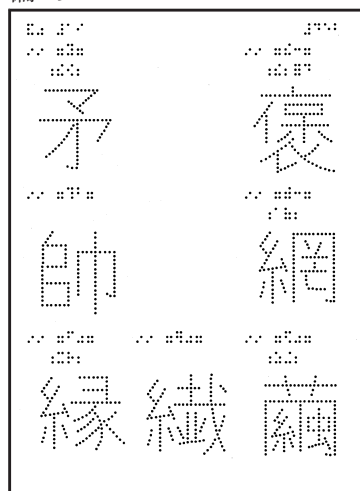
偏 17



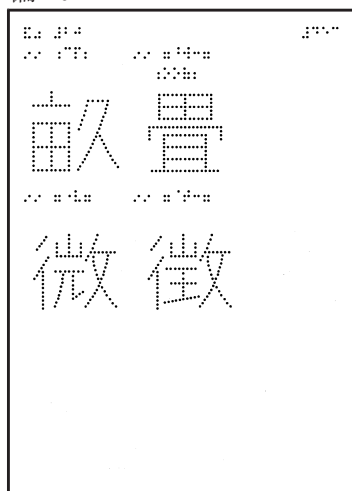
偏 18



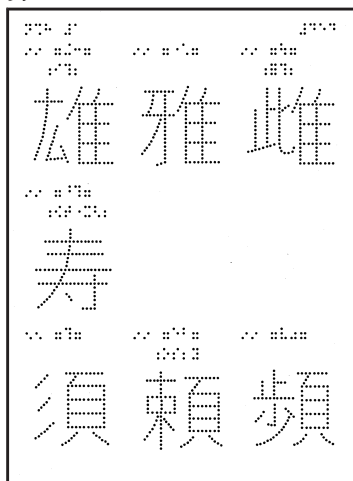
偏 19



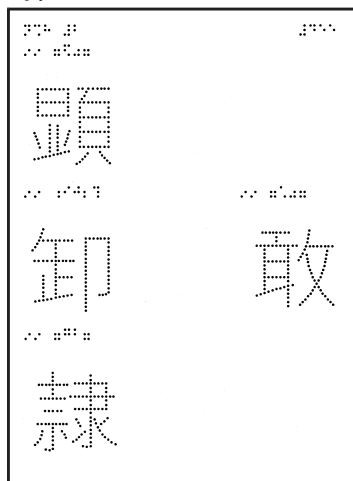
偏 20



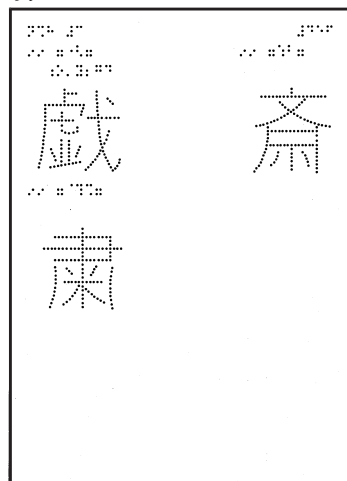
旁 1



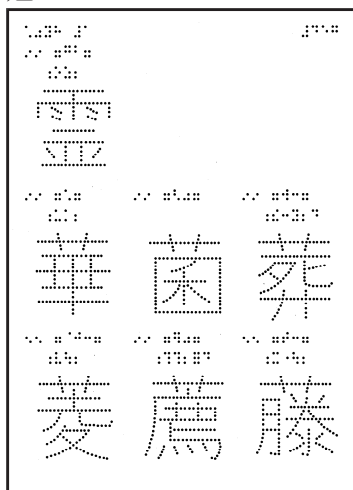
旁 2



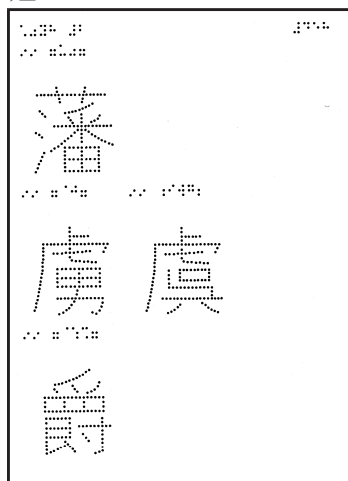
旁 3



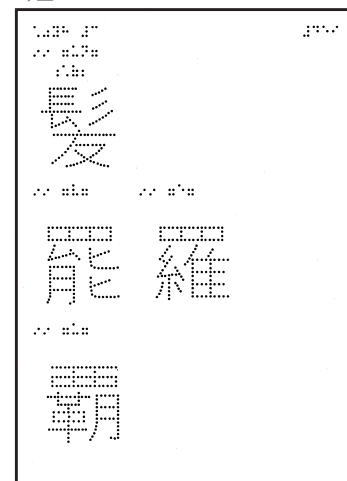
冠 1



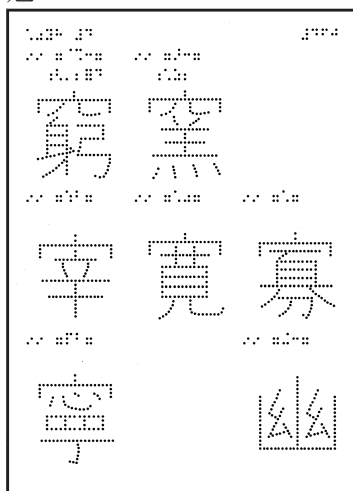
冠 2



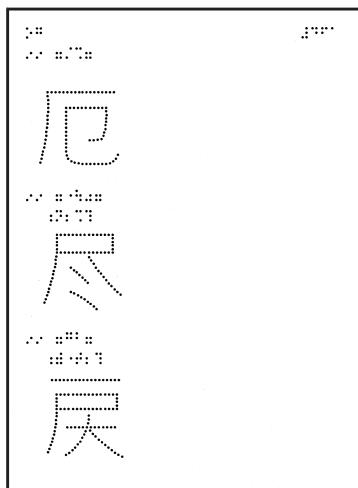
冠 3



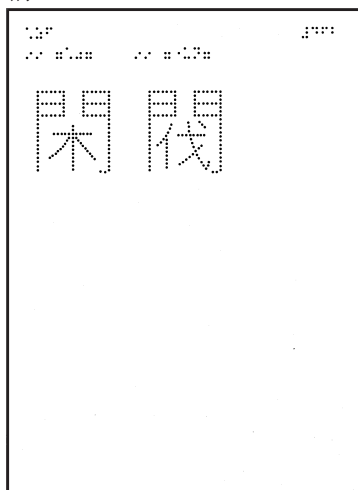
冠 4



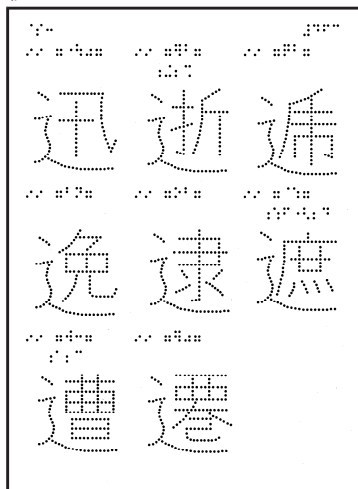
垂



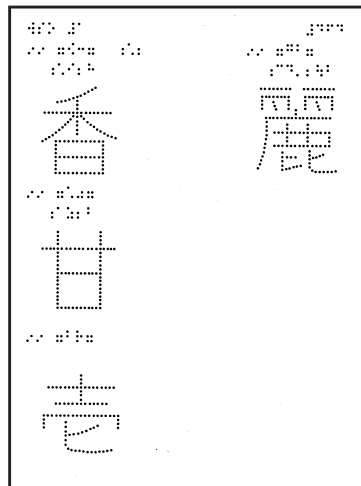
構



繞



その他 1



その他 2

